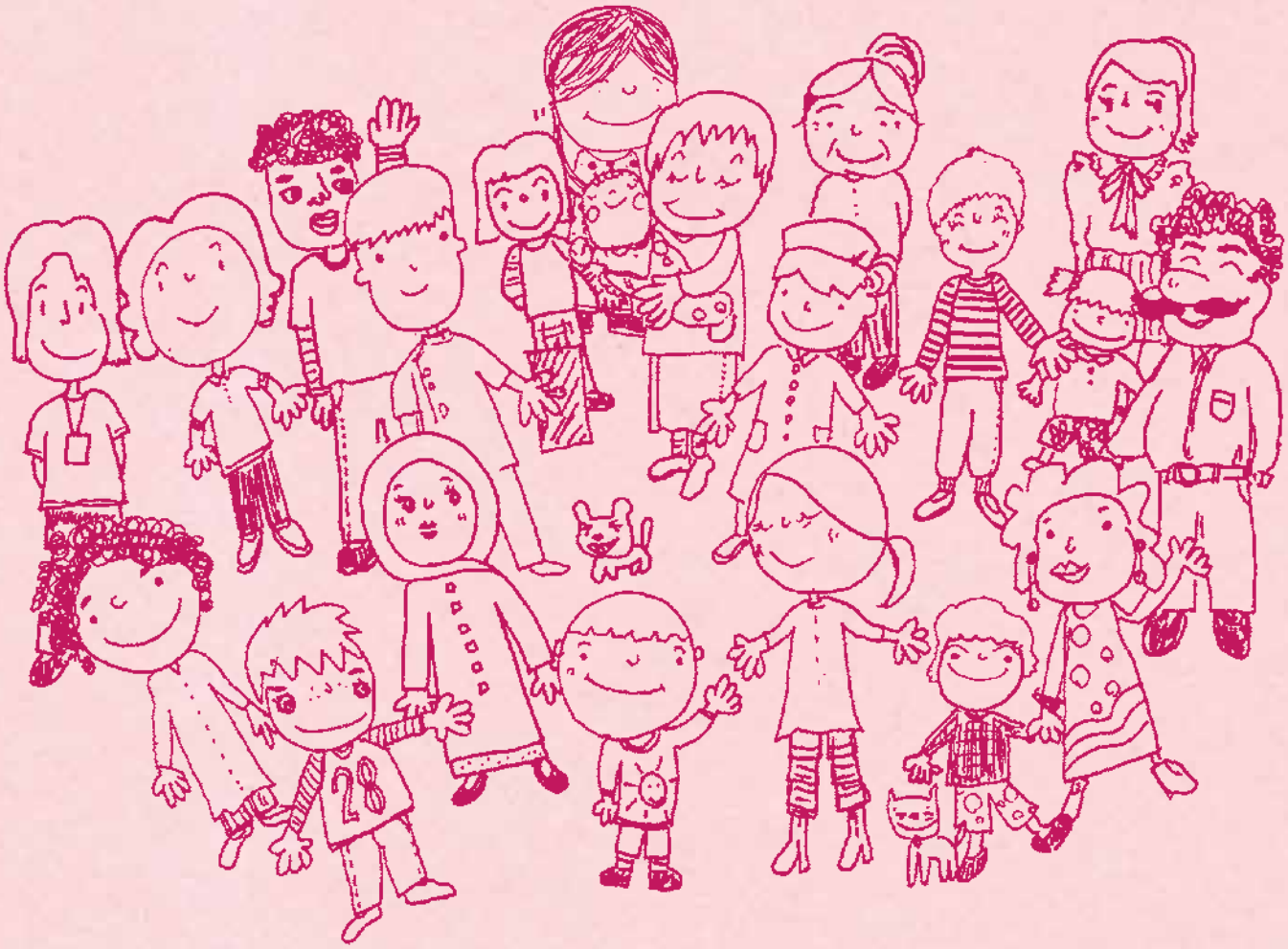
多文化子育て支援ガイドブック

日本語でつたえるコツ

外国人保護者と
子育て支援に関わる人との
より良いコミュニケーションのために



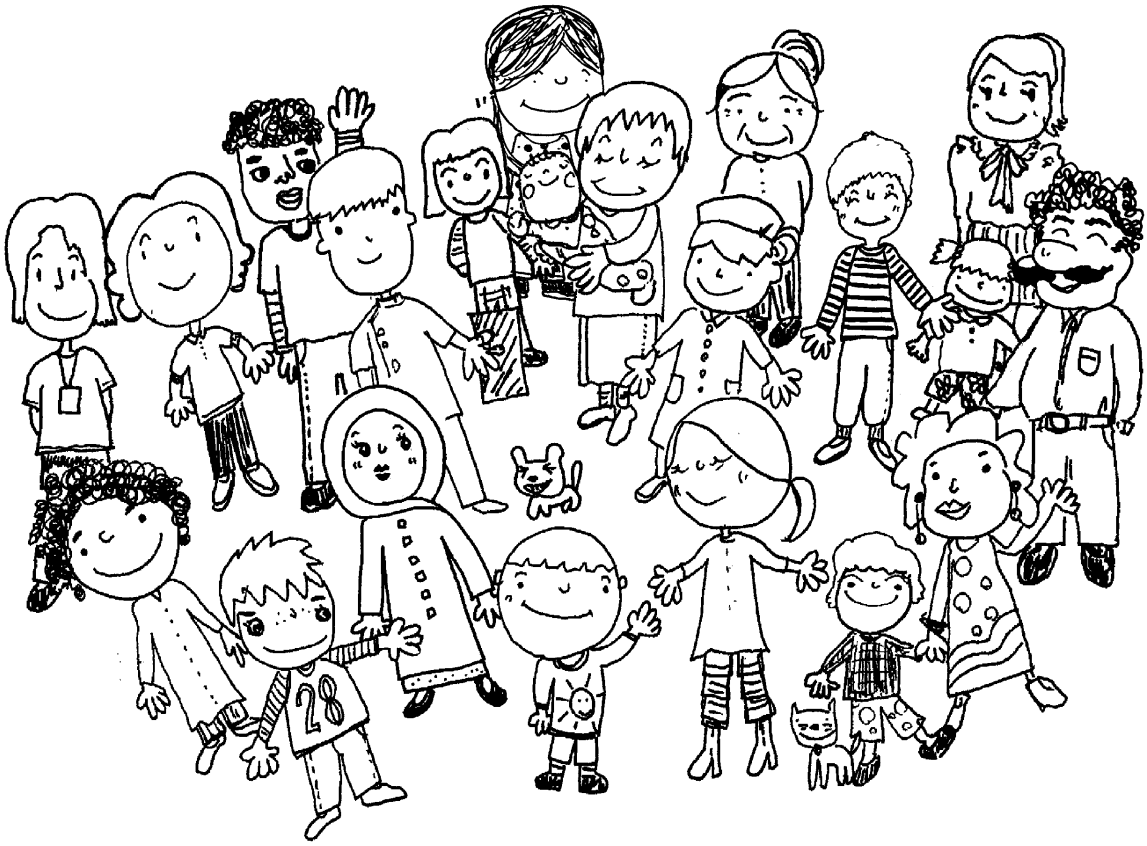
社会福祉法人 大阪ボランティア協会

Let's

多文化子育て支援ガイドブック

日本語でつたえるコツ

外国人保護者と
子育て支援に関わる人との
より良いコミュニケーションのために



ま　え　が　き

日本では多くの外国人が生活していて、近年は日本で出産や子育てをする人も増えてきています。それに伴って、自治体の母子保健担当の窓口に外国人の妊婦さんが来たり、幼稚園や保育園（所）に多様な文化背景をもった子どもたちが入園することが、特別なことではなくなっています。しかし、言葉や文化・習慣の違いのためにうまく意思が通じず、外国人も日本人も双方が困っているという現実があります。

社会福祉法人 大阪ボランティア協会では、2011 年から外国人親子の居場所と情報提供の場として、大阪市福島区で「多文化子育てサロン」を実施しています。この事業を通じて、外国人の保護者や子どもが言葉や文化・習慣の違いのために不安を感じたり、さまざまな困難にぶつかったりしていることを知りました。

一方で、保健師さんから、「母子保健の窓口に外国人が来たが、言葉が通じずに困った。何か良い方策はないか」という相談を受けました。通訳や翻訳を依頼するという方法はありますが、それはあくまでも特別な対応であり、日常的に子育て支援の現場で使える方法が必要であることを感じました。

方法を模索しているときに、「やさしい日本語」という考え方に出会いました。「やさしい日本語」は、災害時に日本語に不慣れな外国人にも情報が伝わるように簡単な語彙と単純な文型の日本語を使おうというもので、阪神・淡路大震災の経験をふまえ 2005 年に弘前大学人文学部社会言語学教室の佐藤和之教授が提唱されました。現在では多くの自治体等で「やさしい日本語」を用いた情報提供の試みが進んでいます。

このような流れの中で、外国人の子育て支援に関わる専門職やボランティアが外国人保護者と日本語で意思疎通するためのコツをまとめたものがあれば役に立つのではないかと考え、保育、保健の専門家や、日本語教育、外国人支援の実践者の協力を得て本書を作成しました。

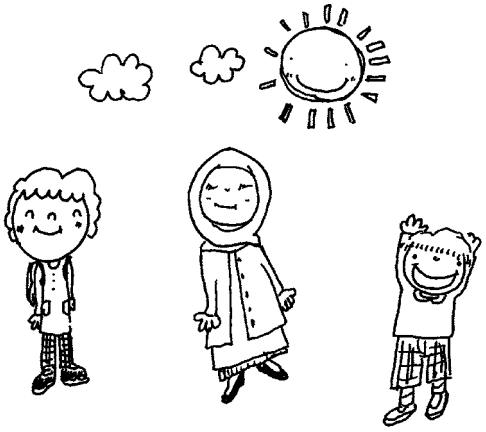
本書には次のような特色があります。

1）子育て支援の現場に特化したこと
2）身近な実例をあげて文化の違いやコミュニケーションギャップについて考える試みをしていること
3）保育士、保健師、地域支援者などの体験および当事者である外国人保護者の声を多数収録したこと
4）日本人側からの情報伝達だけでなく、双方向のコミュニケーションを視野に入れていること
5）相手の文化等に配慮しながらやさしい日本語で話しかけることは、外国人の日本語習得を促進し、ひいては地域社会で暮らす一助となると考えていること

保健福祉センターの母子保健窓口、幼稚園、保育園（所）、地域の子育てサロンなど、子育て支援の現場で活躍しておられる方々にご覧いただき、外国人親子との間でより良いコミュニケーションが生まれるヒントにしていただければ幸いです。また、この冊子を使ってのワークショップも計画しています。

この事業に対して、公益財団法人三菱財団より御助成いただきました。厚く御礼を申し上げます。

2013 年 9 月 30 日
社会福祉法人 大阪ボランティア協会



本 書 の 構 成

第１章では、外国人の家庭の状況、保健や保育の現場で外国人の保護者と意思疎通するためにどのようなことが必要かという点について、全般的な考え方を述べました。

第２章では、実際の現場で起こった例をあげ、伝えることのポイントを意識することと相手の視点や文化を理解しようとする姿勢をもつことの大切さについて考えました。これらの事例について、８グループの保育士、保健師、子育て支援関係者の皆さんと意見交換ワークショップを開きましたが、その際に出た意見の一部も載せています。

第３章では、外国人と日本語で意思疎通するときのコツを述べました。また、なぜそのことが大切なのか、日本語のどこが伝わりにくいのかについて、外国人自身の体験および日ごろ外国人に接している日本人の体験をコラム形式で入れています。

第４章は、伝わりやすい日本語に言い換える練習です。ぜひ、周りの人といっしょに考えてみてください。

巻末には参考資料として、専門用語や複雑なことを日本語で説明しきれないときのために、日本語以外の言語と対訳になっている子育て・医療関係文書のリストおよび多言語で相談できる機関のリストを載せました。また、子育てについて日本語で相談できる機関リスト（大阪市内）も掲載しました。さらに、日本語をやさしく言い換えることに関心がある方のために、「やさしい日本語」に関するガイドと活用例を挙げました。最後に、日本語を学ぶ外国人が比較的早い段階で学ぶ漢字および語彙のリストを付けています。外国人にとって、どんな漢字や語彙がやさしいかを調べる参考にしていただければ幸いです。

なお、本書で「外国人」とは、国籍や出生国に関わらず、「日本語を母語としない人」を指しています。

多文化子育て支援ガイドブック

日本語で　つたえる　コツ

外国人保護者と子育て支援に関わる人との
より良いコミュニケーションのために

もくじ

まえがき …… 3

本書の構成 …… 4

もくじ …… 5

第１章　多文化子育て支援について …… 7
- １．在日外国人の多様な家庭状況 …… 8
- ２．日本語の習得状況 …… 9
- ３．公的支援の状況 …… １２
- ４．外国人母子の地域での暮らしと日本語 …… １３
- ５．保護者が日本語を学ぶことの重要性 …… １５
- ６．日本人側が日本語をコントロールして使う …… １６
- ７．子育て支援は外国人支援の最前線 …… １６

第２章　子育て支援現場での事例 …… １９
- 事例１　遠足のお弁当に“キンパ”を持ってきた …… ２０
- 事例２　ぎょう虫検査のセロファン紙に便が …… ２２
- 事例３　園で子どもがケガをして、保護者が激怒 …… ２４
- 事例４　母子健康手帳発行の際の面接で話が通じない …… ２６
- 事例５　出産後、お母さんは水にさわれない？ …… ２８

第３章　外国人保護者とのコミュニケーションのコツ …… ３１
- １．大切なことは？ …… ３２
- ２．日本語で伝えるコツ …… ３３
  - Ⅰ　情報を整理し、簡潔に、相手が理解しやすい順序で伝える …… ３３
  - Ⅱ　「常識」や習慣を前提とした省略や婉曲表現は避け、必要に応じて説明を加える …… ３４

Ⅲ　単純な構造の短い文にする …… ３６
Ⅳ　わかりやすい単語を使う …… ３８
Ⅴ　話すときに気をつけること …… ４０
Ⅵ　書くときに気をつけること …… ４２
Ⅶ　相手の話を聞くときに気をつけること …… ４４
３．お知らせ文書の例 …… ４６
例１　遠足のお知らせ …… ４６
例２　遠足の持ち物・服装のお知らせ …… ４８
例３　台風接近時のお知らせ …… ５０
例４　１歳６か月児健康診査のお知らせ …… ５２

第４章　練習問題 …… ５５
練習問題１　漢字を使った表現 …… ５６
練習問題２　ていねいな表現 …… ５７
練習問題３　カタカナを使った表現 …… ５８
練習問題４　大阪弁を使った表現 …… ５９
練習問題５　伝わりにくい文章表現 …… ６０
練習問題　書き換え例 …… ６１

参考資料 …… ６３
１．子育て・医療に関する対訳情報リスト …… ６４
２．多言語で相談できる機関のリスト …… ６６
３．子育てについて日本語で相談できる機関のリスト …… ６８
４．「やさしい日本語」についての参考資料 …… ６９
５．日本語初級者が学ぶ漢字 …… ７１
６．日本語初級者が学ぶ語彙 …… ７２

あとがき …… ８０

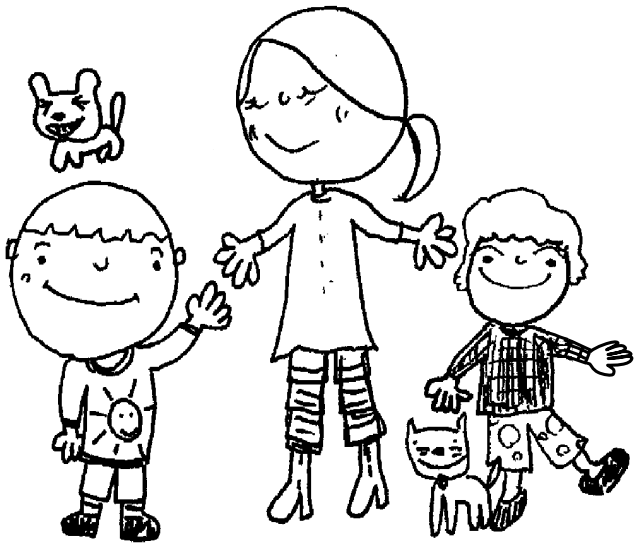
第1章

多文化子育て支援について

日本で子育てしている外国人が増え、子どもたちは多様な文化背景の中で育っています。

外国人保護者とその子どもを支援するうえで、知っておくほうが良いと思われることを記しました。

いろいろなケースがあるので、一概には言えませんが、具体的なイメージを持っていただくために実例をいくつか紹介しています。



1. 在日外国人の多様な家庭状況

● 子育て世帯が増えている

2012 年末の外国人登録者数は 203 万 3,656 人で、日本の総人口の 1.60%を占めます。今後、人口減少の傾向にある日本社会にとって、多様な国籍・文化の人々とともに生活するための対応策が重要な課題となっています。

2006 年では 16 組に 1 組が国際結婚であり、両親のどちらか一方もしくは双方が外国人である子どもの占める割合は、1年間の総出生数の 31 人に 1 人です。地方自治体の母子保健窓口に外国人の妊婦さんが訪れる、乳幼児健診に外国人のお母さんが子どもを連れて来る、幼稚園・保育園（所）に言葉の通じない子どもが入園して来るということがごく当たり前のことになりつつあります。

● 子育て中の外国人の家庭は多種多様

「日本で暮らしている子育て中の外国人の家庭」といっても、多種多様です。日本で子育てする理由はさまざまで、仕事、留学、中国帰国者、インドシナ難民、日系南米人、日本人との結婚などのケースがあります。

日本人と外国人の国際結婚の場合では、夫が日本人で妻が外国人の場合と、夫が外国人で妻が日本人の場合があります。子育てにより多く関わるのが誰であるのか、その人が日本語ができ日本社会・日本文化に慣れているかどうか、支援者がいるかどうかで、子育てのたいへんさが大きく違ってきます。

両親ともに外国人の家族では、中国人どうしの夫婦と子ども、ベトナム人どうしの夫婦と子どものように、同じ国の人どうしの家庭が比較的多いですが、中には、韓国人とベトナム人の夫婦とその子どもというような家庭もあります。子どもは、家庭内は韓国とベトナムの文化、家の外に出れば日本文化という多文化な環境で育ちます。

また、日本で再婚して、母国から前の配偶者との子どもを呼び寄せるケースもあります。

保育士の話　家の中は母国式

家庭訪問で、Aちゃんのお宅に行きました。おうちの中に入ると、壁には中国のカレンダーが貼ってあるし、ついていたテレビも中国の番組でした。布団は部屋の隅に高く積み上げて、カラフルな布がかけてあります。

「どうぞ、どうぞ」と言って、お鉢にいっぱい餃子を盛って出してくださいました。たまたま、おばあちゃんが来られて、お母さんと早口の中国語で何か話しておられました。

日本だけれど、家の中は完全に中国で、Aちゃんは両方の世界でたくましく生きているんだなあと、何かジーンとしました。

● 安定した家庭と不安定な家庭

経済的に安定している家庭、両親が協力して子育てをしていて必要に応じて親族や職場の支援も得られる家庭、母国に帰ることも可能であるという家庭の場合は、精神的余裕があります。

一方、母国に帰っても生活できない人の場合や、外国人のひとり親家庭の場合は、生きていくのに精一杯です。保護者自身にケアが必要なのに、支援が得られていないケースも少なくありません。

保育士の話
おおぜいの付添いを引き連れて

ある国の会社の地位の高い人の子どもさんが、一時期入園されることになりました。打ち合わせのとき、子ども本人と両親のほかに、養育係、秘書、通訳、ボディーガード 2 人がいっしょに来られて驚きました。入園後も連絡はすべて秘書と通訳を介して行われました。

保育士の話
土地の言葉しか話せない

母子家庭で、お母さんは外国の方でした。その国の公用語は英語なので、英語ができると思ったのですが、生まれ育った地方の言葉しか話せないし、日本語は片言で、助けてくれる親類や知人もいないようでした。最初はお互い身振り手振りでたいへん苦労しました。

● 子どもは母国、親は日本で

外国人の親が乳幼児を日本で育てるのはたいへんだということから、子どもを母国の親戚に預けて親は日本で働き、数年後、子どもがある程度大きくなってから日本に呼び寄せるケースもあります。

乳幼児期に離れていたために、心理的な距離が離れてしまった親子もありました。また、親が子どものことについて知らず、どんな予防接種を受けたか、既往症、成長・発達段階などについての情報がないケースがあります。

日本語教室ボランティアの話　育児は母国のおばあちゃんが

中国の方ですが、子どもは生まれて１か月で母国に連れて帰りおばあちゃんに預けて、両親は日本で働いてお金を送っているそうです。

日本人の感覚では、「子どもが可哀想」と思ってしまいがちですが、その人は「祖父母が愛情を持って育ててくれるのだから何も心配ない」と言っておられました。

＊「日本語教室ボランティア」とは、地域で開かれている日本語教室でボランティアとして外国人の日本語学習支援に関わっている人のこと

2. 日本語の習得状況

● 在日年数と日本語力

日本語をどのように学んだかは各人各様です。母国で日本語の専門教育を受けて来た人、来日後日本語学校に通って勉強した人もいます。昼間、働いている人の中には、週１回程度ボランティアによって開かれている地域の日本語教室で学ぶ人もいます。また、夜間中学で学ぶ人もいます。一方、仕事や出産などで日本語を学習する機会がなかったという人もいます。

日本語を使う機会がどれだけあるかも、日本語力に関係があります。近所の人や職場の人と日本語で話す機会が多い人は習得が早いです。一方、同じ国の人ばかりの職場で母語ですべて用が足りる場合や、日本人の中で働いていても話す機会がなければ、日本語の語彙は増えません。

ですから、在日年数と日本語力とはあまり関係がありません。来日後数か月で流暢な日本語を話す人もいますし、日本で 15 年以上暮らしていても、あいさつ程度しか話せない人もいます。

国籍は日本であっても、他国の言葉・文化・習慣で暮らしてきて、日本語があまりわからない人もいます。

● どんな日本語を身につけている？

日本語学校などで教科書を使って日本語を学んだ人は、標準語の「～です」「～ます」を使った文型から学習します。きれいな日本語を話しますが、方言や口語的な言い方は聞き慣れていません。

逆に、日本語学校などに行かず、日本人の中に入って仕事をしながら周りの人の会話から日本語を習得した人は、まず、方言や口語的な言い方から身につけていくので、ていねいな言い方ができないことがあります。

私たちが彼らに接するときは、まず相手の話し方をよく聞いて、それに合わせた話し方をする必要があります。

日本語教室ボランティアの話　方言

Ａさんは、来日後すぐに工場で働いて、そこで同僚と話すことで日本語を身につけていきました。普段の会話には不自由していないとのことですが、方言が強く「あんなあ、うちの旦那がな、こうこうでな、もうめっちゃ困ってまうわ」というような言い方です。こちらも合わせて「へえ、それでどないしたん？」と言うとよく通じますが、敬語や少しかたい言葉はわかりにくいようです。子どもが小学校に上がるので、先生にもこんな言葉でしか話せないと困ると言っています。

Ｂさんは、来日後、日本語学校に２年間通って日本語を学びました。とてもきれいな標準語ですが、勤めている工場の人たちとうまく会話できないようで悩んでいました。相手が方言で言ったことがわからないのと、職場の人に「あんたの言葉はきれいすぎて、話しにくい」と言われたそうです。

● 漢字の難しさ

中国、台湾など漢字を使う国から来た人は、日本の漢字にも親しみが持てるかもしれません。しかし、他の多くの漢字を使わない国から来た人にとっては、漢字はとても難しいもののようです。何人かの外国人にどういう点が難しいのか尋ねてみると、次のような返事が返ってきました。

- 一つの文字だけで意味を持つということがなじみにくい。（表意文字）
- どこからどういう順に書けばいいかわからない。（筆順）
- 一つの漢字が複数の意味を持つことが難しい。（例　長…①長い、②組織のトップ）
- 同じ読み方でも、複数の漢字があって、どの漢字を使ったらいいかわからない。（例　会う、合う）
- 一つの漢字に複数の読み方があって、どう読めばいいかわからない。（例　重（おも）い、重（かさ）なる、体重（じゅう）、慎重（ちょう））

キューバの人の話

漢字は難しいけどおもしろいです

日本に来るまで、漢字を見たことがありませんでした。漢字はまるで複雑な模様のようです。ひらがなとカタカナはおぼえましたけど、漢字をおぼえるのは、もう絶対に無理だと思いました。一つの文字だけで意味があるということがよくわかりませんし、どこから書くのかもわかりませんでした。

日本語教室で、山の形から「山」という漢字が、目の形から「目」の字ができたことを知りました。先生から「漢字は絵や記号に似ている」と聞いて、急に興味がわいてきました。書き方には、上から下へ、左から右へというルールがあること、パーツの組み合わせで意味が広がることも教わりました。漢字は難しいけど、おもしろいです。

それと、日本は漢字文化なので、情報の中心となることは漢字で表現されます。だから、今は漢字も勉強しようと思っています。

ベトナムの人の話

おぼえきれない

日本の漢字は、とても複雑です。書き方が難しいだけでなく、一つの字にいろいろな読み方があるし、いろいろな意味があります。

例えば、「長」という字は、「長い」では「なが」と読むし、「身長」では「ちょう」と読みます。

また、「身長」は「身体の長さ」ですが、「社長」は「会社の長さ」ではなくて「会社のトップ」のことで、「長」の意味が違います。漢字にはいくつもの読み方と意味があるので、なかなかおぼえられません。

漢字を使わない国から来た人にとって、漢字を学ぶことはなかなかたいへんです。生活が忙しくて学ぶチャンスがない人もいますし、漢字にあまり興味が持てない人もいます。

日本人の側は、「この人はこんなに日本語で話ができるのだから、当然漢字もわかるだろう」と思ったり、また逆に、「漢字が読めないのだから、日本語はまだあまりわからないのだろう」と誤解しがちです。でも、日本語で会話ができることと漢字の読み書きができることは、まったく別です。

アフガニスタンのお母さんの話　漢字にふりがなを

日本語の話はほとんどわかりますが、漢字の入った長い文章は苦手です。上の子のときの保育所は、おたよりに全部ふりがなを打ってくれていたのでよかったのですが、それでも長い文章はたいへんでした。

下の子の保育所は、おたよりにふりがながありません。ですから、先生に電話して、何が書いてあるか尋ねています。

漢字を使う国から来た人にとって

中国や台湾などから来た人にとって、漢字は母国の文字なのでなじみがあるうえ、漢字を見たら意味がわかることも多く、筆談ができて便利です。しかし、次のような点で注意が必要です。

日本の漢字には複数の読み方がある

中国や台湾では、一つの漢字は一つの読み方であることがほとんどです。一方、日本では、ほとんどの漢字に二つ以上の読み方があります。だから、その漢字をどの読み方で読むのかわからないという難しさがあります。また、読み方がわからないと、耳で聞いてもわかりません。

中国のお母さんの話　漢字の言葉は見たらわかるけど、聞いてもわからない

「午睡」、「水痘」、「麻疹」、「偏食」、「乳幼児」……漢字を見たらすぐ意味がわかります。とても便利です。

でも、日本語の読み方はわかりません。だから、口頭で「ごすい（午睡）」と言われても、わかりません。「お昼寝」だったらわかります。

書くときは漢字を使って熟語で書いて、話すときはやさしい言い方で言ってもらえたら、私にとっては、とてもわかりやすいです。

漢字は同じでも、日本と母国で意味が異なる場合がある

漢字は同じでも、国によって意味が違うことがあります。例えば「手紙」は中国語では「ちり紙」のことで、筆談で「手紙をください」と書いたら、ティッシュを渡されたというのはよく言われる笑い話です。

中国のお母さんの話　中国と日本の漢字

中国語と日本語の漢字は、半分以上は同じです。漢字の意味もかなり同じです。読み方はわからなくても、漢字を見たらだいたい意味がわかります。でも、意味が違うものも結構あるので、安心はできません。

例えば、「熱湯」は、中国人が見れば“熱いスープ”だと思います。

「切手」は“手を切る”、「親切」は“親が切る”、初めて見たときはちょっとびっくりしました。

「勉強」は、中国語では“無理やりさせる”という意味です。おもしろいですね。

日本と母国で、字形が異なる漢字がある

中国で生まれた漢字は多くの国に伝わり、日本や台湾、香港などでは現在も漢字を使っています。しかし、漢字国の間で、すべての字が共通なのではありません。日本では一部の漢字は簡略化されて、日本漢字の新字体になりました。また、日本で独自に作った字（「国字」）もあります（峠、辻、咲、畑など）。中華人民共和国では、「簡体字」が作られました。これは日本の新字体とはずいぶん違います。台湾や香港ではもとの漢字を使っていて、それは「簡体字」に対して「繁体字」と呼ばれています。

日本漢字	簡体字	繁体字
転	转	轉
訳	译	譯
脳	脑	腦
実	实	實
験	验	驗

漢字国の間で共通する字も多数ありますが、まったく違う場合もあります。左はその一例です。

保健師の話　筆談が通じない

中国の人とは筆談で話ができると思っていたのですが、「異常」「腎機能」と書いてもわかってもらえませんでした。また、その人が書いた“心脏”“脉搏”などの文字は、こちらがわからなくて困りました。中国語がわかる人に聞くと、「心臓」「脈拍」のことだそうです。日本と中国で全然違う漢字もあることがわかりました。

（★ちなみに、「異常」「腎機能」は中国の簡体字では、“异常”“肾机能”と書くそうです）

● 母国で教育を受ける機会に恵まれなかった人

母国で教育を受ける機会に恵まれず読み書きが不自由な人は、母語でメモを取ることも辞書を引いて調べることもできません。聞いて、その場ですべて記憶しなければならず、日本語を学ぶにもたいへん苦労します。

このような人は、日本語学校のように対訳の語彙集と日本語だけを使ってテキストをどんどん進めていく学習方法は不向きです。その人のペースで学べるマンツーマンや少人数のクラスで、その人に合った学習方法を工夫できる支援者が必要です。しかし、そのような教室は少ないし、あっても情報が得られないのでなかなか見つけられず、そのうちに学習意欲を失ってしまう、ということになりがちです。

保健師の話　中国人でも漢字の読み書きができない人も

今まで母子保健で接した中国の人は、日本語で話しても通じないときは、漢字を書けばたいていのことはわかってもらえました。それで、中国人は筆談で通じるので楽勝だと思いこんでいました。

でも、先日来られた中国の人は、漢字で書いて見せて「わかりますよね」と言うと、「わたし、学校行かない。漢字わからない」と言われました。何かの事情で母国で教育を受ける機会がなかったようです。配慮が必要だったと反省しました。

3. 公的支援の状況

● 多言語情報

自治体の対応は、かなり差があります。集住地域以外では、外国人生活者に対する支援はまだまだ手探り状態です。行政からの情報はほとんどの場合日本語で提供されるため、日本語の不得手な外国人には、様々な行政サービスや情報がなかなか伝わりません。

多言語に翻訳されていても、日本人向けの情報をそのまま翻訳したのであれば、背景事情を知らない外国人には意図が伝わりません。また、もとの日本語の文章が難解であれば、それを翻訳しても意味はわかりにくいままです。

さらに、翻訳されたわかりやすい資料があっても、実際に必要な人の手に届いていないことがよくあります。

翻訳された資料は、細かい説明が可能である、繰り返し読める、家族などその場にいない人にも見てもらえるなど利点も大きいです。公的機関には、わかりやすい表現での多言語の情報を提供すると同時に、情報にアクセスしやすくなるようにしてもらいたいと思います。現場からもその点を求めていく必要があります。

● 公的通訳

日本語があまりできない人にとって、通訳はありがたい存在です。外国人集住地域では区役所等に公的な通訳が常駐しているところや、ある保育園では決まった曜日に通訳が来てくれるそうです。

区役所等にトリオフォン（三者で話せる電話）を利用した通訳システムを導入している市もあります。しかし、利用可能な曜日時間が決まっている、申し込みが煩雑、別のフロアに行かなければならないなど不便で、母子保健や子育て支援の現場ではあまり利用されていないようです。

説明する側はジェスチャーや筆談をまじえて時間とエネルギーがかかってたいへんですが、わからない言葉で説明される外国人のほうも困っています。必要なときに通訳が利用できるシステムには、ほど遠いというのが現状です。

保健師の話　「はい、はい」と返事するけど、通じていなかった

新生児家庭訪問で、予防接種について説明しました。こちらが話すことに「はい、はい」とうなずいてくださるので、理解してもらったと思っていましたが、通じていなかったことがわかりました。

乳幼児に対する注意事項はある程度決まっています。翻訳されたものがあれば、口頭の説明と両方でわかってもらえて便利だと思います。

4. 外国人母子の地域での暮らしと日本語

人とつながりがない

子育て中のお母さんは孤立しやすいとよく言われますが、外国人の場合は、なおさらです。まして、日本語が不自由だとあまり外に出ない、外に出ないと日本語を使う機会が少ないので、上達しない。上達しないから、よけいに外に出ない、という悪循環です。気軽に話したりわからないことを尋ねたり、情報交換できる場が必要です。

中国人女性の話　寂しくて、公園で尋ねまわった

日本人と結婚して日本に来ました。夫はやさしいですけど、ふだんは仕事で家にいません。私はずっと一人です。友達がほしいけれど、どうしたら見つけられるかわかりません。毎日近くの大きな公園に行って、来ている人をずっと見てまわって、中国人かなあと思ったら、「あなた中国人ですか？」と尋ねました。

そのうちに、地域の日本語教室を紹介してもらうことができました。日本語教室に行って、中国人の友達が数人できました。日本人とも親しくなって、わからないことは何でも教えてもらっています。

子育て中の人には日本語が必要

幼稚園や保育園（所）、学校からは保護者に対してさまざまな連絡がありますが、日本語がわからなければ、必要な対処ができません。持参するべき物を持って行かなかったり、提出するべき書類を提出しないと、子どもの集団生活がスムーズにいきません。遠足にお弁当を持って行かなかった子や、工作に必要な牛乳パックを持っていかなかった子、体操服で登校する日にふだんの服装で行った子は、つらい思いをします。また、子どもは病気やケガをしがちですが、病院での受診、検診や予防接種のときにも、日本語が必要です。

子育てに必要な言葉は特殊

乳幼児検診の場や幼稚園・保育園（所）、学校などで使われる言葉には、独特の用語や幼児語なども含まれます。このような言葉は、一般の辞書には載っていません。

例えば、子どもが保育園で覚えた言葉を使って、車を見て「ブーブー、ブーブー」と言っていても、親は何のことかわからなくて、適切な反応ができません。

日本語教室ボランティアの話　子育て用語は難しい

「お絵かき」って何ですか？　辞書に「絵かき（画家）」とありましたが、このことですか？――などと質問を受けることがよくあります。よく考えてみると、子育て中の言葉はけっこう特殊です。子どもが小さい間しか使わない言葉もたくさんあります。外国人ママたちには、「わからないことがあったら、何でも聞いてね」と言っています。

子ども連れで勉強できる場は少ない

日本社会の情報を得たり、日本人とコミュニケーションするために日本語を学びたいと思っても、日本語学校には子どもを連れていけません。地域のボランティアによる日本語教室でも、「子ども連れお断り」というところや、「連れて来てもいいけど、子どもの面倒は見られません」というところがほとんどで、親が学習している間、子どもを一時保育するという教室はごく少数です。

子どもを誰かに預かってもらえる人はいいですが、子どもといっしょだと親自身が勉強に集中できないし、子どもが泣き出したり退屈したりすると、他の学習者の迷惑になることが心配です。また、夜の学習だと子どもが眠くなってしまうので、連れて帰るのがたいへんです。それで、勉強したい気持ちはあっても、なかなか日本語教室に足が向かなくなります。

子育て中の人は非常に日本語を必要としているのに、学ぶチャンスが得にくいのが実情です。

● 知人に通訳を頼む

日本語があまりできない人の場合、各種の手続きや診察、その他生活場面で必要なときは、日本語のよくできる知人や親戚に通訳を頼むことが多いようです。身近に頼める人がいれば便利ですが、通訳する人がその件について知識がない場合は誤訳が起こります。

また、家族間で考え方が違う場合、通訳する人は自分の考えで物事を進めがちで、日本語がわからない人は、自分の意見を述べたり知りたいことを尋ねたりできないということもあります。

親戚や知人の場合は、お互いに知り合いだからこそ、あまり知られたくない事情もあります。

幼稚園・保育園（所）では、複数の同国人の保護者がおられる場合、どうしても通じないときは日本語ができる保護者に通訳を依頼することもあるようです。内容が単純で、快く通訳してもらえる場合は、手軽で便利です。しかし、プライバシーにかかわる内容の場合は、顔見知りであるだけに通訳される側にとって気まずいこともあるので、依頼する側に配慮が必要です。

また、同じ国の人でも、出身地方等が違うと、言葉が通じない場合があります。

● 子どもが親の通訳をする

知人に通訳を頼めない場合、自分の子どもを通訳の代わりにする人がいます。病院や区役所に行くのに、小中学生の子どもに学校を休ませて、連れて行きます。他に方法がなくてやむをえずそうしているのだと思いますが、子どもの教育を受ける機会を奪うことになってしまいます。中には、就学前の子どもに通訳させる人もいます。

子どもの場合、母語も日本語もまだまだ不十分であることと、社会のシステムを十分理解していないことから、誤った情報を伝えてしまう可能性があります。また、大人が判断するべきことを子どもが勝手に決めたり、日本語のできない親を馬鹿にしたりということも起こっています。

日本語教室ボランティアの話　子どもが通訳するのは心配

ある家庭は、両親ともに日本語があまりできないので、中学生の子どもに通訳をさせています。その子は小学校低学年のときに来日したので、母語もそのレベルでとまっています。日本語は日常会話ができているので一見まったく問題ないようですが、語彙が非常に少なく、少し難しい言葉になるとわかりません。私たちと話す中でも聞き落としや誤解がありますし、何が言いたいのかよくわからないことも多いです。

その子に通訳させるのはたいへん問題があると思うのですが、両親は日本語がわからないので子どもの日本語のレベルがわかりません。日本語は十分よくできる、難しい言葉もわかると思っておられるようです。

一方、子どもにとっては通訳ができることで皆に褒められ、頼りにされます。それはとても誇らしいことなので、わからないことがあっても、わからないとは言わず、強引に通訳（?）してしまいます。しかし、その場にいる人は、誰もそのことに気づきません。

先日、親戚の赤ちゃんが腸の病気で手術して、そのときもその子が病院に行って、親戚に諸手続きや医師の説明の通訳をしたそうです。手術の承諾書など、ここに住所氏名を書いて押印しなさいと言われているということは通訳できるでしょうが、何のための承諾書なのか、書かれている内容についてはその子自身が十分わかっていないし、親戚にも伝えきれていないのではないかと、とても心配です。

（★まず、その心配を保護者に伝えることが必要ではないでしょうか。外国語のできる医師や看護師がいる病院、通訳してくれる団体等が地域にないか探してみるのも、一つの支援の方法かもしれません）

5. 保護者が日本語を学ぶことの重要性

● 子どもの日本語

幼い子どもは園や学校に行き始めると、すぐに日本語で日常会話ができるようになります。しかし、それは園や学校でよく使われる言葉だけです。保護者が日本語ができない場合、家庭では日本語の語彙が増えません。園や学校でよく使う言葉はわかるけれど、それ以外の言葉はわからないという傾向があります。

また、発音が不正確であったり、「てにをは」（助詞）の使い方がまちがっていても、家庭で直してもらえない場合、誤ったまま定着してしまいます。

小学校入学後、学習の言葉や文化背景が十分わからないために、授業についていけないケースもあります。

日本語教室ボランティアの話　母語も日本語も不十分？

私が関わっている小学生のB君は、幼いときに両親と来日しました。学校では日本語、家庭では中国語で話しています。一見、バイリンガルのようですが、実はそうではありません。

学校でどんどん日本語を身につけていきますが、それを中国語でなんというか知りません。

例えば、学校で「顕微鏡」で「花粉」を見て、それを家に帰って話そうとしても、E君はそれらを中国語で何というかわからないので、日本語があまりわからないお母さんに伝えることができません。

逆に、家の中の物は全部中国語でおぼえています。あるとき、おしゃべりしている中で私の言った「冷蔵庫」の意味がわからないと言うので、「え、冷蔵庫知らんの？　食べ物を入れて冷やすもの」と絵を見せたら、「あ～、これ家にある。でもこれは家ではピンシアンと言ってる。『冷蔵庫』って言うと誰も教えてくれなかった」と言っていました。

B君は日本語の単語も少ないし、中国語の単語も少ないようです。私は中国語はできないけれど、日本語で絵本を読んだりいろいろな話をすることで、B君の日本語の語彙を増やすお手伝いができたらいいなと思っています。

● 子どもの母語

幼い子どもは、日本語が上達する一方で、母語を忘れていきます。家で母語を話しているといっても、家庭内の生活について日常的な話をしているだけなら、外では通用しません。特に乳幼児期に来日した子は、保護者が特別に配慮しない限り母語の読み書きができませんし、難しい言葉はわかりません。たとえば、母語で叱られても、何を言われているのかわからないことがあります。

また、子どもの年齢が上がれば上がるほど話すべき事柄も複雑になるため、親子でコミュニケーションがとれなくなります。

幼稚園教諭の話　お母さんと弟の話をお兄ちゃんが通訳

年中組のCちゃんのお母さんは、あまり日本語ができません。Cちゃんはほとんど日本語を使っていて、母語は簡単な言葉がわかるだけです。Cちゃんがお母さんに話すとき、小学生のお兄ちゃんが通訳するそうです。

お母さんには、「おうちで母語で話すことはとても大事なことだから、Cちゃんに母語で話しかけてあげてね。Cちゃんが二つの言葉を話せるようになったら素晴らしいでしょう。でも、お母さんが日本語を勉強して日本のことをわかることも大切。だから、頑張ってね。応援してるよ」と言っています。

● 保護者の姿勢が大切

保護者が日本のことを知らないと、子どもに対して適切な対応やしつけができません。子どもの言いなりになったり、逆に、日本の実情に合わない母国のやり方を、無理に子どもに押しつけるケースも見かけます。

それは、親子双方にとって不幸なことです。小さい子どもがいて、その子を日本で育てていこうとするならば、保護者はある程度、日本語を学ぼう、日本社会について知ろうとする姿勢が必要だと思います。

6. 日本人側が日本語をコントロールして使う

「やさしい日本語」

日本語を学びたくても、学ぶ場所がない、時間がない、支援者が得られないという外国人がいることは前述のとおりです。しかし、ある程度限られた文法、語彙なら、まだ身につけやすいのではないでしょうか。外国人に接する日本人の側が、自分の言葉をコントロールしてわかりやすい日本語を使えば、意思疎通が少しは容易になります。

2005 年に弘前大学の佐藤和之教授が、阪神・淡路大震災の経験を踏まえて、「やさしい日本語」を提唱されました。災害時に外国人に情報提供しようと思っても、通訳派遣や文書の多言語翻訳ができるまでに時間がかかりますが、構造が単純で短く簡単な日本語を使うことによって、情報提供が容易になるというものです。

効果のある手法だということでガイドラインも作られ、地方自治体でも外国人向けの文書作成に使われています。

子育て現場での伝わる日本語

「やさしい日本語」は災害時の緊急の情報伝達の手段で、生命を守ることが第一になりますが、子育て支援では状況が少し異なります。相手の文化・習慣にも配慮しながら、一方で日本文化も理解してもらいながら、子どもが健全に育つように、子どもと保護者を支援していかなければなりません。

そのために、日本語があまりわからない保護者に対しては、日本人側が“相手に合わせた日本語を話す・書く”ことが必要になってきます。慣れないうちは少したいへんですが、外国人と接する機会のある方にはぜひ知っていただきたいと思います。そのコツは、第 3 章（p31 ～ p54）をご覧ください。

7. 子育て支援は外国人支援の最前線

子育て支援現場で活躍する専門職の方々との意見交換ワークショップ

この冊子を作成するにあたって、保育士、保健師、地域の子育て支援グループなど 8 つのグループの方々と意見交換ワークショップを開きました。日ごろ外国人の親子と接して、意思疎通が難しかったケースや、文化の違いでとまどった経験を話していただきました。そして、それを乗り越えるために、さまざまな工夫をされていることも伺いました。その数々のエピソードは、この冊子の随所にコラムの形で載せています。

母子保健の現場で

母子保健は、妊娠中から 3 歳までの節目のときに、保健・衛生、発達という子どもにとって命に係わる重要なことを担っています。特に乳幼児健診は、家庭に閉じこもりがちな外国人の母親に直接会う数少ない機会です。日本語で意思疎通できるかどうか、支援者がいるかどうか、母親が不安定になっていないか、子どもの発育・発達はどうかなど――　支援が必要かどうかはここでしか見つけられません。

何人かの保健師さんから、「日本語のできる人が多いし、日本語のできない人はほとんど、日本語のできる家族や知り合いなどといっしょに来る。まったく意思疎通ができずに困るというケースは、それほど多くない」と聞きました。しかし、一方で、日本語がわからないために母子保健サービスを受けられない人、家族や友人の助けも得られない人がいることは、考慮しておかなければなりません。

また、子どもにケアが必要なのに保護者がそれを意識しない場合もあります。問題解決のためには、繰り返し働きかけることと、いろいろな機関が連携することが必要だと思われます。

保健師の話　親が外国人で日本生まれの子どもの言葉

母語と日本語との二言語で育った子どもの場合、言葉が少し遅かったり発音が不明瞭なことがあります。1 歳 6 カ月や 3 歳児検診のときに発見して、「言葉の教室」や子育てサークルへの参加をすすめますが、保護者は「上の子も遅かった」とか「仕事で時間がない」と言います。就学後に困るケースも多いと聞くので、乳幼児期から子どもの言葉に関心を持ってもらうよう、保護者に繰り返し伝えることが必要だと思っています。

● 幼稚園・保育園（所）で

幼稚園・保育園（所）では、毎朝毎夕、送り迎えのときに保護者と出会い、会話が交わされます。職場や近所づきあいではあまり日本語を必要としない人でも、園では日本語でのコミュニケーションは不可欠ですし、さまざまな文化摩擦も体験します。外国人の保護者にとっては、園こそが初めて日本語や日本社会に真剣に向かい合う場であることも少なくありません。最初は日本語がわからなかった人でも、毎日のコミュニケーションの積み重ねで少しずつ上達していきます。

しかし、小学校に上がると、子どもの送り迎えが無くなるので、保護者と学校の距離はぐんと離れてしまいます。園に在籍している間に、日本人と外国人の保護者どうしが接触できる機会や地域への橋渡しが望まれます。

保育士の話　お母さんも成長していく

年度当初はいろいろな書類を提出してもらわなくてはなりません。外国人のお母さんの場合、書類記入がなかなかたいへんなので、お互い調整して時間を取り、園でいっしょに書類を書くようにしています。いっしょに書類を見ながら、「ここは子どもの名前を書いて。ここは会社の住所を書いて」と一つずつ説明しながら書いてもらいます。

初年度はとても時間がかかった人でも、二年目は少しの手助けで書けるようになり、二人目の子どものときには自分で書いて来ます。子どもだけでなく、お母さんも成長していくんだなあと思います。

卒園して何年もたってからでも、道で出会ったときには「先生、お元気ですか？」と声をかけてくれます。

保育士の話　あせらず少しずつ

いっぺんにたくさんのことを言って、一度で全部言った通りにしてもらうのは無理です。それは、日本の人も同じです。一つずつていねいに説明して、一つずつクリアしていってもらえばいいのではないでしょうか。

園では毎日会って、声をかけるチャンスがあります。今日はこのこと、来週はあのことと、毎日の積み重ねで、少しずつわかっていってもらえればと思います。

保育士の話　だんだん日本語が上達する

最初の頃ほとんど日本語がわからなかった外国人のお母さんですが、毎日送り迎えのときに少しでも声をかけるようにしていると、3か月ぐらいで、だいぶん話が通じるようになってきたなと感じます。

こちらも、お母さんの性格や日本語のレベルが分かってきて、どう言えば伝わりやすいかがわかるようになるし、お母さんのほうも慣れてこられるのだと思います。

1年もたつと、新しく入所した子のお母さん（同国人）に、保育所でのやり方をいろいろ説明してくれます。

● 地域の子育て支援の現場で

最近、地域でも子育て支援の重要性がクローズアップされ、「子育てひろば」などを運営する市民グループやＮＰＯが増えています。未就園の乳幼児と保護者に遊びと交流の場を提供し、気軽に相談したり情報を得たりできる場として、重要な役割を果たしています。

そして、このような場にも外国人が参加するケースが徐々に増えてきています。いろいろな国の子どもと保護者が地域の人たちと交流し、お互いに理解を深めることで、多文化共生の芽が育っていくことでしょう。そのためにも、外国人が参加しやすい雰囲気づくりが大切です。

「子育てひろば」運営者の話　焦ってしまいました

地域で「子育てひろば」を開いています。先日、突然、赤ちゃんを抱いた中国の人が来られました。これまでの参加者は日本人ばかりだったので、外国人が来られて、正直あわててしまいました。

利用登録のことや開催日のことを説明したのですが、どれくらいわかってもらえたかわかりません。でも、続けてきてもらえたらいいなあと思っています。地域の日本語教室と相談して、良い方法を考えたいと思います。

中国人のお母さんの話
子どもを遊ばせたいけど不安

私と子どもはずっと家にいます。子どもは2歳です。私も子どもも友だちがほしいです。家の近くに、お母さんと子どもが遊びに行けるところがあると聞きました。

でも、私は日本語があまりできないので、日本人ばかりのところに行くのは、不安です。

● 外国人保護者に対する子育て支援のために

言葉は実際に使って初めて身につくものです。最初はあいさつだけでも、簡単な内容でも、コミュニケーションが成立したという経験が大切です。その経験の積み重ねが日本語習得を可能にしていきます。そのために、最初は日本人の側でその人に合わせた言葉を使っていくことが必要です。

保健福祉センター、幼稚園・保育園（所）、地域の子育て支援に関わる方々が外国人保護者に合わせた日本語を意識的に使ってくださることで、外国人保護者が情報を得やすくなるだけでなく、日本語を習得する支援にもなります。

日本人の子育て支援者とつながることによって、外国人保護者の異国で子育てする不便さや不安や孤独感が、少しでも軽減されることを願っています。

保健師の話　顔の見える関係

外国人が来られたときは、ゆっくりはっきり話すように心がけています。言ったことが本当に伝わったかどうか相手の表情を見て、わかりにくいようだったら、もう一度言ったり、絵を描いたりします。

顔をおぼえてもらうと、次からは向こうのほうから「こんにちは」と挨拶したり、わからないことを質問したりしてくださいます。こんな顔の見える関係を大切にしたいと思っています。

第2章

子育て支援現場での事例

一生懸命に対応していても、現場ではいろいろな行き違いが起こります。

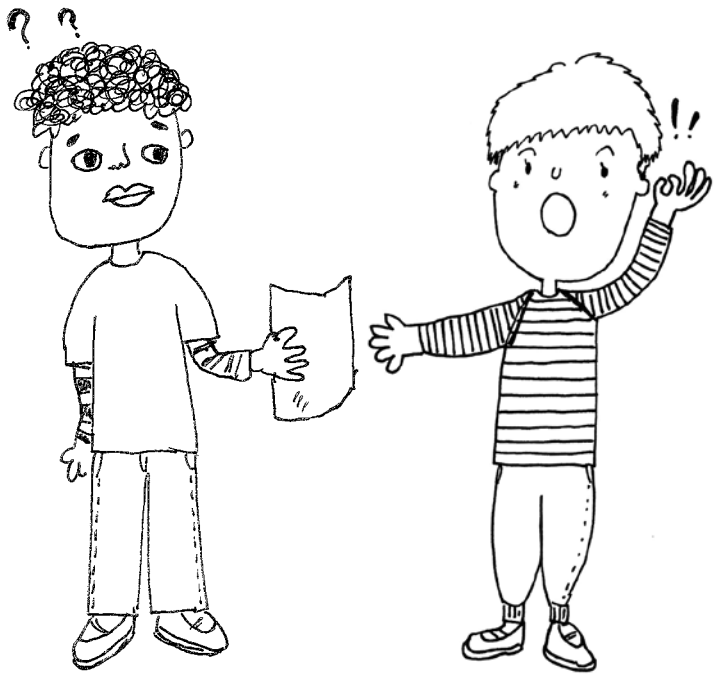
文化が違い、しかも保護者と日本語での意思疎通が難しい場合、本当に困りますね。

ここでは、幼稚園、保育園（所）や保健福祉センターで実際に起こった事例をあげました。

あなたもこのような経験がありますか？

こういう場合、どうしたらいいのでしょうか？

いっしょに考えてみてください。



事例1　遠足のお弁当に“キンパ”を持ってきた

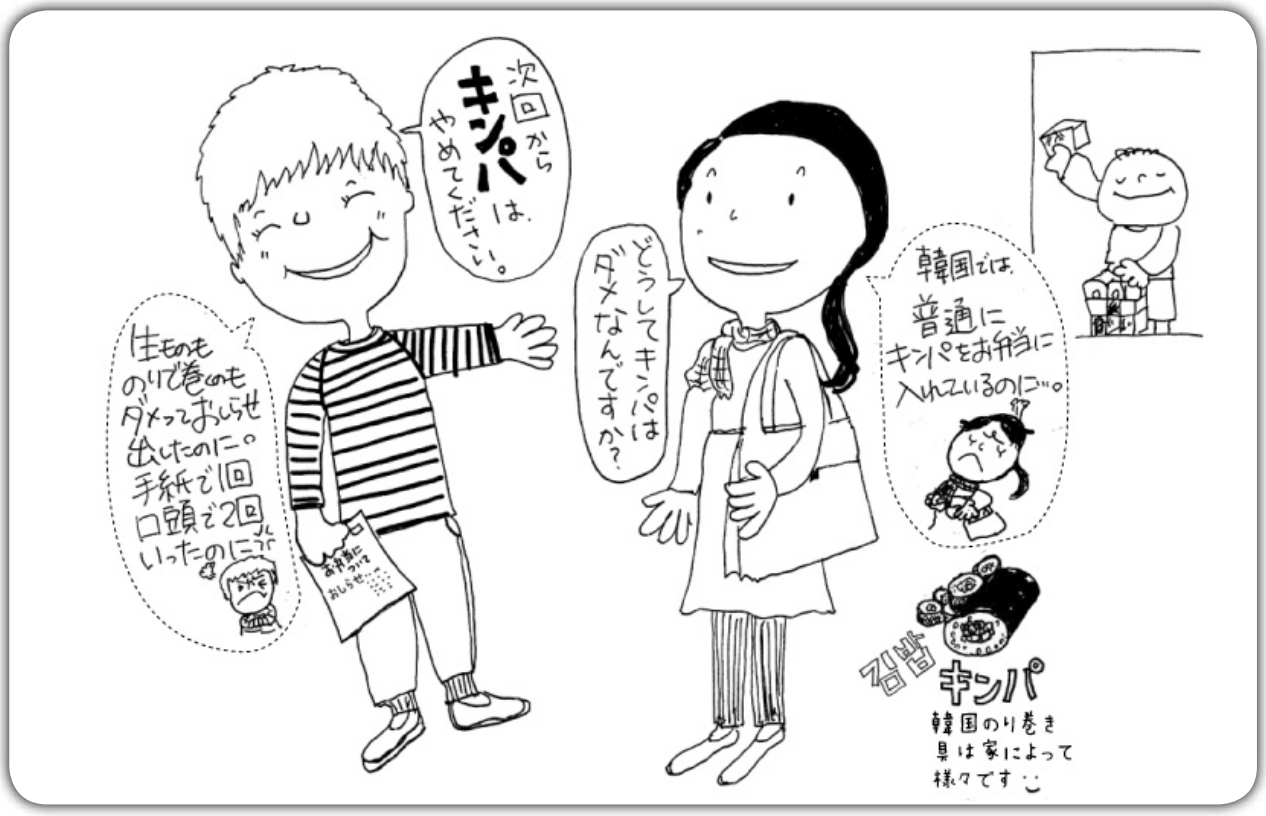
保育園で、遠足の数日前に、保護者に「遠足の持ち物・服装のお知らせ（p48 参照）」を配布しました。そこにはお弁当の注意事項として、全てのものに加熱すること、汁気のものは入れないこと、炊き込みご飯や焼き飯は具材が傷みやすいので控えること、おにぎりはラップを使ってにぎり、お弁当箱に入れるときはラップを外すこと、ノリ（海苔）は巻かないことなどが記されていました。

遠足当日、Aちゃんのお弁当箱には“キンパ”が入っていました。

キンパは韓国ノリ巻きです。日本式ノリ巻きとの大きな違いは、ご飯が酢飯ではなく、ゴマ油と塩を混ぜること、具材にキムチや炒めた肉、野菜を茹でて味を付けたもの、タクアンなどを使うことです。ポールウインナーやカニカマを使うこともあり、具は家によって様々です。これらを韓国ノリで巻きます。

担任は、キンパが韓国ではお弁当の定番だということを理解していましたが、保育園としては「お弁当の注意事項」を配布していることもあって、迎えにきた保護者に「次回から、遠足のお弁当にキンパはやめてください。火を通したものにしてください」と話しました。

〈保護者〉「どうして、キンパはダメなんですか？」
〈保育士〉「キンパには生のものが入っているし、ノリで巻いてあるからダメなんです。腐りやすいから、入れないでください」
〈保護者〉「韓国では、みんな普通にキンパをお弁当に入れています。腐ったりしないから、大丈夫です」
〈保育士〉「お母さんの気持ちもわかりますが、保育園で決まっているので、これからそうしていただきたいんです」
〈保護者〉「わかりました」



考えてみましょう

●保護者は、どう感じたと思いますか。
●お知らせの文章の内容は、外国人にとって理解しやすい文章だったでしょうか。
●なぜそういう決まりがあるのか、相手に伝わっていますか。

保育士の話　後日談

この次の遠足のときには、Ａちゃんはウインナーや卵焼きの入ったお弁当を持って来て、この件は終わりました。でも、お母さんの本当の思いはどうだったのか、自分の国の文化を否定されたと感じたのではないかと気になりました。

韓国のお母さんの話　納得できない

「これは、ダメです。決まっています」と言われても、理由が納得できなければ、不満な気持ちが残ります。

保育士の話　当園ではキンパもＯＫです

この事例を見て、この園では食中毒にずいぶん厳しく対応しておられるのだなと思いました。

私たちの園では、保護者が作って持たせたお弁当にクレームを付けるようなことはしません。キンパもＯＫですし、以前はサモサを持って来た子がいました。とてもおいしそうで、みんな「いいなー」って言っていましたよ。

保育士の話　言い方に注意

保護者が日本の気候風土をよく知っておられるのならいいですけど、気温が低くて乾燥した母国と同じ感覚でお弁当を作った場合、食中毒の危険性があります。ですから、やはり注意を喚起することは必要だと思います。特に大阪市ではO157の流行以来、衛生管理を厳しくし、保護者にも「お弁当の注意事項」を配って協力を求めています。

この場合、ごはんに具を入れたりノリで巻くことをやめてほしいので、キンパだけがダメなのではなく、日本のノリ巻きもノリを巻いたおにぎりもダメなのです。

「キンパはやめてください」と言ってしまうと、その時点でお母さんの頭の中は「キンパはダメと言われた！」ということでいっぱいになってしまって、他の言葉は耳に入らないような気がします。だから、「生ものを入れたりノリを巻くのは、腐りやすいのでやめてください」という言い方をするほうがいいと思います。

保育士の話　お弁当は長時間持ち歩く

お弁当は、暑い中を長時間持ち歩いてから食べるものですが、そのことをあまりわかっておられない保護者もおられます。お弁当箱に入れることは絵や写真で説明できますが、食べ物が「いたむ」「腐る」というのは、実際に腐った経験がないと理解してもらいにくいです。その点をていねいに説明することが必要だと思いました。

中国のお母さんの話　お弁当に何を持っていけばいい？

お知らせの文章はわかりましたけど、じゃあ、いったいどんなものを持って行ったらいいのか、わかりません。私の国では、お弁当を持っていくことがありませんでしたから。

日本語教室ボランティアの話　いろいろな工夫

保育園（所）によっては、事前にお弁当の実物を見せるとか、写真やイラストで説明するという工夫をしておられるところも多いようです。最近は、デジカメとパソコンで簡単に資料が作れるようになったので、とても便利です。

また、ボランティア団体などで、外国人向けのお弁当の講習会をしているところもあります。もし、地域にそのようなところがあれば、そういう情報を保護者に伝えてあげられたらいいですね。

・・・・・・・・・ こんな事例も ・・・・・・・・・・・・

保育士の話　配慮したつもりが…

クリスマス会のお知らせを配布したとき、仏教国から来られた保護者から、「これはキリスト教（の行事）ですか」と尋ねられました。保護者はあまり日本語が通じないようだったので、詳しい説明をしてもわかりにくいかと思って「べつに無理に参加しなくてもいいですよ」と伝えました。当日、子どもは欠席しました。

ずいぶんたってから、「内容を知りたかっただけなのに、参加しなくていいと言われた。ちゃんと説明してほしかった」と言っておられたと他の人から聞いて、親切に言ったつもりが拒否的に受け取られたのかとショックでした。

（★波線部の表現は、日本語に慣れていない外国人にうまく伝わったでしょうか）

事例2　ぎょう虫検査のセロファン紙に便が

園では毎年6月ごろにぎょう虫検査を実施します。Bちゃんを迎えに来た保護者に、検査紙の粘着部を肛門に押し当てる方法を、担任が袋の裏面に描いてあるイラストを見せながら説明しました。保護者は、「OK！OK！」とOKサインを示しましたが、3日後に持ってきた検査紙には少量の便がはさまれていました。

次の年のぎょう虫検査では、前のことがあるので、実際に検査紙を使い、ジェスチャーを交えてより詳しく説明しました。保護者は何度もうなずきながら「OK！OK！」と返事してくれましたが、このときも、少量の便をはさんで持ってきました。

考えてみましょう

●ぎょう虫検査は日本ではおなじみの検査ですが、外国でも同様に実施されていると思いますか。
●伝えなければならないポイントは、何だと思いますか。
●どうしても伝わらないとき、どういう方法が考えられますか。

保育士の話　絵と説明が違ったから？

検査袋の裏面に、天使のようなキューピー人形が自分で検査紙を肛門にあてている絵が描かれています。この絵を見せながら説明したのですが、説明したのは保護者が子どもの肛門に検査紙を押し付けるやり方だったので、絵と説明とがつながりにくかったのではないかと後で反省しました。

ちなみに、このキューピー人形は、「丸輪　太郎（まるわ　たろう）」というそうです。

保育士の話　「うんちはダメ」とはっきり

保護者の中には、母国料理のレストランの厨房で働いている関係で、検便の経験がある人がいます。ぎょう虫検査も同じだと誤解されたのかもしれません。

私は、本物の検査紙を見せて、ジェスチャー入りで説明します。「（実際の日付を入れて）○日の朝、起きたらすぐに、この紙をめくって、この面を子どもの肛門にこうやって当てます。そのあとは紙を閉じておく。△日の朝はこちらの紙をめくって、この面を当てます。検査紙をこのように合わせて袋に入れて持ってきます。うんちはダメ」と、実際にやって見せながら、はっきりゆっくり説明します。このやり方で、便をはさんできた子はいません。

保育士の話　たとえの話は伝わりにくい

私の経験では、別の物を代用して「これがお尻だとすると、これをこうして……」というような、たとえの話は誤解の元です。できる限り実物で、どうしても実物が無理なときは写真や絵で説明する方が伝わりやすいです。

日本語教室ボランティアの話　外国でぎょう虫検査は？

日本では、ぎょう虫検査は学校保健法施行規則等で定められていて、1958 年以降実施が義務付けられています。ですから、日本人保護者にとっては自分も幼児期から体験してきたおなじみの検査で、特に説明しなくても「あ～アレね」とわかってもらえます。しかし、経験がない人にとっては、何の目的で、どのようにするのかが理解しにくいのではないでしょうか。

他国でもぎょう虫検査が行われているのか、知り合いの外国人に尋ねてみたところ、アフガニスタン、インド、オーストラリア、韓国、キューバ、スリランカ、中国、トルコ、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、ベトナム、ペルーの出身者は、「母国ではこういう検査はしたことがない」とのことでした。（★同じ国でも、地域によって、時期によって事情が異なるかもしれません。あなたの周りの外国人にも尋ねてみてください）

・・・・・・・・・ こんな事例も ・・・・・・・・・・・・

保育士の話　医師の意見書

水痘にかかった子どもがいて、お母さんは「もう治った」と園に連れてこられました。「この病気は他の子どもにうつるから、医師の意見書（「学校感染症等に係る登校、登園に関する意見書」）で登園してもいいと言われなければ預かることができません。お医者さんの意見書をもらって来てください」と言ったのですが、どうしても伝わりませんでした。たまたま、同じクラスに同じ国の人で日本語がかなりできるお母さんがおられたので、そのお母さんに通訳してもらって、やっと理解してもらえました。

日本語教室ボランティアの話　どうしても伝わらないときは

定期的に通訳が来てくれるという非常に恵まれた園もあるそうですが、ほとんどの園の場合、通訳を頼むのは難しいようです。しかし、大事なことがどうしても伝えられないときは、他の助けを借りることも必要です。

ぎょう虫検査のやり方や医師の意見書が必要なことの説明など、一般的なことについては、限られた言語ですが翻訳された文書もあります。（p64 ～ p66 のリストをご覧ください）

また、国際交流センターやＮＰＯ、地域の日本語教室などで通訳してくれる場合もあります。いざというときのために、連携できるところを日頃から探しておくのが良いと思います。

事例3　園で子どもがケガをして、保護者が激怒

Cちゃんは、保護者と帰る間際に園の庭で転んで左ほほに擦り傷ができました。走っていて転んだところに、運悪く木の根元があって、そこで擦った様子でした。

保護者はCちゃんの顔に擦り傷ができて出血しているのを見て、「私の国では、女の子が顔にケガをするなんてありえない！保育園の責任だ。ケガの跡が残るようなことになれば、裁判をしてでも責任をとってもらう！」と激怒し、Cちゃんの手当をしていた保育士にむかって大声で怒鳴ったり、木の根元の写真を携帯電話で撮ったりしました。

応急処置の後、保護者と保育士は近くの外科・皮膚科の医院にCちゃんをつれて行って診察してもらいました。

医師の診断は「若干傷跡は残るであろう」ということでした。保護者はそれを聞いて、保育士にむかって繰り返し「ちゃんと元通りにしてほしい」と言いました。

それ以降毎日、保育士がCちゃんを連れて、傷の消毒と経過観察のために通院し、夕方迎えに来た保護者に治療の内容と傷の様子を仔細にわかりやすく伝えました。

保護者は最初は無言でしたが、日がたつにつれて、「そうですか」と答えてくれるようになり、医師から「完治しました」と言われたと伝えたときには、「毎日医者に連れて行ってくれてありがとう」という返事が返ってきました。傷跡はほとんど残っていませんでした。

考えてみましょう

- ●子どもがケガしたとき、普段はどのように対応し、保護者にどのように説明していますか。
- ●激怒して保育士を激しい口調で責めた保護者ですが、次第に態度が軟化し、最後にはお礼まで言ったのはどうしてでしょうか？
- ●子どもの成長過程に起こること（ケガやケンカなど）や、迎えに来た保護者に子どもを引き渡した後のことなどについて、日頃から保護者全員に説明していますか。
- ●また、上記のことを外国人の保護者に伝えるために、どのような工夫をしていますか。

保育士の話　責める口調の裏には

私も同じような経験があります。

夕方、迎えに来たお母さんにDちゃんを引き渡して「さようなら」とあいさつした後、私（保育士）は別の子どもの世話をしていて、Dちゃんのことは見ていませんでした。一方、Dちゃんのお母さんは迎えに来た他の母親と話しこんでいて、自分の子どもを見ていませんでした。その間にDちゃんがケガをしました。双方が見ていなかったために転倒した詳しい状況がわからず、私の説明があいまいになってしまいました。それで、Dちゃんのお母さんからずいぶん批難されました。

基本的に保育士は、保護者に引き渡した後は子どもは保護者がみているものと思っています。でも保護者は、保育所の敷地内で起こった事故はすべて保育所の責任だと思っています。保育士が見ていなかったことや説明があいまいだったことで、いっそう保育士を責める口調になったのではないかと思いました。

保育士の話　母語の口調

日本でも外国でもどこの国の人であろうと、自分の子の体に傷が残るのはイヤだと思います。ケガした直後はお母さんも動転していて、保育士を責める口調になったのでしょう。

ただ、外国人の場合、母語の発音や口調の影響で、日本語に慣れている者にとっては、かなり激しい言い方に聞こえることがあります。そのことで周りの人が必要以上にあわて、いっそう事態を大きくしてしまったのではないかと感じました。

保育士の話　日頃のコミュニケーションが大切

これは、外国人の保護者も日本人の保護者も同じです。日頃からコミュニケーションがとれていれば、小さなケガなら保護者もそれほど問題視されることはありません。

ただ、入園したばかりであまり慣れていないときに、子どもはケガをしやすいものです。そのときは保護者ともまだ親しくなっていないので、特にていねいに説明したり連絡を密にするなど、慎重な対応が必要です。

こんな事例も

保育士の話　お母さんどうしのケンカかと、ハラハラ…

同じ国のお母さんどうしが、手を振り回したりして激しい口調で言いあっておられたので、いったい何があったのかと思いました。外国語での会話なので、何が問題になっているのか私にはまったくわかりません。ハラハラしながら見ていると、そのうちに「アハハハ……」と笑いあって帰って行かれました。

後で一方のお母さんにそれとなく聞いてみると、子どもが家でティッシュを箱から次々に引っ張り出したり、トイレットペーパーをガラガラ引き出したりして遊ぶので困る、ということのようでした。「小さいときは、みんな同じね」と笑っておられました。

ちょっとしたことですが、一人で悩まず、知り合いと母語で話せたのはよかったと思います。そして、ふつうの世間話だったので、ホッとしました。お母さんどうしのトラブルでなくて、本当によかったです。

「どうしたのかな？」と思ったら、とにかく積極的に尋ねてみることが必要だと思いました。

事例4　母子健康手帳発行の際の面接で話が通じない

保健福祉センターでのことです。外国人の妊婦さんが、病院から指示されて母子健康手帳の交付手続きに来所されました。関係書類を渡すとき、保健師は面接して妊娠経過について確認することになっています。

身体の調子について、「つわり」はどうか？「出血」や「お腹の張り」はどうか？　など尋ねましたが、妊娠・出産・分娩に関わる専門用語が伝わらなくて、たいへん困りました。

〈保健師〉「おめでとうございます。お身体の調子はいかがですか？　つわりはありますか？」
〈妊婦〉　「ありがとう。え……？」
〈保健師〉「気持ち悪くないですか？」（おえっと口から吐き出しそうになる様子をジェスチャーで示す）
〈妊婦〉　「ああ、少しだけ」
〈保健師〉「お腹が張ったり、出血などはないですか？」
〈妊婦〉　「少しある」
〈保健師〉「おくすりは？　先生から注意されていることはないですか？」
〈妊婦〉　「ん……？　よくわからない」

「つわり」や「出血」など身振り、手振りで身体の変化を示しながら何とか話をしようとしましたが、病院からどのように説明を受けているか、具体的にどのような状態なのか十分聞き取ることができませんでした。

母子手帳の使い方や受診券の使い方の説明も必要でしたが、その場では意思疎通が困難であったため、後日、家族に本人の体調を確認し、関係書類の説明を行うことにしました。

考えてみましょう

●どういう言葉が伝わりにくいと思いますか。
●どういう工夫をすればいいと思いますか。　（個人的に／職場的に／行政として／社会全体で）
●どういうツールがあれば、便利だと思いますか。
●あなたの職場では、多言語資料等について情報が共有されていますか。

保健師の話　専門用語は難しい

かなり日常会話ができる人でも、「つわり」、「お腹がはる」などの表現は難しいのではないかと思います。いくらやさしい言葉に直そうとしても、どうしても無理な部分があります。

また、こちらからは何とか伝えられても、相手が話すことがわからなくて困ることもあります。

保健師の話

多言語表記の記入用紙を使えるようにしてほしい

母子手帳取得時の面接は、申請者と保健師が向かいあって口頭で聞き取りをします。

日本語が理解しにくい外国人であれば、多言語表記にした紙ベースの記入用紙のほうが、申請者が自分で理解して記入したり、質問ができるのではないでしょうか？

市が多言語の質問用紙を作成して、各区で使用できるようにしたら、現場はずいぶん助かると思います。

保健師の話

言葉で困ったことは、ほとんどない

地域によるとは思いますが、私の勤務しているところでは、皆さんけっこう日本語ができるし、できない人は日本語のできる家族や友達と一緒に来られるので、言葉が通じなくて困った経験はほとんどありません。

中国人妊婦の話

母子手帳をもらうだけだと思っていた

病院で「母子手帳をもらって来てください」と言われて、区役所（実際は保健福祉センター）に行きました。母子手帳だけ、すぐにもらえると思っていました。いろいろ質問されるとは思いませんでした。

でも、体調が悪いって答えたら、どうするんでしょう？　薬をくれるんですか？　検査するんですか？

医者でもないのに区役所の人がどうして私の体調を尋ねるのか、理解できません。

通訳ボランティアの話

多言語の母子手帳もあるはずなのに

外国人の妊婦さんに頼まれて、母子手帳をもらいに行くのについて行ったことがあります。

母子手帳は８カ国語ぐらいの翻訳版があるのですが、こちらから言わないと、もらえません。外国人の妊婦さんの中には、翻訳版があることを知らない人が多いと思います。

通訳ボランティアの話

役所の専門用語は日本人でもわかりません

外国人の妊婦さんに頼まれて、保健福祉センターについて行ったことがあります。

たまたまだと思いますが、対応した市の職員は役所用語を交えて早口で話すので、日本人でも聞き取るのがたいへんでした。「申請者の氏名」「関係医療機関」「嫡出子」と言われても、外国人でわかる人は少ないと思います。

こんな事例も

保健師の話　妊婦教室

母子手帳を取りに来られた外国人ママに、「妊婦教室」の案内をしました。お国にはこういうものはないらしく、いくら説明しても、もう一つよくわからない感じでした。外国人向けの説明文書などがあればよかったと思います。

事例5　出産後、お母さんは水にさわれない？

日本人外国人を問わず出産された方には、母子手帳に添付してある「出生連絡票」を居住地の保健福祉センターに郵送していただき、日時を約束して保健師または助産師が家庭訪問をすることになっています。

ある外国人の家庭を訪問した際、乳児のスキンケアの方法を説明する必要がありましたが、母国には“産婦は産後１か月は水に触れてはいけない”という風習があるらしく、母親への具体的な指導が困難でした。

〈保健師〉「赤ちゃんは元気にしてますか？　体重を量りましょうね」
（赤ちゃんを裸にしたところ、首の回りやおしりが赤くただれていた）
〈母親〉　「赤くなって痛そうなんです」
〈保健師〉「お風呂でしっかり洗えてますか？　石鹸をよく泡立てて洗ってあげましょうね」
〈母親〉　「……。私は水にさわれないので、おばあちゃんにしてもらっています」
〈保健師〉「お母さんのお顔をきれいにするのと同じなんですよ。お国の文化なのかな？　おばあちゃんにお願いしないといけないですね」

母国から産後の家事手伝いのために来日している祖母は日本語がまったくできないし、母親が子どもを入浴させられないという文化の違いにとまどってしまいました。

考えてみましょう

●伝えなければならないポイントは何だと思いますか。
●出産や育児にはその国の文化、習慣が特に強くあらわれます。どのような態度で接するのがいいと思いますか。
●日本式のやり方を勧めるときには、どういう点に配慮が必要だと思いますか。

保健師の話
目的や理由、方法をきちんと伝える

誰が洗うかは問題ではなく、まず、何のために洗わなければならないか、どのようにするのがいいのかを、きちんと伝える必要があるのではないでしょうか？

おばあさんは日本語がわからないのなら、お母さんに説明して、お母さんから伝えてもらったらいいと思います。産後１か月が過ぎたらお母さんが入浴させるのだし、二人ともに知っておいてもらう必要があります。

保健師の話　相手の国の文化を認める

相手の国の文化については、まずは認める姿勢を示すことが大切だと思います。いきなり「日本では、こうです」と押しつけないほうがいいと思います。

こんな事例も

保健師の話　帝王切開

中国人の妊婦さんから、中国では予定日の数日前から入院して帝王切開で出産する人が大部分だと聞いて、とても驚きました。日本では、母体か胎児の安全のために医師が必要と認めない限り帝王切開はしないと言うと、彼女のほうもびっくりしていました。陣痛が始まるまで家にいるなんて信じられない、不安でたまらない、日本で産むつもりだったけれど、母国に帰ることも含めて、母国のお母さんと相談すると言っていました。

保健師の話　産後の母子施設

韓国では、病院で出産した後、１カ月ぐらい母子で別の施設に入って、身体を休めるとともに育児の仕方を教えてもらうそうです。韓国人の妊婦さんから、そんな施設はどこにありますかと尋ねられたのですが、日本ではあまり聞いたことがありません。

保健師の話　離乳食

日本では、離乳食は重湯から始めることが多いですが、ある国では必ず野菜から始めるそうです。日本では赤ちゃんに香辛料入りの食べ物は与えませんが、インドではかなり小さいうちからターメリックなどの香辛料を使うそうです。国によっていろいろなやり方がありますね。

保健師の話　丸々太っているのがいい？

乳幼児健診のとき、太りすぎの赤ちゃんを連れて来たお母さんがおられました。「少し太りすぎですね」と言ったのですが、お母さんは褒め言葉と思われたのか、「そうなんです。とってもよく食べて、重いんですよ」と誇らしげにおっしゃいました。その国の文化では、子どもは太っている方がいいという考え方のようでした。

日本でも、少し前までは、丸々太っている子が「健康優良児」という考え方でしたが、最近は、幼児の頃から太っていると成長してから肥満や生活習慣病になりやすいと言われ、あまり太りすぎないようにという指導をしています。いちおう、その旨は伝えましたが、どこまで伝わったのかわかりません。価値観に対する文化の違いを感じました。

保健師の話　厚着の赤ちゃん

日本では、部屋を暖かくして薄着にするのがいいのですが、あるお母さんは、部屋もけっこう暖かいのに赤ちゃんに何枚も服を着せて、その上に防寒着まで着せていました。子どもがぐずっているので、「暑いからぐずっているのと違う？　一枚脱がせたら？」と言っても、「風邪をひいたらいけないから。母国ではこうするのが当たり前」と言われます。「お国は寒いかもしれないけど、大阪はそんなに寒くないでしょう？」と言っても、「赤ちゃんはこうするものだから」ということでした。

「背中を触ってみて、汗をかいているようだったら、脱がせてあげてね」と伝えました。

保育士の話　虐待？　母国式のしつけ？

ある家庭は、お父さんが子どもを棒でたたくので、何度も近所の人から警察に虐待で通報されたようです。園でも何度か保護者と面談したのですが、お父さんの話によると、その国では子どもをたたいてしつけることが一般的で、特に長男は父親が厳しくしつけなければならないのだそうです。棒でたたくが、たたくのはお尻や太ももで、力もちゃんと加減している。子どもは未熟なのでたたかないとわからないことがある。きちんと育てるのは親として当然の責任だ、ということでした。

とても礼儀正しく、厳しい宗教的戒律をきちんと守って暮らしておられる一家なので、たたくのも母国式のしつけで、文化の違いなのかなあとも思うし、日本的な感覚ではたたいてしつけるのはよくないとも思うし……。どうしたらいいかと思います。

（★まず職場の上司や同僚に相談して、「棒でたたくのは日本では暴力・虐待とみなされる」ということを保護者に伝えることが必要ではないでしょうか。）

保育士の話　日本の習慣を教える必要も

あるお母さんは、懇談で話している最中でも机にもたれかかったり、スカートなのに両膝を大きく広げて座ったり、人前で手鼻をかんだり……、ということがありました。お国の文化では許容範囲なのかどうかわかりませんが、日本では相手に悪い印象を与えます。それで、「日本ではあまりそういうことはしませんよ」と伝えました。何度か言ううちに、だんだんわかってくださいました。

保護者の態度や習慣は、子どもに大きな影響を与えます。子どもがずっと日本で育っていくのだったら、子どものために、やはり早いうちにお母さんに、そのことがどう見られるかということや、日本のやり方を教えておいてあげたほうがいいと思います。

保育士の話

お茶碗は持つ？　食卓に置く？　どうする？

日本では、食事のとき、お茶碗を持って食べるのが正しい食べ方ですが、お茶碗は食卓に置いたままで手に持たないほうが礼儀にかなっているという国があります。給食のとき、子どもをどう指導したらいいか迷ったので、お母さんに相談しました。「お国ではお茶碗は持たないそうだけど、日本では持ちます。○○ちゃんにはどちらの方式で食べるようにさせますか？　持つ方がこぼさないけれど、お国のやり方でもいいですよ。お母さんはどう思いますか」と尋ねました。お母さんは「じゃあ、お茶碗を持って食べるほうにします」と言われました。

後で、お母さんは、「もし先生から『日本ではお茶碗を持たないとダメ！』と言われたら、『私の国の文化は違います！』と反発したかもしれません。でも、先生は、『持って食べたらこぼさないけど、どうする？』と言われたので、『それもそうだなあ』と思いました」とおっしゃいました。

日本語教室ボランティアの話

笑顔は見せない？

ある国から来られた方はほとんど笑顔を見せることがなく、いつも気難しい表情なので、少し話しかけにくい感じでした。

３月末にそのクラスが終わるとき、その方がとてもまじめな顔で私のほうに近づいて来られたので、何か不都合があったのかとちょっと身構えてしまいました。すると、「ありがとうございました。担当してもらって、とてもよかったです」と言ってくださいました。ホッとすると同時に、とてもうれしかったです。

容易に笑顔を見せない文化もあると聞いていましたが、笑顔が良いとされる日本の文化とはずいぶん違いますね。

第3章

外国人保護者とのコミュニケーションのコツ

外国人と意思疎通する場合、相手が日本語に堪能であればいいですし、通訳者がいてくれたり、翻訳したものがあれば便利ですが、常にそれが期待できるわけではありません。

また、外国人に少しずつでも日本語に慣れてもらうことも必要です。

日本語でコミュニケーションするには、どういうことに気をつければいいでしょうか。

1.　大切なことは？

- 外国人の中には、日本社会のシステムについてよく知っている人も、そうでない人もいます。また、日本語が堪能な人も、そうでない人もいます。

- 日本語でのコミュニケーションになれていない人には、多言語での情報提供や通訳を使ったコミュニケーションが有効ですが、いつも文書を翻訳したり通訳者を依頼できるとは限りません。むしろ、できないときのほうが多いでしょう。

- そういう場合、簡単でわかりやすい日本語を使うことで、日本語でのコミュニケーションに慣れていない人に対しても、大切な情報が伝わりやすくなります。

- これまでのコミュニケーションを見直してみてください。そして、ちょっと工夫することで、だんだん意思疎通がスムーズになると思います。

- ただし、込み入った話や十分理解しあうための話し合いなどには、簡単な日本語だけでは限界があります。込み入った話し合いには、通訳を依頼することが必要です。

- また、外国人でも日本語が堪能で日本社会についてよく知っている人の場合は、無理に単純な日本語を使うと、不愉快に感じさせることがあります。ですから、相手をよく見て、段階的に使い分ける必要があります。

- 日本で暮らす外国人にとって、日本語でコミュニケーションがとれるということは、大きな力になります。特に日本語がまだあまりできない人にとって、少しでも日本語が聞き取れた、自分の日本語が通じたということは自信につながっていくことでしょう。わかりやすい日本語で話しかけることは、彼らの日本語習得を支援することでもあるのです。

- 最も大切なことは、相手とコミュニケーションする気持ちがあるという姿勢を示すことです。相手の目を見て微笑む、明るくあいさつする、「何でも言ってくださいね」と折に触れて言うなど、些細なことからきっかけができ、ちょっとした会話の積み重ねの中でコミュニケーションがスムーズになっていくことでしょう。

2.　日本語で伝えるコツ

ここでは、日本語に慣れていない人とのコミュニケーションのコツをルール化して提案します。何がわかりやすいかは人によって違いますが、例を見ながら、お知らせの書き方や口頭での情報の伝え方などをチェックしてみてください。みなさんの現場で必要な工夫をし、以下の１～35 のルールを活用していただければと思います。

日本語で伝えるには、次のことが大切です。Ⅰ～Ⅳは話し言葉にも書き言葉にも共通します。

Ⅰ　情報を整理し、簡潔に、相手が理解しやすい順序で伝える（情報の伝え方全般）
Ⅱ　「常識」や習慣を前提とした省略や婉曲表現は避け、必要に応じて説明を加える（文化面の配慮）
Ⅲ　単純な構造の短い文にする
Ⅳ　わかりやすい単語を使う
Ⅴ　話すときに気をつけること
Ⅵ　書くときに気をつけること
Ⅶ　相手の話を聞くときに気をつけること

Ⅰ 情報を整理し、簡潔に、相手が理解しやすい順序で伝える

【1】ズバリ本題にはいる

日本の通知文では、まず時候の挨拶、次に相手の様子を尋ね、日頃の協力への感謝を述べて、そのあとで本題に入るのがていねいだとされています。しかし、外国人にとっては、前置きが長いと、いったい何のことについての情報なのかがわからなくなってしまいます。形式的なあいさつは省き、すぐに本題に入りましょう。

〈例〉• 秋冷の候、皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは、当園の活動に対し、何かとご協力を賜り、職員一同厚くお礼申し上げます。おかげさまをもちまして、今年は設立 20 周年を迎えることができました。これからも一層子どもたちのために努力していく所存でございますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。さて、下記の通り、恒例の運動会を実施いたしますので、保護者の皆様におかれましては、ぜひともご参加、ご観覧いただきますようお願い申し上げます。

→　運動会をします。どうぞ、見に来てください。

【2】情報を取捨選択する

情報がたくさんあると、どれが大切なことかがわかりにくくなります。最低限必要な情報だけに絞りましょう。

〈例〉• お母さんが食事の準備中、赤ちゃんがテーブルクロスや電器のコードを引っ張って、テーブルの上のコーヒーやラーメンをひっくり返し、やけどをしてしまうことがありますので、赤ちゃんの手の届くところに熱いものは置かないようにしましょう。

→　赤ちゃんのそばに熱いものを置かないでください。いつも気をつけてください。

【3】伝える順番を考える

何についての話なのか、キーワードを先に伝えます。それから、時間の流れがある場合は、時系列にします。相手に行動をしてほしいときは、行動する順番に述べていくほうが、わかりやすいようです。

〈例〉• すぐに診察ができるように、服をぬがせてあちらでお待ちください。

→　もうすぐ診察です。赤ちゃんの服をぬがせてください。そして、あそこで待ってください。それからお医者さんが診察します。

Ⅱ「常識」や習慣を前提とした省略や婉曲表現は避け、必要に応じて説明を加える

日本人にとっては「常識」であり推測できることであっても、文化が異なる人には、きちんと表現しないとわかりません。省略や婉曲な表現は避け、必要に応じて、理由や背景説明を加えてください。

【4】「日本の常識」を前提とした話はやめる

「～にふさわしい○○（服装／態度／行動）」など、「日本では常識」でも、文化・習慣の違う国から来た人にとっては何を指して言っているのかわからないことが多いです。

〈例〉• 水遊びにふさわしい服装で来てください。
→　水遊びをします。ぬれてもいい服（Ｔシャツとズボンなど）を着てください。

保育士の話　「万障お繰り合わせのうえ」

保護者向けの教育講演会に、ある外国人のお母さんが参加されました。今まで、園の行事にはほとんど参加されることがなかったので、とてもうれしかったのですが、そのお母さんの日本語力では、講演の内容はほとんどわからなかったと思います。

終わった後で、「どうでしたか？」と聞くと、「わたし、話は全然わかりません。今日来ている人少ないです。他のお母さんはどうして来ないのですか」と尋ねられました。他のお母さんは仕事や用事で来られていないと答えると、「私は仕事休みました。絶対来ないとダメと思って」と言われます。

よくよく話を聞いてみると、講演会の案内に「万障お繰り合わせのうえ、ぜひともご参加ください」と書いてあって、辞書を引いて、これは絶対に参加しなければいけないのだと思って、仕事を休んで来られたそうです。

日本の暮らしや言い方に慣れた人だったら、「これはこう書いてあるけれど、無理をしてまで行かなくてもいいのだ」とわかるけれど、このお母さんは一生懸命辞書を引いて、書いてあるとおりに、仕事も休んで来られたと知って、とても申し訳ない気持ちになりました。

【5】省略やあいまいな表現はやめて、はっきり言う

日本語では、相手が察してくれることは言わずに済ませようとします。また、あえてはっきり言わないことが、ていねいさであったり、強く押し付けないやさしさになります。しかし、外国人には省略やあいまいな表現はわかりにくいです。

〈例〉• それは、ちょっとねえ……。→　すみませんが、それは、できません。ごめんなさい。
• 先に電話してくれたら、よかったのに……。→　こういうときは先に電話してくださいね。

保育士の話　まだあまり日本語ができないお母さんとの会話

保育士　「明後日の遠足は、雨だったら行きません」
お母さん「え、遠足、行かない？」
保育士　「遠足は行きます」
お母さん「どこに行かない？」
保育士　「雨だったら、遠足に行きません」
お母さん「えっと……、遠足、行きませんか？」
保育士　「雨のときは行きません。晴れのときは行きます」
お母さん「あー、わかりました。遠足、晴れのとき、行きます。雨のとき、行きません」
（★一方を言えばあとは省略してもいいと思いがちですが、両方の場合を言ったほうがわかりやすいようですね）

保育士の話　汚れたままのシーツを持ってきた

保育園のお昼寝用のシーツが汚れたので、お迎えに来たお母さんに「シーツが汚れたので持って帰って、明日持って来てください」と言って渡したら、翌日汚れたまま持って来られたのでびっくりしました。

「洗って持って来てください」と言えばよかったなと、反省しました。

保育士の話　だから、どうなの？

Ｅちゃんは前日熱が39℃あって欠席しましたが、次の日の朝は37℃に下がったからということで、登園しました。「後で熱が上がるかもしれませんね」と言うと、お母さんは硬い表情で「今は熱ありません。だいじょうぶです。私、今日仕事です」と言われました。

「後で熱が上がるかもしれません」と言っただけでは、（だから、どうなの？　今は熱がないのに、預かってもらえないの？）と思われたのかもしれません。

それで、「もし熱が上がったら連絡します。そのときは迎えに来てくださいね」と言うと、安心したように、「はい、わかりました。お願いします」とおっしゃいました。

保育士の話　「仕事、だいじょうぶ？」

来日して11年、日本語がペラペラのお母さんに行事予定表を渡して、「この日は保護者参観と懇談会があるけど、仕事だいじょうぶですか？」と尋ねると、「仕事？　だいじょうぶ、だいじょうぶ」とのことだったので、安心していました。

当日になって、お母さんは子どもを預けてさっさと仕事に行こうとされるので、「今日は保護者参観ですよ。仕事はだいじょうぶなんですよね？」と言うと、「はい、わたし、仕事だいじょうぶよ。行ってきま～す」と元気に行ってしまわれました。

あー、通じていなかったんだな、「仕事はちゃんとやれてる？」という意味にとられたのか……と思いました。

【6】背景知識・事情の説明をする

場合によっては、その目的は何か、なぜそうするのがよいのかを詳しく説明をすることが必要です。理解して協力してもらいやすくなるし、また、「日本の文化を押し付けようとしている」とか「私の国の文化を否定しようとしている」と誤解されることを防ぐことができます。

〈例〉• お守りを首からかけるのはやめてください。

→　お守りを首にかけないでください。子どもはよく動きます。物に引っかかったときにとても危ないです。（ジェスチャーをして見せる）　だから、やめてください。

保育士の話　ピアスをはずしてほしい

１歳児が、金のピアスをして登園しました。はずしてもらうようお母さんにお願いしたのですが、「私の国では１歳になったときに金のピアスをします。これは民族の習慣で、お守りだから絶対にはずすことはできません」と強く主張されるので困りました。

何かにぶつかったり、他の子が興味を持って引っ張ったりしたら危ないことを根気強く説明して、なんとかはずしてもらうことができました。

Ⅲ 単純な構造の短い文にする

【7】尊敬語・謙譲語は使わない

敬語は日本人でも難しいと言われますが、外国人にとってはたいへん難しいものです。ていねいに対応しようとして尊敬語や謙譲語を使うと、かえって理解しにくくなります。

〈例〉• どうされましたか。　→　どうしましたか。だいじょうぶですか。
• お越しの際に、ご持参ください。　→　来るときに持ってきてください。
• 運動会には、ぜひお父さんもいらしてくださいね。　→　運動会には、お父さんも来てください。

【8】一文を短くし、主語と述語を一つずつ含むだけの簡単な文構造にする

日本語は最後まで聞かないと、肯定か否定か疑問かわかりません。外国人にとって、長い文や複雑な文は理解しにくいので、一つの文を短くし、短い文をつなげていきます。一つの文で一つの情報を伝えるようにします。情報がたくさんある場合は、番号をつけたり、箇条書きや表にするなどの工夫をしてください。

〈例〉• 自転車は道路に止めずに、自転車置き場に入れてください。
→　自転車は自転車置き場に入れてください。道路に止めないでください。

【9】「誰が」「誰に」「何を」がわかりにくい場合は省略しない

日本語は、相手がわかっていると思われることはできる限り省略します。しかし、外国人にとって、主語や目的語が省略された言い方はたいへんわかりにくく、誤解されることがあります。

〈例〉• Ａちゃんにおもちゃをとられたので、怒ってたたいたんです。（誰が誰をたたいた？）
→　ＡちゃんがＢちゃんのおもちゃをとりました。それで、Ｂちゃんは怒ってＡちゃんをたたきました。
• 懇談会の都合のいい日を言ってもらったら、通訳の人に来てもらうよう連絡します。
→　懇談会は、何日がいいですか？　私が通訳の人に連絡します。その日に通訳の人に来てもらいます。

【10】修飾語を短くする

世界には、英語の関係代名詞のように前の語を後ろから修飾する言語も多いです。一方、日本語では前の言葉が後ろの言葉を修飾します。修飾語が長くなると、何が何を修飾しているのかわからなくなります。修飾語が長くなるときは、文を分けましょう。

〈例〉• まな板の上に置いてあった包丁をとろうとして、足の上に落してしまったり、洗面台のカミソリを握ってしまったり、子どもは大人が使っているものに興味を持ち、真似をして自分でも使ってみようとしてさまざまな事故が起こります。
→　子どもは大人がしていることを真似します。だから、いろいろな事故が起こります。
例えば、まな板の上の包丁をとろうとして、足の上に落してしまった。洗面台に置いてあったカミソリをつかんで手を切った、など。

【11】単純な動詞を使い、複雑な動詞の形は避ける

「～れる／られる」「～せる／させる」「～て　おく」「～て　みる」「～すぎる」等は、難しい表現のひとつです。また、動詞が二つ合わさった形もわかりにくいです

〈例〉• 名前を書いておいてください　→　名前を書いてください
• 階段を駆け上がる　→　走って階段を上がる

保育士の話　電話して、来るの？

外国人のお母さんに「子どもさんが保育園を休むときは、必ず電話してきてくださいね」と言ったら、「えっ、電話して来るんですか？　休むときは、保育園に来ません」とおっしゃいました。

保育士の話　聞いてみる　……何を見る？

外国人のお母さんが「保育園で習う歌を覚えたい」と言われたので、童謡のテープを貸してあげました。「家で聞いてみてくださいね」と言うと、「テープは聞きますけど、何を見ますか？」と言われました。

【12】なるべく肯定形を使う

できるだけ肯定形を使います。否定形は、「食べません」「行きませんでした」などのような単純な否定文だけにします。「～以外」「～を除いて」という言い方も使わないようにしましょう。

〈例〉• いっしょにしませんか？（否定形での勧誘）　→　いっしょにしましょう。
• 食べられないことはない（二重否定）→　食べられる
• 辞退しない限り自動的に継続されます
→　やめるときは保育園に言ってください。言わないとずっと続きます。
• 決まった方以外の方がお迎えにいらっしゃるときは、必ずご連絡ください。
→　いつも誰がお迎えに来ますか？　お母さんですか？　では、お母さんが来られないときは、お母さんが保育園に電話して、誰が迎えに来るか教えてください。

日本人保護者の話　誘いの言葉だとわかってもらえなかった

ママどうし出かける約束をしました。外国人のママも誘おうと、「いっしょに行きませんか？」と言うと、「行きません！」と言われました。他の人が「いっしょに行きましょう」と言うと、にっこりして「はい、行きます」と言われました。えー、どうして？　と思ったけど、後で聞くと「行きませんか？」と否定形で言うと、「あなたは行かなくていい。行きませんね」と言われていると思ったとのことでした。「行きませんか？」のほうが「行きましょう」よりていねいな誘い方だと説明しました。彼女は今までずっと誤解していたそうです。

【13】文末表現はわかりやすいものにする

日本人は文章を書くとき、同じ表現を繰り返すと稚拙に見えるため、わざと異なった表現を使うよう教えられます。しかし、外国人にとっては同じ表現のほうがわかりやすいです。禁止なのか、依頼なのかなどがはっきりわかる表現がいいです。また、体言止めにしないで、述語をはっきりさせます。

〈例〉• 食べられます／食べられません　→　食べることができます / できません
• ご参加いただきますようお願いします　→　参加してください
• ～しないようにしましょう
• ～はご遠慮ください
• ～は控えてください
• ～は避けてください
→　～しないでください
• 家に帰ったら手洗いとうがいを！　→　家に帰ったら、手を洗ってうがいをしましょう

Ⅳ わかりやすい単語を使う

【14】わかりやすい言葉を使う

外国人にとってわかりやすい言葉とはどんな言葉なのでしょうか。もちろん、人によって違いますが、外国人が学習する日本語の初級テキストの語彙を見てください（p72 ～ p79）。日本語のテキストには、子育てや母子保健の言葉は全くといっていいほど出てきません。彼らにとって初めて聞く言葉がほとんどです。ですから、できるだけ一般的な言葉を使ったほうが伝わりやすいです。話してみて相手がわかりにくいようだったら、別の言葉に換えてみてください。

〈例〉• 気長にしつけてください
→　できるまで何回も言ってください。子どもができるようになるのに、時間がかかります。

保育士の話　保育士の間でもいろいろな言葉を使っている

同じ保育園内でも、保育士によっていろいろな言い方をしていることがあります。「おしぼりタオル／お手拭タオル」「ロッカー／物入れ」「げた箱／くつばこ／くつ入れ」「しきもの／シート」など。慣れている人にはわかりますが、外国人のお母さんには難しいだろうなと思います。

それで、園内の言葉をチェックして、できるだけ統一しようと話し合いました。

【15】熟語はむずかしいので、やさしい言い方に変える

漢字は少ない文字数で複雑なことを表現できるので便利です。特に熟語にすると、よりいっそう凝縮した表現が可能になります。しかし、外国人にとっては難しいので、ふだんよく使うやさしい言い方に変えます。

母国で漢字を学んだ中国人にとっては、熟語を見たときは意味がわかることが多いので便利ですが、発音が全く違うので聞いたときはわかりません。書き言葉では振り仮名をつけ、話すときはやさしい言い方に変えましょう。

〈例〉• 水の使用　→　水を使う
• 熱湯　→　とても熱いお湯
• 乳幼児　→　赤ちゃんや小さい子ども

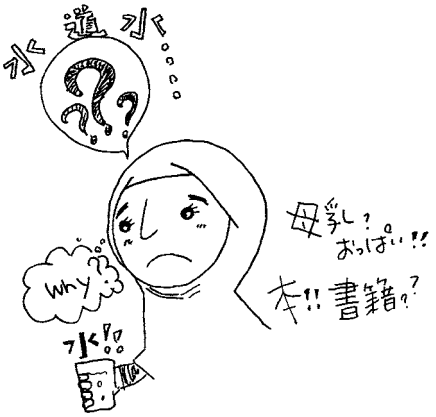
アフガニスタンのお母さんの話

どうしてわざわざ難しい言葉を使うのですか？

日本語で一番困るのは漢字です。話を聞くのはほとんどわかりますし、ひらがなとカタカナも大丈夫です。でも、漢字は難しいです。それと、日本語は二つの言い方があります。「ミルク／牛乳」、「かばん／バッグ」、「おっぱい／母乳」、「本／書籍」、「病院／医療機関」「オートバイ／バイク／原付」、「育児／子育て」など。

ふだんの会話で使わないものはわからないので、「他の言い方、ありますか」と聞いて、やさしい言い方で言いなおしてもらいます。そうしたら、わかります。

このあいだ、「水道水」がわかりませんでした。尋ねると、「水」のことですって。どうしてわざわざ難しい言い方をするのですか。



【16】凝縮された表現は避ける

複数の言葉が組み合わさった表現や、短縮した言葉も難しいので、使わないようにしましょう。

〈例〉• 使い慣れた　→　いつも使っている
• 食わず嫌い　→　食べたことがない。でも、嫌いだと言う。
• 育休　→　育児休暇（子どもを育てるために、しばらく休む）

【17】カタカナ言葉の使用はなるべく避ける

カタカナ言葉はもとは外来語ですが、日本式の意味になってしまっていたり、発音が違ったり、外国人はかえって混乱します。ただし、バス、スーパーなど、他に言い換えられない言葉はそのまま使いましょう。

〈例〉• ウエットティッシュ　→　ぬれたティッシュ
• ハンドタオル　→　小さいタオル

【18】擬音語、擬態語、幼児語の使用は避ける

擬音語・擬態語は、音や様子を伝える言葉で、日本語ではよく使われますが、外国人にはわかりにくい表現の一つです。擬音語・擬態語だけにせず、動詞といっしょに使えば伝わります。
また、子どもに親しみを込めて幼児語を使うことがありますが、外国人にはかえってわかりません。

〈例〉• 首がぐらぐらする　→　首が揺れ動く。首がしっかりしていない。
• すくすく教室　→　乳幼児のための教室
• もう、へとへと　→　もう、へとへとに疲れた。

ペルーのお母さんの話　オッチンして、ナイナイして、バッチいのはポイ

子どもが隣のおばさんにお菓子をもらいました。
「オッチンして。アーンして。オイチイねー。はい、ナイナイしとこうね。バッチいのはポイして。あ、ブーブー来たよ」 私がわかったのは、「はい」と「来たよ」の２つの言葉だけでした。

【19】よく使われる言葉や覚えてもらいたい言葉はそのまま使う

やさしい言葉を使おうとしても、言い換えがむずかしい言葉もたくさんあります。知っておいた方がいいと思われる言葉は、やさしい言葉で説明したり、実物を見せたり、絵、写真、対訳などで説明して、そのまま使います。よく使う言葉はそのまま覚えてもらうと、後のコミュニケーションがスムーズになります。文書の場合は、おぼえてほしい言葉の後にカッコ書きで説明を入れます。

〈例〉• 下痢（げり）　→　下痢（水（みず）のようなウンチが出（で）る）
• 給食（きゅうしょく）　→　給食（保育園（ほいくえん）のご飯（はん））

保育士の話　準備物は写真入りで

入園時には準備していただく物がたくさんありますが、言葉だけではわかりにくいので、「用意する物」のしおりには、一つ一つ写真を入れています。日本人のお母さんたちからも好評です。今はデジカメとパソコンで比較的簡単に作れるし、一度作っておくと毎年使えるので便利です。

【20】年月や時間の表し方について注意する

- 年を表すときは、元号（平成など）を使わないで、西暦を使用しましょう。併記するのもいいです。
- 時間は 24 時制で表わさずに、「午前・午後」または「朝・昼・夜」を使用して 12 時制で表わします。
- 「～」、「/」などの記号は使わないようにしましょう。言語によって意味が異なる場合があります。

〈例〉
- 平成 25 年　→　2013 年
- 10 時　→　午前 10 時　　朝の 10 時
- 15 時　→　午後３時　　昼の３時
- 10：00 ～ 14：00　→　午前 10 時から午後２時
- 5/10　→　５月 10 日　（国によっては、5/10 は 10 月５日を表す場合があります）
- ４月１日（日）　→　４月１日（日曜日）
- 来週の日曜日　→　来週の日曜日（４月 22 日）
  （曜日の始まりの感覚が国によって違うため、日付をはっきりさせます）

日本語教室ボランティアの話　時間の誤解

外国の人と「14 時」に約束をしたら、「4 時」だと思っておられたことがありました。

また、盆踊りを見に行きたいというので「7 時半」に待ち合わせたら、朝の 7 時半に「今着きましたけど、どこにいますか」と電話がかかってきました。盆踊りだから夜に決まっていると思うけど、ちゃんと「夜の」7 時半と言わなかったのは失敗でした。

V 話すときに気をつけること

【21】ゆっくり、はっきり話すが、大きい声は必要ない

やさしい日本語で、ゆっくり、はっきり話してください。でも、大きい声は必要ありません。穏やかな声で落ち着いて話してください。相手が大人であることを尊重して話してください。

【22】方言の使用はなるべく避ける

外国人にもいろいろな人がいます。教科書で日本語を勉強した人には、方言はなじみがないし、辞書にも出ていないので、わかりにくい言葉になります。一方、周りの人の会話から日本語を身に付けて、むしろ方言のほうを聞き慣れている人もいます。その人が使う言葉を聞きながら、どんな表現がいいか使い分けが必要になります。

〈例〉
- ほかす　→　捨てる
- ちっこい　→　小さい
- あかん　→　だめです

中国のお父さんの話　方言は慣れるしかない

「ほかしといて」と言われて「保管して」おいて笑われたり、「これほっといて」と言われて、そのままほったらかしにしていて叱られたり……。「午前中に30個いける？」と言われて、「どこへ行くんですか？」と聞いたら、「30個できるか聞いてるんや！」と怒鳴られたり……。失敗は思い出せないぐらいたくさんあります。

方言は日本語の教科書にも出てきませんし、辞書を引いても載っていません。その場その場で聞いて慣れるしかないんですよね。最初はそのことがわからなくて、自分が習った日本語と違うのですごく落ち込みました。

【23】同音の言葉はなるべく避ける

発音が同じ言葉や、音が似ている言葉はなるべく使わないようにして、誤解を避けるために詳しく言ってください。

また、場面によって違ったニュアンスで使われる言葉は、わかりにくいので、使わないようにしましょう。

〈例〉
- 髪（かみ）／紙（かみ）　→　髪の毛／白い紙
- 服（ふく）／拭（ふ）く　→　洋服／タオルで拭く
- それはえらいことでしたねえ。（「偉い」と誤解する）　→　それはたいへんでしたね。
- 先生　→　学校の先生／病院のお医者さん
- はい結構です／いいえ結構です　→　はい、いいです。／いいえ、いりません。

【24】話し癖に注意する

「え～っと、それから」「あ、さっきのことだけど」「実は」など、あまり意味のない言葉が入ったり、話が前後すると、日本語があまりできない人は混乱します。口癖なども、何度も出てくるので大切なことなのかと誤解されてしまうこともあるので、要注意です。

保育士の話　ホンデ

外国人のお母さんに遠足のことについて説明して、最後に「何かわからないことがありますか？」と聞くと、「だいたいわかりましたけど、どんな本ですか？　本で何をしますか？」と質問されました。

「え？　本の話なんかしてませんけど」と言うと、「先生は、『本で‥、本で‥』と言われました」。

自分では気づいていなかったんですけど、口癖で話の継ぎ目に「ホンデ（関西弁・それから）」と言っていたようです。恥ずかしい…。

【25】重要な情報は繰り返したり、紙に書いて渡す

重要な情報は、ゆっくりはっきり、繰り返して伝えます。また、口頭で伝えるだけでなく、メモにして渡しましょう。その人が後で確認できるし、家族などに尋ねることもできます。ふだんの会話のなかでも、特に覚えておいてほしいことは書いて渡すようにすると、今後の会話がスムーズになります。

〈例〉• 明日は、健康診断がありますから、朝熱を測っていただいて、問診票を書いてきてくださいね。服も脱ぎやすいものを着てきてください。

→　○月○日（明日）健康診断をします。朝、ねつをはかります。問診票を書いて、持ってきます。ボタンのある服は着ません。Tシャツなどを着ます。

メモ：○月○日　健康診断　　朝…ねつ、問診票、ボタンのない服（Tシャツなど）

【26】電話の場合は、特に要点をしぼって簡潔にする

会って話す場合は、ジェスチャーや表情、実物やメモを見せるなど言葉以外の手段も使えますが、電話の場合は、音声だけが頼りです。一番大切なことだけを、わかりやすい言葉で伝えてください。また、約束の日時、場所などは、相手に繰り返してもらうなどの慎重さが必要です。

日本語教室ボランティアの話　待ち合わせは苦手

外国の人と待ち合わせるのはあまり好きではありません。特に電話で約束したときはたいへんで、時間を聞き間違えたり、場所が違ったり（駅の北出口と南出口、改札の中と外など）して、なかなか会えずに走り回ることがよくあります。日にちを間違えていたこともありました。

Ⅵ 書くときに気をつけること

【27】手書きの場合は、なるべく楷書でていねいに書く

印刷された日本語が読める人でも、日本人の手書き文字、特に「つづけ字」は難しいと感じている人は多いです。「く」と「し」、「こ」と「て」、「月」と「日」など、前後の言葉で間違うはずがないと思っても、手書き文字に慣れていない外国人には読みにくいことがあります。メモなどを書いて渡すときは、できるだけ楷書で書きましょう。

保育士の話　「おーぼり」「さっまいも」

◆メモに縦書きで「おしぼり」と書いて見せたとき、「『おーぼり』って何ですか？」と尋ねられました。「し」の字の最後の部分があまり上に跳ね上がっていなかったので、伸ばす音「－」と思われたようです。

◆「先生、『さっまいも』って何ですか？」と質問されました。首をかしげていると、「これです」と掲示板を指さされました。見ると、給食のメニューの中の「さつまいも」の「つ」の字が少し小さく見えます。「昨日見て、家で辞書を引いたけどわからなかったから聞きました。サツマイモはわかります」とのことでした。

【28】難しい漢字は使わず、ひらがなで書き、漢字には必ずふりがなを付ける

漢字を使わない国から来た人にとって、漢字の学習はとても苦労するそうです。日本語学校で日本語を学んだ人でも、初級で習う漢字は 250 字程度です（p71）。ですから、漢字を使う場合は、やさしい漢字だけにして、必ずふりがなを付けてください。ふりがなは、ひらかなで、できるだけ大きくします。

ひらがなが続くと読みにくいので、言葉と言葉の間にスペースを入れて「分かち書き」にします。

一方、漢字を使う国から来た人にとっては、漢字が多い方が分かりやすいようですが、読み方はわからないので、やはり、ふりがなは必要です。

〈例〉• 炊き込み御飯や焼き飯は腐りやすい。→　たきこみごはん　や　焼（や）きめし　は、くさりやすい。

日本語教室ボランティアの話　カタカナはおぼえにくい？

日本語では、ひらがな、カタカナ、漢字が混在します。外国から来た人がまずおぼえるのはひらがなです。ひらがなの次にはカタカナに進みますが、「ひらがなはおぼえたけれど、カタカナはなかなかおぼえられない」という人が結構多いです。だから、ふりがなにはひらがなを使った方がいいと思います。

【29】記号は、世界共通とは限らない

記号は世界共通とは限りません。例えば、日本では、〇は正しい、×はまちがいの意味ですが、正しいものに✓（チェック印）、間違いに〇印をつける国もあります。また、郵便番号の「〒」印は、日本特有だそうです。

中国のお母さんの話　〇印に戸惑い

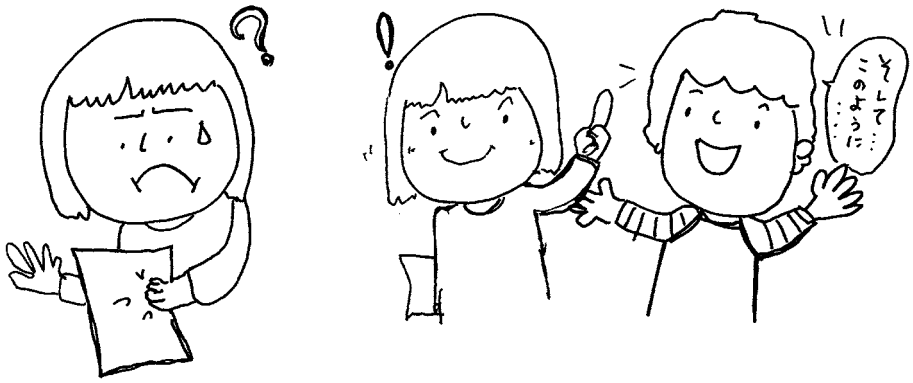
日本に来て、上の子は小学校１年生に入学しました。学校から返されたプリントを見ると、赤ペンでたくさん〇がつけてあります。「えっ、全部間違っているの？」って、びっくりしました。

中国では、答えが合っているときはチェック印をして、間違っているときは×印をします。文字を書き間違ったときは、〇印をつけて横に書き直します。

〇が「正しい」というのは、最初、違和感がありました。今はもう慣れましたけど（笑）。

【30】書いたものを渡しても、ひと声かける

会話が上手でも、書かれたものが読めない外国人は多いです。口頭でも伝えましょう。



Ⅶ 相手の話を聞くときに気をつけること

【31】相手にきちんと向き合って聞く

外国人に限らず、相手が誰であっても、相手の方を向いて聞くことが大切です。文化によって、相手の顔をじっと見るのが良い、あるいは目上の人と話すときは目を伏せるのが礼儀であるというような違いはありますが、話し手のほうを向いて一生懸命聞くのは世界共通です。

【32】あいづちは相手の反応を見て、控えめにする

ほとんどあいづちを打たない習慣の国もあるようです。相手の目を見て、話のつなぎ目に軽くうなずくことでも、聞いているというメッセージは伝わります。話が続かなくなったときには、「それで、どうしたんですか？」など、相手の話の流れに沿った質問をすると、相手は話しやすくなります。

日本語教室ボランティアの話　あいづち

日本語教室で担当したある人は、ほとんどあいづちを打つことがありません。こちらの話が終わるまで、じっと顔を見ながら聞いておられます。にぎやかにあいづちを打ったり、突っ込んだり突っ込まれたりしながら話すのに慣れている大阪人の私としては、ちょっと話しづらい感じですが、これもお国の文化なのでしょうね。

電話で話しているときもまったくあいづちがないので、聞いてくれているのか不安になることがあります。

パキスタンのお母さんの話　あいづちはうるさい

日本の人は、相手が話しているときに、自分も話します。まだ話が終わっていないのに「そうそう」とか「それで？」とか。そのことを今から話そうとしているのに、そんなふうに言われると、何か急かされているような気がします。ちょっと、うるさいです。

【33】相手の話を繰り返す

相手が伝えようとしていることを集中して聞き、話の切れ目に「～だったんですね」と相手の話を要約してポイントを繰り返すと、聞いている人がどこまで理解しているかわかって、話している人は話しやすくなります。

【34】相手がうまく言葉を見つけられないときは、推測して代わりに言ってみる

自分の母語でない言葉で、言いたいことを伝えるのはなかなかたいへんです。外国人が日本語の単語や表現が思い浮かばなくて、途中でつまってしまうことがあります。
そういうときはしばらく待ってみて、それでも出てこないようなら、前の話の流れから推測して「～ということですか」と代わりに言ってみましょう。

〈例〉
〈外国人〉「私初めて、入る、どこ……ない」
〈日本人〉「初めてだから、どこから入るかわからなかったんですか？」
〈外国人〉「そうそう、そうです」

【35】相手の日本語が間違っているときは、さりげなく言い直す

相手の日本語で気になることがあったとき、「その日本語は間違っていますよ！」と間違いを指摘すると、相手は話す意欲をなくしてしまいます。聞き返したり、確認したり、さりげなく言い直すことで会話を中断せずに日本語の間違いに気づいてもらえます。

日本語教室ボランティアの話　日本語を正しくするか、コミュニケーションをするか

地域の日本語教室で、外国の人と日本語で話すボランティアをしています。相手の日本語がまちがっているとき、いちいち直すのかどうかは、なかなか悩ましい問題です。
「日本語教室」ですから、正しい日本語をおぼえてもらうことが大事なのですが、せっかくいろいろ話してくれて話が弾んでいるときに、いちいち「てにをは」や言い間違いを直すと、面白くなくなって話さなくなってしまいます。日本語を正しくしようとするとコミュニケーションにはならないし、コミュニケーションしようと思うと間違いに目をつぶることになります。
私は、少々日本語が間違っていてもコミュニケーションするほうが大事だと思うので、何度も出てくる言葉や、重要な言葉だけを直すようにしています。話をしながら少しずつ正しい日本語をおぼえてもらったらいいと思っています。

3.　お知らせ文書の例

では、実際の文章を見直してみましょう。どこを、どう変えたらよりわかりやすくなるのでしょうか。これで正解というものはありません。よりいっそうわかりやすい文書を考えてみてください。なお、「ポイント」の【　】の数字は、35 のルールのどれにあたるかを示しています。

例１　遠足のお知らせ

＜元の文書＞

＊＊＊遠足のお知らせ＊＊＊

憧れだったゆりぐみになって、２か月が経ちました。子どもたちは遊びも当番活動も意欲的に取り組んでいます[A]。

今回は大阪城公園に遠足に行きたいと思います[B]。持ち物やお弁当などご協力お願いします[C]。

日　時：５月２４日（火）　雨天　２６日（木）[D]
集　合：９時（遅れないように登園[E]してください）
行き先：大阪城公園

※持ち物につきましては、別紙（p48）を参照[F]してください。
なお、別紙につきましては[G]、一年間必要になります[H]ので、必ず家庭で保管いただきますようお願いします[I]。
※今後の遠足につきましては、日時、集合時間などのみ[J]クラスの前に掲示させていただきます[K]。掲示物は必ず目を通しておいて[L]ください。

ポイント

【】の数字はルール番号
A【１】ズバリ本題にはいる
B【13】文末は簡潔にする
C【５】あいまいにしない
D【４】常識前提の表現は避ける
E【15】熟語は避ける
F【15】熟語は避ける
G【８】文を短くする
H【８】文を短くする
I【７】敬語は使わない
J【14】やさしい言葉にする
K【７】敬語は使わない
L【14】やさしい言葉にする

＜書き換え例＞

＊＊＊遠足のお知らせ＊＊＊

遠足があります。

行く日：5月24日（火曜日） A

24日が雨のときは、遠足に行きません。いつもと同じように保育します。
でも、給食はありません。お弁当をもって来てください。
24日が雨のとき、遠足は26日（木曜日）になります。 B

集　合：朝9時に保育園に来てください。遅れないように来てください。

行き先（行くところ） C **：大阪城公園**

＊持ち物は別紙（もう1枚の紙）を見てください。別紙は1年間、使いますので、なくさないでください。

＊これからの遠足のときは、日時（いつ）、行き先（行くところ）だけをクラスの前の掲示板（いろいろなお知らせを貼るところ）に貼ります。よく見てください。

ポイント

【】の数字はルール番号
A【20】曜日の書き方に注意する
B【6】補足説明をする
C【19】よく使われる言葉はそのまま使って、後に説明を入れる

例２　遠足の持ち物・服装のお知らせ

＜元の文書＞

☆ばら・さくら・ゆり組　遠足についてのお知らせ☆[A]

※この用紙は今年度の遠足について共通するものですので１年間大切に保存してください。

持ち物　…下記の持ち物はすべて[B]リュックサックの中に入れて持ってきてください。
- 弁当
- 水筒（中身が漏れないか確認してください。ペットボトルは不可[C]。水筒は肩にはかけません[D]）
- フォーク（3・4歳児）…お箸になる時は各クラスのボードでお知らせします[E]。
- お箸（5歳児）
- 濡れおしぼり（容器に入れてください。ウエットティッシュ[F]不可）
- 敷物（一人用）
- レインコート（雨が疑わしい時のみ[G]入れてください）
- 着替え１セット（下着・上下服[H]を名前を書いたスーパー袋[I]にいれてください）
- ハンカチ・ティッシュ　※４・５歳児のみです。

※３歳児は着替えセット・ハンカチ、ティッシュは必要ありません。
※当日出席ノートはいりません。当日のシールは後日貼ります。

服　装
- 季節、体調に応じた服[J]
- 靴下[K]（長い距離を歩くこともありますので季節に関係なく[L]遠足当日は必ず靴下を履いて[M]きてください。）
- 履きなれた靴[N]（新しい靴ではなく日ごろ履き慣れた靴で来てください）
- クラス帽子
- 名札（登園時に名前が内側になるよう左肩に保護者が付けてあげてください[O]。名札はクラスで保管[P]しています。）

☆持ち物には小さいものでも必ず名前を書いておいて[Q]ください。

＊お弁当についての注意事項＊

お弁当は
- ◎必ず当日[R]の朝に調理[S]してください。
- ◎必ず火を通したもの[T]を入れてください。
- ◎汁気[U]の多いものは避けましょう[V]。
- ◎食べきれる量[W]を入れてあげて[X]ください。
- ◎果物はいりません[Y]。
- ◎炊き込みご飯や焼き飯はやめてください。
- ◎おにぎりはラップを使ってにぎり、ラップを外してお弁当箱に入れてください。
- ◎ノリを巻いたり、のせたりしないでください。

ポイント

【】の数字はルール番号
A【２】情報を整理する
B【14】やさしい言葉を使う
C【15】熟語は避ける
D【６】事情を説明する
E【２】最低限の情報に絞る
F【17】カタカナ語は避ける
G【14】やさしい言葉を使う
H【15】熟語は避ける
I【10】修飾語は短くする
J【４】常識前提の表現は避ける
K【28】ひらがなで書く
L【８】文の構造を簡単にする
M【28】ひらがなで書く
N【14】やさしい言葉を使う
O【10】修飾語を短くする
P【15】熟語は避ける
Q【11】単純な形の動詞を使う
R【15】熟語は避ける
S【15】熟語は避ける
T【14】やさしい言葉を使う
U【14】やさしい言葉を使う
V【15】文末をわかりやすくする
W【14】やさしい言葉を使う
X【11】単純な形の動詞を使う
Y【６】事情を説明する

＜書き換え例＞

☆遠足の日に準備するもの☆[A]

持ち物（もちもの）	お弁当	腐ると、たいへんです。 ・遠足の日の朝、作ってください。前の日に作らないでください。 ・食べ物の中まで、火を通して（熱くして）ください。生のもの（熱が入っていないもの）は、だめです。 ・汁気が多い（水がたくさんある）ものは、入れないでください。 ・子どもが、ぜんぶ食べられる量を入れてください。 ・くだものは入れないでください。保育園のおやつがあります。 ・たきこみごはんや、やきめしはやめてください。 ・おにぎりはラップを使ってにぎり、ラップをはずしてお弁当箱に入れてください。 ・ノリをまいたり、のせたりしないでください。	
	水筒	水が外に出ないか、よくしらべてください。リュックサックにいれます。ペットボトルはだめです。	
	フォーク おはし	ばら組、さくら組の人は、フォークを持ってきます。 ゆり組の人は、おはしを持ってきます。	
	ぬれおしぼり	小さいタオルをぬらして、しぼって、いれものに入れてください。 紙のおしぼりはだめです。	
	しきもの	一人用のシート。お弁当を食べるとき、その上にすわります。[B]	
	レインコート	雨がふりそうな日は持ってきてください。	
	着替えセット	上の服、下の服と下着をスーパーの袋に入れます。スーパーの袋に名前を書いてください。	ばら組の人は、いりません。
	ハンカチ ティッシュ	さくら組、ゆり組の人は持ってきます。	ばら組の人は、いりません。
服装（ふくそう）	服	暑さ寒さを考えて、服をえらんでください。	
	くつ	いつもはいている、歩きやすいくつをはきます。新しいくつはだめです。	
	くつした	かならず、はいてください。	
	クラス帽子	かぶります。	
	名札	名札はクラスにあります。保育園に来てから、 名前が内側になるよう、左の肩につけてください。	

＊名前…ぜんぶの持ち物にかならず名前を書いてください。小さいものでも、ひとつひとつ、名前を書いてください。
＊出席ノート…遠足の日は、いりません。後でシールをはります。

ポイント

【】の数字はルール番号
A【2】情報を整理する
【8】箇条書きや表にする
B【6】事情を説明する
C【6】事情を説明する

例３　台風接近時のお知らせ

＜元の文書＞

◎台風４号接近にともなう[A]お知らせ

明日、明後日[B]にかけて[C]台風４号が近畿地方に接近[D]する可能性があります[E]。
以下のことにご注意ください[F]。

１．子どもさんが登園[G]した後、大阪市に暴風警報[H]が発令[I]された場合は、お迎えをお願いします[J]。

２．午前７時現在[K]、大阪市に暴風警報が発令している場合は自宅待機[L]になります。 解除されて１時間後から保育を開始[M]します。尚[N]、１０：００[O]までに解除されない場合、給食はできませんのでお弁当の用意をお願いします[P]。
　１４：００までに解除にならない場合は休園[Q]になります。

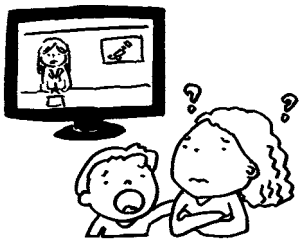
ペルーのお母さんの話

テレビを見てもわかりません

日本に来たばかりの頃は、台風のときに保育園や学校が休みになることを知りませんでした。保育園に行ったら、先生が「今日はお休みです」と言いました。上の子は小学校に行ったら、すぐ帰ってきて、「ママ、先生が今日は休みって言った」「え、どうして？」何があったのか、わかりません。

あとになって、日本の保育園や学校は「警報」が出たら休みになるとわかりました。でも、「警報」が出ているかどうかわかりません。先生は「テレビを見てください」と言ったけど、テレビを見ても、いろんな事を言っていて、休みかどうかはわかりません。

最近は、台風かなあ？　休みかなあ？　と思ったら、保育園に電話して聞きます。それと、上の子のお友達が、「今日は台風だから、学校は休みですよ」と朝早く電話をくれます。小学校が休みのときは、保育園も休みです。お友達のおかげで、とても助かっています。



ポイント

【 】の数字はルール番号
A【14】やさしい言葉を使う
B【28】ひらがなで書く
C【14】やさしい言葉を使う
D【15】熟語は避ける
E【14】やさしい言葉を使う
F【２】情報を整理し、
　【３】順番を考える
G【15】熟語は避ける
H【６】背景知識を説明する
I【15】熟語は避ける
J【10】修飾語を短くする
K【14】やさしい言葉を使う
L【15】熟語は避ける
M【15】熟語は避ける
N【28】ひらかなで書く
O【20】時間の表記に注意する
P【６】背景知識を説明する
Q【15】熟語は避ける

＜書き換え例＞

◎台風が近づいてきたとき

明日からあさって（２日後）に、台風４号が近畿地方に近づきます。
次のことに注意してください[AB]。

1）午前７時に、大阪市に暴風警報が出ていた場合は、保育園に来ないで、家にいてください。
2）警報がなくなったときは、１時間たった後に保育が始まります。
3）午前１０時をすぎてから警報がなくなった時は、保育はありますが、給食ができません。お弁当を持ってくるか、家で昼ご飯を食べてから来てください。
4）午後２時までに警報がなくならない場合、その日は保育園は休みです。
5）保育園が始まってから警報が出た場合は、そのときから、保育園が休みになります。できるだけ早く子どもを迎えに来てください。
6）わからないことがあれば電話してください[C]。
（ＴＥＬ　０６－＊＊＊＊－＊＊＊＊）

●台風が近づいてきた時は、テレビやラジオの「天気予報」や「台風情報（台風についてのお知らせ）」に注意してください。

台風に関係する警報・注意報の主なものには次のようなものがあります。

「暴風警報」「大雨警報」「洪水警報」「高潮警報」
「強風注意報」「大雨注意報」「洪水注意報」「高潮注意報」

このうち保育園が休みになるのは**「暴風警報」**だけです。
注意してください[D]。

ポイント

【】の数字はルール番号
A【８】情報が多い場合、箇条書きにする
B【３】時間の順にする
C わからないときに尋ねられるようにする
D【６】背景知識を説明する

例４　１歳６か月児健康診査のお知らせ

＜元の文書＞

１歳６か月児健康診査のお知らせ

お子さんはお元気ですか。１歳６か月児はますます動きも活発になって、心身ともに目ざましい成長をしている大切な時期です。保護者の皆様方も、毎日の育児は、楽しいながらもお忙しいことでしょう[A]。

この健康診査は、お子さんの健康や発達の状態を正しく知り、これからの育児を考えるよい機会です。あわせて、健康や育児に関する相談と歯へのフッ素塗布も行っていますので、ぜひご利用ください。お手数ですがお子さんの様子などを同封の質問票に記入のうえ、次の日時にお越しください[B]。

記

1. 受　付　日　時[C]：４月 12 日（水）　13：30 ～ 16：30

2. 実　施　場　所：保健福祉センター（車での来所[D]はご遠慮ください[E]。）

3. 実　施　内　容：（1）診　察　　（2）身体計測
（3）歯科健診　（4）歯へのフッ素塗布（希望者）
（5）育児・栄養相談など

4. 持参するもの：（1）母子健康手帳　（2）健康保険証
（3）１歳６か月児健康診査質問票（記入して）
（4）歯ブラシ（ふだん使っているもの）

★　健康診査にこられない方は、質問票を郵送するか届けてください。
★　健康診査にこられるお子さんや保護者の方の体調がすぐれない[F]等の場合は、次回健康診査をご案内しますので、下記へお問い合わせ願います[G]。
★　会場が混雑しますので、貴重品などの保管には、各自[H]十分ご注意ください。
★　麻しん（はしか）・風しんの予防接種がまだお済みでない方は、予防接種手帳をよく読み、体調のよいときを選んでできるだけ早く接種しましょう[I]。
★　希望者に無料でフッ素塗布を行っています。フッ素塗布は歯の表面を強くし、むし歯にかかりにくくする効果があります。一方で、高濃度のフッ素は長期間摂取すると、骨や歯等に副作用があるともいわれていますが適切に使用すれば安全で効果の高いむし歯予防であり、世界保健機関（WHO）や日本歯科医学会もフッ素の活用をすすめています。当日、フッ素塗布を希望される方は、よく歯をみがいてきてください。（ただし、希望されても、治療が必要なお子さんなどで、場合によってはフッ素塗布が受けられないこともありますのであらかじめご了承ください。）
また、フッ素塗布は安全で、むし歯予防に効果がありますが、それだけでは完全ではありません。歯磨きなどの生活習慣を正しく身につけ、年に数回はかかりつけの歯科医で、フッ素塗布（有料）を受けましょう[J]。

ポイント

【 】の数字はルール番号
A【１】ズバリ本題にはいる
B【７】敬語は使わない
C【４】常識前提の表現は避ける
D【15】熟語は避ける
E【13】文末をわかりやすくする
F【14】やさしい言葉を使う
G　検査にいけないときの指示をはっきりさせる
H【15】熟語は避ける
I【８】一文を短くする
【10】修飾語を短くする
J【３】順序を考える

＜書き換え例＞

１歳６か月児健康診査のお知らせ

子どもさんはお元気ですか？　１歳６か月の子どもが健康かどうか調べます。
かならず来てください[A]。

記

１．日時：４月12日（水曜日）午後１時30分から４時30分　この間に来てください。
２．場所：保健福祉センター
（駐車する場所がせまいです。車で来ないでください。）
３．内容：（１）診察
（２）身体計測　…身長・体重などを測ります
（３）歯科検診　…歯の検査（歯をよくみがいてきてください）
（４）歯にフッ素を塗る　…塗ってほしい人だけ、します。（したくない人はしなくてもいいです。）
＊フッ素を歯に塗ると、歯の表面が強くなって虫歯になるのを防ぎます。
でも、もちろん、歯磨きはちゃんとしなくてはいけません。
濃いフッ素を何回も塗るのはよくないという人もいます。しかし、じょうずに使えば安全です。世界保健機構（ＷＨＯ）や日本歯科医師会もフッ素を塗ることをすすめています[B]。

（５）育児・栄養相談など　…子どもの身体のこと、食事のこと、発達のことなど、子育てで不安なことがあれば、何でも相談してください。
４．持ってくる物
（会場にはたくさんの人がいます。大切なものは、かならず自分で持っていてください。）
（１）母子健康手帳
（２）健康保険証
（３）１歳６か月児健康診査質問票　…この手紙といっしょの封筒に入っています。家で書いて、検診の日に持ってきてください。
（４）歯ブラシ…子どもがいつも使っている歯ブラシを持ってきてください。

★上に書いてある日時に来ることができない人は、保健福祉センターに連絡してください。別の日をお知らせします。
★子どもさんは、麻疹（はしか）・風疹の予防接種はしましたか？まだしていない場合は、体の調子が良い時に、できるだけ早くしましょう。予防接種手帳をよく読んでください。

ポイント

【】の数字はルール番号
A【５】あいまいにしない
B【３】一つの事柄はなるべくまとめて書く

OK!!

第4章

練習問題

言い換えのコツはつかんでいただけたでしょうか？

では、実際にやってみましょう。

できれば、まわりの人といっしょにチャレンジしてみてください。それぞれの言い換えを比べ、話し合うことで、いろいろな気づきが生まれることでしょう。

練習問題1　漢字を使った表現

次の言葉をより伝わりやすい表現にしてください。

1	駐輪場	⇒
2	立ち入り禁止	⇒
3	登園／登所	⇒
4	記入	⇒
5	勤務先	⇒
6	転職	⇒
7	不在	⇒
8	押印	⇒
9	未就園児	⇒
10	発熱	⇒
11	検温	⇒
12	受診	⇒
13	既往症	⇒
14	誤飲	⇒
15	離乳食	⇒
16	開催	⇒
17	配布	⇒
18	保管	⇒
19	後始末	⇒
20	別紙参照	⇒

練習問題2　ていねいな表現

次の言葉をより伝わりやすい表現にしてください。

1	お宅	⇒
2	おっしゃる	⇒
3	お見えになる	⇒
4	お差し支えなければ	⇒
5	なさいますか?	⇒
6	お越しください	⇒
7	どなたでも	⇒
8	ご持参ください	⇒
9	～をごらんいただきましたか?	⇒
10	申し込みがお済みでない方	⇒
11	～をさせていただきます	⇒
12	急に熱があがったら、お迎えをおねがいすることがあります	⇒
13	ご理解ください	⇒
14	明日お家(うち)にいらっしゃいますか?	⇒
15	こんどいついらっしゃいますか?	⇒
16	一度お目にかかりたいと考えております	⇒
17	後ほどお電話を差し上げます	⇒
18	～していただけませんか	⇒
19	こちらでお待ちになってください	⇒
20	ご意見を伺いたい	⇒

練習問題3　カタカナを使った表現

次の言葉をより伝わりやすい表現にしてください。

1	トイレットトレーニング	⇒
2	スケジュール	⇒
3	トラブル	⇒
4	（育児の）ポイント	⇒
5	ケース	⇒
6	チェック（する）	⇒
7	タイミング	⇒
8	シャットアウト（する）	⇒
9	スムーズ（に）	⇒
10	ルール	⇒
11	ケロイド	⇒
12	スピーディー	⇒
13	スキル	⇒
14	メモ（する）	⇒
15	パニック	⇒
16	ホットライン	⇒
17	ジャンプ	⇒
18	（病気の）サイン	⇒
19	マタニティ	⇒
20	キーワード	⇒

練習問題4　大阪弁を使った表現

次の言葉をより伝わりやすい表現にしてください。

1	どっから来はったん？	⇒
2	ほかす	⇒
3	なおす	⇒
4	ほんま	⇒
5	はよして	⇒
6	どうしたん／どうしはったん？	⇒
7	できへん／でけへん／できひん	⇒
8	いっぺん	⇒
9	ちゃう	⇒
10	ほんで	⇒
11	しゃーない	⇒
12	そやかて／そやけど	⇒
13	あかん	⇒
14	やっぱし	⇒
15	そうなん？	⇒
16	食べられへん	⇒
17	こける	⇒
18	～してもええ	⇒
19	なんべんも	⇒
20	なんで？	⇒

練習問題5　伝わりにくい文章表現

次の言葉をより伝わりやすい表現にしてください。

1	印鑑をお忘れなく。	⇒
2	写真撮影はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。	⇒
3	私語は慎んでください。	⇒
4	配布物には必ず目を通しておいてください。	⇒
5	公共交通機関をご利用の上ご来場くださいますよう、ご協力をお願いいたします。	⇒
6	指定医療機関以外での受診をご希望の方は、あらかじめご相談ください。	⇒
7	なるべく休息を取るようにしてください。	⇒
8	園則に基づいて処理させていただく場合があります。	⇒
9	園の責任に帰すべき傷害等の事故について。	⇒
10	指導して参りたいと考えております。	⇒
11	次の点にご留意ください。	⇒
12	実施を見合わせます。	⇒
13	すみやかに医師の診断を受けてください。	⇒
14	体調の変化に気を配り、激しい運動は避けましょう。	⇒
15	明日は３時から懇談ですけど、仕事大丈夫ですか。	⇒
16	日本は長いですか。	⇒
17	今日はなんで来ましたか。	⇒
18	お国ではどう言いますか。	⇒
19	満員になり次第締め切ります。	⇒
20	生野菜や冷凍食品の使用を見合わせております。	⇒

練習問題　書き換え例

この書き換え例はあくまで一例であって、さらに良い表現をみなさんで考えていただければうれしいです。

練習問題１「漢字を使った表現」（p56）

1　自転車を止める所
2　入ってはいけません
3　幼稚園・保育園／保育所に　行く（来る）
4　書く
5　働いている所（会社）
6　仕事を変わる
7　いない
8　判（印鑑）を押す
9　幼稚園・保育園（所）等に行っていない子ども
10 高い熱が出る
11 体温を測る
12 病院に行く
13 これまでになったことのある病気
14 食べてはいけない物を食べる
15 あかちゃん用の食べ物
16（行事などを）する
17 みんなにわたす
18 大切にしまっておく
19 終わった後の片付け
20 いっしょについている紙を見る

練習問題２「ていねいな表現」（p57）

1　あなたの家
2　言う
3　来る
4　よかったら
5　しますか？
6　来てください
7　誰でも
8　持ってきてください
9　～を見ましたか？
10 まだ申し込んでいない人
11 ～をします
12 熱が高くなったら、連絡します。早く、迎えに来てください。
13 わかってください
14 明日家にいますか？
15 次はいつ来ますか？
16 一度会いたいです
17 あとで電話します
18 ～してください
19 ここで待ってください
20 あなたの意見が聞きたいです

練習問題３「カタカナを使った表現」（p58）

1　トイレでうんこやおしっこをする練習
2　予定
3　困っていること
4　大切なこと
5　場合／例
6　調べる
7　ちょうどいいとき
8　入ってくるのを止める
9　問題なく
10 決まり／規則
11 やけどやけがの痕（あと）
12 はやく
13 技術／能力
14 書いておく
15 混乱している
16 困ったときにすぐにつながる電話
17 跳びはねる
18（病気の）はじまり
19 妊娠している（人）
20 大切なことば

練習問題４「大阪弁を使った表現」（p59）

1　どこから来ましたか？
2　すてる
3　しまっておく／もとにもどす
4　ほんとう
5　早くして
6　どうしましたか？
7　できない
8　一度
9　ちがう
10 それで
11 しかたがない
12 だけど／けれど
13 だめ
14 やはり
15 そうですか？
16 食べられない
17 ころぶ／たおれる
18 ～してもよい
19 なんども
20 なぜ？

練習問題５「伝わりにくい文章表現」（p60）

1　印鑑（判）を必ず持ってきてください。
2　写真は撮らないでください。
3　自由に話をしないでください。
4　渡したものは必ず見てください。
5　車で来ないでください。駐車場がありません。
6　決まった病院で診察を受けない人は、相談してください。
7　疲れたら休んでください。
8　園の規則で決めます。
9　園に責任がある事故について。
10 指導します。
11 次のことに気をつけてください。
12 しません。
13 すぐに病院に行ってください。
14 体に注意してください。はげしい運動をしないでください。
15 明日は３時から懇談会があります。仕事は休めますか。
16 日本に来て何年ですか。
17 今日は何で来ましたか。電車？バス？自転車？
18 あなたの国では何と言いますか。
19 申し込む人が（　　）人になれば、申し込みはできません。
20 生の野菜や冷凍の食べ物は使っていません。

日本語で
つたえる
コツ

参考資料

ここでは、以下の資料を載せました。

お役にたてていただければ幸いです。

1．子育て・医療に関する対訳情報リスト

2．多言語で相談できる機関のリスト

3．子育てについて日本語で相談できる機関のリスト

4．「やさしい日本語」についての参考資料

5．日本語初級者が学ぶ漢字

6．日本語初級者が学ぶ語彙

1. 子育て・医療に関する対訳情報リスト

（2013 年 9 月 30 日現在）

外国人に伝えたいことがあっても、相手の日本語力によってはなかなか伝えられないことがあります。そういう時に、対訳になっているものがあれば便利です。

◆インターネットでダウンロードできるもの

出産	がいこくじん - しえん / 日本で安心して赤ちゃんを / 日本で出産する外国人のために必要なことをまとめた日本語教材 ◎英語、中国語、ハングル	横浜市港南国際交流ラウンジ・N プロジェクト http://www.konanlounge.com/
出産・育児	「ママと赤ちゃんのサポートシリーズ」 日本で出産・育児をする外国人とその家族を対象として作成された。 ◎中国語、韓国語、タガログ語、ポルトガル語、英語、フランス語、ドイツ語、ベトナム語、タイ語	多文化医療サービス研究会（RASC） http://www.rasc.jp/
予防接種	「予防接種と子どもの健康 2013 年度版」 保護者向けに子どもが受ける予防接種について分かりやすく記述されている。 ［本文・予診票］◎英語、韓国語、中国語、ポルトガル語、フィリピン語 ［予診票］◎スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、タイ語、インドネシア語、モンゴル語、アラビア語	（公財）予防接種リサーチセンター http://www.yoboseshu-rc.com/index.php?id=8
感染症予防	「ノロウイルスについて」 ノロウイルス対策のための情報を絵・写真入りで分かりやすく記述されている。 ◎中国語、ポルトガル語、スペイン語、ビルマ語、ハングル、英語、ロシア語、ルビ付日本語	（特活）多文化共生マネージャー全国協議会 http://blog.canpan.info/tabumane/archive/119 http://blog.canpan.info/tabumane/archive/123
生活情報（医療を含む）	生活情報 日本で生活するために必要な生活情報を多言語で提供。その中に「出産・育児」「医療」がある。全国の多言語生活情報に関するリンクも参考になる。 ◎日本語、英語、中国語、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、ドイツ語、ベトナム語、フランス語、ロシア語、インドネシア語、タイ語	（財）自治体国際化協会 http://www.clair.or.jp/tagengorev/ja/index.html
	大阪府下の多言語対応医療機関が市町村別、診療科別に検索できる。 ◎英語、中国語、韓国・朝鮮語、フランス語、インドネシア語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語	大阪府医療機関情報システム http://www.mfis.pref.osaka.jp/ap/qq/sho/pwmikinosr02_001.aspx?serviceid=pwmikinosr&shorikbn=4
	外国人のためのリビングインフォメーション 市政・生活情報 ◎英語、中国語、韓国・朝鮮語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語	大阪市 http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu020/enjoy/jp
問診票	「多言語問診システムM^3」 インターネットで簡単に多言語問診票を作成し、問診の内容をプリントアウトして病院に持っていくことができる。モバイル版もある。 ◎英語、中国語、ハングル、ポルトガル語、インドネシア語、やさしい日本語。モバイル版は、スペイン語、ロシア語に対応。	（特活）多文化共生センターきょうとインタネット版 https://sites.google.com/site/tabunkam3/ モバイル版： http://www.tabunkakyoto.org/アプリ/多言語問診システムm3-mobile/

問診票	「多言語医療問診票」 外国人が病院へ行く時に病気やけがの症状を医師に説明する時に使うように、診療科別に翻訳されている。 [対応診療科] 眼科、歯科、整形外科、皮膚科、外科、耳鼻咽喉科、内科、産婦人科、小児科、脳神経外科 ◎インドネシア語、英語、カンボジア語、タイ語、タガログ語、中国語 (北京)、ハングル、ベトナム語、ペルシャ語、ポルトガル語、ラオス語、ロシア語、フランス語	（公財）かながわ国際交流財団 http://www.k-i-a.or.jp/medical/japanese/
受診時の言葉	「メディカルハンドブック（医療指さし会話帳）」 外国人が病院に行ったときの基本的な応答、症状の表現などを各国語と日本語の対照表でまとめた小冊子。病院でコミュニケーションをとるための手段として利用できる。 ◎英語、中国語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語、スペイン語、韓国語、インドネシア語、他 13 カ国語	（公財）茨城県国際交流協会 http://www.ia-ibaraki.or.jp/kokusai/soudan/medical/index.html
	「受診時の言葉」 医療を受けたり、健康を守ったりできるように説明文・書式例などがあり、特に子どもの予防接種、心の健康、特定健康診査項目に関する翻訳。 ◎英語、スペイン語、ポルトガル語、日本語、中国語 ［一部翻訳］ベトナム語、ハングル、フィリピノ語、タイ語	(特活)AMDA 国際医療情報センター http://amda-imic.com/modules/useful/index.php?content_id=1
緊急時対応	「多言語版緊急時情報シート」 日本語によるコミュニケーションが不十分な外国人の救急患者が発生した際に、患者や家族などと救急隊員の間で意思疎通を迅速にはかるための「指さし式」の対訳集。救急隊の行動を説明し、必要な情報（症状、患部、既往歴など）を把握するための「情報収集シート」と、救急現場で使う「医療用語集」から構成。 ◎にほん語、英語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、韓国朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、ロシア語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語、ネパール語、アラビア語、ペルシャ語、ルーマニア語、ブルガリア語、ラオス語、ハンガリー語、ドイツ語、フランス語	多文化共生センターひょうご http://www.tabunka.jp/hyogo/119/
小中学校で使う保健関係書類	結核の説明、結核健康診断のお知らせ、小学校 1 年生～中学生用の問診票 ◎日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、韓国語、中国語	川崎市総合教育センター http://www.keins.city.kawasaki.jp/1/KE1026/h25/kikoku_gaikoku/kikokugaikoku.html
	学校の保健関係書類の対訳。 アレルギー、各科医療機関、インフルエンザ、寄生虫検査、ぎょう虫検査、ノロウィルスなどについて病気の説明、問診票、検査結果が翻訳されている。 ◎ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語（書類によってないものもある。）	豊橋市教育委員会 http://www.gaikoku.toyohashi.ed.jp/
病院薬局用	病院、薬局の場面で使う外国語会話・単語集 ◎英語、韓国語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、ロシア語	田辺三菱製薬（株） http://di.mt-pharma.co.jp/foreign/
	薬局店頭における外国人対応マニュアル ◎英語、韓国・朝鮮語、中国語（簡体字、繁体字）	大阪府健康医療部薬務課医療品流通グループ http://www.pref.osaka.jp/yakumu/f_manual/

◆冊子		
母子保健	『在日外国人向け母子保健ガイド』 ◎英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語	(特活)AMDA国際医療情報センター http://amda-imic.com/modules/activity/index.php?content_id=5
母子手帳	各国語・日本語『母子健康手帳』 ◎英語、ハングル、中国語、タイ語、タガログ語、ポルトガル語、インドネシア語、スペイン語	(公財) 母子衛生研究会 http://www.mcfh.or.jp/
保育	『8カ国の保育日常会話集』1993年発行 ◎日本語、英語、ハングル、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、タガログ語(フィリピン)	神戸アジア保育交流会 〒655-0004　神戸市垂水区学が丘4－9－10　学が丘保育園内 TEL (078) 781－0303 FAX (078) 781－0267
医療	『16ヶ国語対応診察補助表』、『9ヶ国語対応服薬指導の本』、『7ヶ国語対応外国人患者のための入院ガイド』など	(特活)AMDA国際医療情報センター http://amda-imic.com/modules/books/index.php?content_id=1

＊言語の表記は、各機関の表現を使用しています。

2. 多言語で相談できる機関のリスト

(2013年9月30日現在)

外国人から母語で相談できるところを紹介してほしいと求められた時、あるいは外国人特有の事柄について相談された時に役立つかもしれないので、子育てや医療以外のことも載せています。

子育て相談	子育てに関する様々な相談 ◎英語、中国語、韓国・朝鮮語 月曜日　10時から17時(年末年始は休み) ＊トリオフォン(3者通訳電話)による相談。相談者・子育ていろいろ相談センター・通訳の3者が同時に電話で話すことにより、早く、正確な情報提供や助言を行います。	大阪市立子育ていろいろ相談センター TEL (06) 6354－4152 大阪市北区天神橋筋6－4－20 (地下鉄・阪急「天神橋筋六丁目」駅)
医療相談	医療情報、外国語で対応可能な病院の情報提供、電話通訳 ◎英語、スペイン語　月～金曜日　9時から17時 ◎中国語　要事前確認、ウェブサイト参照 ◎ポルトガル語　要事前確認、ウェブサイト参照	(特活) AMDA国際医療情報センター TEL (06) 4395－0555
	HIV検査、診療に伴う相談・通訳派遣・支援・情報提供 電話相談 ◎英語、スペイン語、ポルトガル語　火曜日　16時から20時 ◎タイ語　水曜日　16時から20時 ◎英語、フィリピン語　木曜日　16時から20時	CHARM TEL (06) 6354－5901 7言語ウェブ http://www.charmjapan.com
女性のための相談	女性のための相談窓口 ◎英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、フィリピノ語、タイ語、ベトナム語 月～金曜日　9時から17時30分(祝日、年末年始を除く) ＊大阪府外国人情報コーナートリオフォン(3者通訳電話)による相談。	大阪府女性相談センター 大阪市中央区大手前1－3－49 ドーンセンター内3階 TEL (06) 6949－6181(外国人専用電話)

法律相談	法律相談 生活上の問題で、日本国内法の知識を要する相談。 英語、中国語、韓国・朝鮮語で対応 ※（06）6772－1127に電話予約（毎日9時～17時30分） ◎毎月第1水曜日　13時から16時　大阪国際交流センター ◎偶数月第3水曜日17時から20時　大阪国際交流センター ◎奇数月第3水曜日13時から16時　大阪国際交流センター ＊祝日の場合は翌日 ＊年末年始は休み	（公財）大阪国際交流センター TEL（06）6773－8989 大阪市天王寺区上本町8－2－6 （地下鉄「谷町九丁目」駅、近鉄「大阪上本町」駅）
人権相談	大阪法務局の外国人のための人権相談所 人権に関するあらゆる相談 ◎英語／第1・3水曜日　13時から16時 ◎中国語／水曜日　13時から16時 ◎日本語　月～金曜日　8時30分から17時15分 ＊祝日、年末年始は休み	大阪法務局人権擁護部 TEL（06）6942－9496 大阪市中央区谷町2－1－17 大阪第2法務合同庁舎　（地下鉄「天満橋」駅）
	外国人の人権に関する無料電話相談 ◎英語、中国語、韓国・朝鮮語の人権相談 ◎第2・4金曜日　12時から17時（祝日・年末年始休み）	大阪弁護士会 TEL（06）6364－6251 大阪市北区西天満1－12－5
	外国人の人権に関する相談 ◎スペイン語　月曜日　14時から17時、 火曜日　14時から20時 ◎中国語　水曜日　14時から17時 ◎ベトナム語　木曜日　14時から17時 ◎タイ語　金曜日　14時から17時	RINK （すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク） TEL（06）6910－7103 FAX 06－6942－0278 Email：rink@a.email.ne.jp http://www.ne.jp/asahi/rink/rink/index.html
生活相談	多言語による「外国人のための相談窓口」 ◎英語、中国語、韓国・朝鮮語／毎日　9時から17時30分 ＊年末年始は休み	（公財）大阪国際交流センター内 インフォメーション・プラザ・オオサカ TEL（06）6773－8989 大阪市天王寺区上本町8－2－6 （地下鉄「谷町九丁目」駅、近鉄「大阪上本町」駅）
	大阪府外国人情報コーナー 多言語での情報提供・相談 ◎英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語 ・月～金曜日　9時から17時30分　（祝日、年末年始休み）	（公財）大阪府国際交流財団内 大阪府外国人情報コーナー TEL（06）6941－2297 大阪市中央区本町橋2－5 マイドームおおさか5階
	日系人相談センター ◎スペイン語、ポルトガル語、日本語 ・月～金曜日　14時から17時30分 （祝日・年末年始休み）	（公財）海外日系人協会日系人相談センター TEL 045－211－1788 神奈川県横浜市中区新港2－3－1 JICA横浜内
悩み相談	東京英語いのちの電話（Tokyo English Life Line） ◎英語 ・毎日9時から23時 ＊無料電話相談	（特活）東京英語いのちの電話（TELL） http://www.telljp.com/ TEL 03－5774－0992
	中国語による心の相談電話 ◎中国語　月・水・金10時から17時（祝日休み）	中国語による心の相談電話 TEL（06）6903－9595

市政・区政相談	大阪市の市政・区政に対する問合せ・要望 ◎英語、中国語、韓国・朝鮮語／月～金曜日 ・9時から17時30分（土・日曜日・祝日・年末年始は休み） ＊トリオフォン（3者通訳電話）による相談。	大阪市役所「市政相談」 TEL（06）6208－5080 大阪市北区中之島1－3－20　市役所1階 （地下鉄・京阪「淀屋橋」駅、京阪「大江橋」駅）
		各区役所「区政相談」 ＊各区役所の「区政相談」業務担当にお問い合わせください。
入国・在留手続き相談	入国手続や在留手続等についての情報提供 ◎英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語 月～金曜日　8時30分から17時15分（祝日、年末年始を除く）	外国人在留総合インフォメーションセンター 全国共通電話 0570－013904 Mail：info-tokyo@immi-moj.go.jp 大阪市住之江区南港北1－29－53 大阪入国管理局2階 （地下鉄「コスモスクエア」駅）
労働相談	賃金の不払いなど労働条件についての相談 日本国内で就労する外国人労働者にも労働基準関係法令が適用される。 ◎英語／月・水曜日　9時から12時、13時から17時 ◎ポルトガル語／水・木曜日 9時から12時、13時から17時 ◎中国語／水曜日　9時から12時、13時から17時	大阪労働局 外国人労働者相談コーナー TEL（06）6949－6490 FAX（06）6949－6034 大阪市中央区大手前4－1－67 大阪合同庁舎 第2号館9階　大阪労働局内 （地下鉄「谷町四丁目」駅）
	労働についての相談 ◎英語、中国語　（事前に日本語での予約が必要） 月～金曜日　9時から17時45分	大阪府総合労働事務所 大阪市中央区石町2－5－3エルおおさか南館3F TEL（06）6946－2608
	外国人労働者に対する情報の提供 留学生および日本在住の外国人労働者に対する職業相談、職業紹介、求人情報の提供など 〈開館〉10時から18時（土・日曜日・祝日・年末年始を除く） 〈通訳の利用日時〉※都合により、変更になる場合があります ◎英語、中国語、ポルトガル語 　月～金曜日　13時から18時 ◎スペイン語 　火・木曜日　13時から18時 〈在留資格に関するアドバイザーの利用日時〉 　月～金曜日　14時から18時	大阪外国人雇用サービス TEL（06）7709－9465 FAX（06）7709－9468 Mail：gaikoku@osaka-rodo.go.jp 大阪市北区角田町8－27　阪急グランドビル16階 （地下鉄・阪急・阪神「梅田」、JR「大阪」駅）

＊言語の表記は、各機関の表現を使用しています。

3. 子育てについて日本語で相談できる機関のリスト

（2013年9月30日現在）

子育て全般について相談できるところと、子どもの虐待について相談・通報できるところをまとめました。なお、掲載情報は大阪市内を中心としたものです。

子育て全般	母子の健康や子どもの発達、子育て等について相談できるところ	大阪市各区役所　保健福祉課
	0～18歳までの子どもに関するさまざまな相談。必要に応じて情報提供や専門機関への紹介を行う。また、児童虐待に関する相談や情報の提供も受け付けている	大阪市各区役所　子育て支援室

子育て全般	0～18歳までの子育てに関するさまざまな相談（育児・発育・しつけ・病気・家庭内の問題・学校生活など）。 電話相談、面接相談（一般相談・専門相談；要予約）	大阪市立子育ていろいろ相談センター TEL（06）6354－4152 大阪市北区天神橋筋6－4－20 （地下鉄・阪急「天神橋筋六丁目」駅）
	養育困難、虐待、非行、障がい、親子関係、不登校など、18歳未満の子どもの福祉と教育に関する相談を受け、それぞれに適した援助（情報提供や助言指導、施設入所など）を実施。来所相談は要予約。	大阪市こども相談センター TEL（06）4301－3100 大阪市中央区森ノ宮中央1－17－5 （地下鉄・JR大阪環状線「森ノ宮」駅）
	「いじめ」、虐待など子どもの人権問題に関する専用相談電話	大阪法務局　人権擁護部　子どもの人権１１０番 [ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ] 0120－007－110
	弁護士が子どもの人権に関する相談に応じます。 水曜日15時から17時、第2木曜日18時から20時	大阪弁護士会　子どもの人権１１０番 TEL（06）6364－6251
	ファミリー子育て何でもダイヤル ひとりで悩まないで。電話相談、面接相談ができます。 水曜日10時～20時	（社）子ども情報研究センター TEL（06）4394－8754
	こころの悩み電話相談 こころの健康や病に関する相談	こころの健康センター TEL（06）6923－0936
子どもの虐待	「児童虐待ホットライン」 24時間・365日	大阪市こども相談センター [ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ] 0120－01－7285
	「チャイルド・レスキュー１１０番」 24時間・365日	大阪府警察本部 [ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ] 0120－00－7524
	人権相談 月～金曜日　9時から21時 土・日曜日・祝日　9時から17時30分 ＊年末年始は休み ＊トリオフォン（3者通訳電話）による相談	大阪市人権啓発・相談センター TEL（06）6532－7830
	月～金曜日　9時から17時30分（土・日曜日・祝日・年末年始は休み）	大阪市各区役所　子育て支援室 ＊各区役所の「子育て支援室」にお問い合わせください。
	子どもの虐待ホットライン 月～金曜日　11時から17時（土・日曜日・祝日・年末年始は休み）	（特）児童虐待防止協会 TEL（06）6762－0088

4.「やさしい日本語」についての参考資料

（2013年9月30日現在）

やさしい日本語についてもっと知りたい人のために		
「やさしい日本語」の提唱・手引き	「やさしい日本語」のガイドライン 「やさしい日本語」の分かち書きルール 「やさしい日本語」支援システム「やんしす」 大雨災害に関する「やさしい日本語」クイックレファランス、熱中症に関する「やさしい日本語」クイックレファランスなどが掲載されている。	弘前大学人文学部社会言語学研究室 http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/

「やさしい日本語」の提唱・手引き	「やさしい日本語」を用いたユニバーサルコミュニケーションの社会を実現するために災害時だけではなく平時でも必要だとしている。文法、語彙の双方から「やさしい日本語」を提唱。	「やさしい日本語」研究グループ http://www13.plala.or.jp/yasashii-nihongo/
	「やさしい日本語でコミュニケーション～外国人にわかりやすく情報を伝えるには～」 日常生活や災害時に外国人住民に「やさしい日本語」で情報を伝える時のポイントを紹介したリーフレット	（公財）かながわ国際交流財団 http://www.k-i-a.or.jp/tabunka/pdf/yasashiinihongo.pdf
	「外国人にやさしい日本語表現の手引き」	埼玉県 http://www.pref.saitama.lg.jp/site/tabunkakyousei/yasasiinihongo.html
	「どないしたん？（大丈夫ですか？）～やさしい日本語で外国人と話してみよう～」	（特活）とんだばやし国際交流協会 http://www.pref.osaka.jp/kokusai/kotobanokabe/
	「やさしい日本語」の手引き～外国人に伝わる日本語～	愛知県 http://www.pref.aichi.jp/kokusai/easyjapanese/tebiki.pdf
	スマートフォン用アプリケーション「やさしい日本語」の手引き http://www.pref.aichi.jp/kokusai/easyjapanese/chirashi.pdf	愛知県 http://www.pref.aichi.jp/kokusai/easyjapanese/chirashi.pdf
「やさしい日本語」活用例	「外国籍府民向け防災ガイドブック」	（公財）京都府国際センター http://www.kpic.or.jp/njfumin/livinginfo/saigai03.html
	災害弱者となりやすい外国人のために「やさしい日本語」を使って防災活動の普及を行っている。	やさしい日本語有志の会 http://nihon5bousai.web.fc2.com/
	「わかる日本語」行政のお知らせなどの情報をリライトを使って簡易な日本語にしている。	東京日本語ボランティア・ネットワークわかる日本語研究会 http://www.tnvn.jp/
	横浜市広報 広報を「やさしい日本語」でホームページ上に掲載	横浜市 http://www.city.yokohama.lg.jp/lang/ej/
	ノロウイルスについて	やさしい日本語有志の会 http://nihon5bousai.web.fc2.com/
	NHK　NEWSWEB　EASY やさしい日本語のニュース	NHK http://www3.nhk.or.jp/news/easy/

5. 日本語初級者が学ぶ漢字

参考までに、多くの外国人に使われている日本語教科書の初級編に出てくる漢字 245 字を示します。ちなみに、日本の小学校 1 年生が習う漢字は 80 字、2 年生は 160 字です。

ア	悪　安
イ	以　医　意　一　員　院　飲
ウ	右　雨　運
エ	英　映　駅　円
オ	屋　音
カ	下　火　何　花　夏　家　歌　画　会　海　界　開　外　学　楽　間　漢　館
キ	気　起　帰　九　休　究　急　牛　去　魚　京　強　教　業　近　金　銀
ク	空
ケ	兄　計　月　犬　見　建　研　験　元　言
コ	古　五　午　後　語　口　工　広　考　行　校　高　国　黒　今
サ	左　作　三　山
シ	子　止　仕　四　死　私　使　始　姉　思　紙　試　字　自　事　持　時　七
	室　質　写　社　車　者　借　手　主　秋　終　習　週　集　十　住　重　出
	春　書　女　小　少　上　場　色　食　心　真　新　親　人
ス	図　水
セ	世　正　生　西　青　夕　赤　切　千　川　先　前
ソ	早　走　送　足　族
タ	多　体　待　貸　大　代　台　題　男
チ	地　知　茶　着　中　注　昼　町　長　鳥　朝
ツ	通
テ	弟　天　店　転　田　電
ト	土　度　冬　東　答　同　動　堂　道　特　読
ナ	南
ニ	二　肉　日　入
ネ	年
ハ	売　買　白　八　発　半　飯
ヒ	百　病　品
フ	不　父　風　服　物　分　文　聞
ヘ	別　勉
ホ	歩　母　方　北　木　本
マ	毎　妹　万
ミ	味
メ	名　明
モ	目　問
ヤ	夜　野
ユ	友　有
ヨ	用　洋　曜
ラ	来
リ	理　立　旅　料　力
ロ	六
ワ	話

6. 日本語初級者が学ぶ語彙

外国から来て日本語がまだあまりできない人は、どれぐらいの言葉を知っているものなのでしょうか。もちろん、人によって学習方法や学習期間が異なるので一概には言えませんが、一つの目安として、よく使われている日本語教科書の初級編に出てくる 1382 語を示します。表中の＊印は、比較的初期に学習する 730 語で、外国人にとって、よりやさしい語彙だと思われます。

【あ】

あ［感動詞］
ああ［感動詞］
＊ ああ［指示詞］
あいさつ・する
あいだ（間）
＊ あう（会う）
あう（合う）
＊ あお（青）
＊ あおい（青い）
＊ あか（赤）
＊ あかい（赤い）
あかちゃん
あがる（上がる）
＊ あかるい（明るい）
あかんぼう（赤ん坊）
＊ あき（秋）
＊ あく（開く）
あく（空く）
＊ あける（開ける）
あげる「物をあげる」
＊ あげる「手を上げる」
＊ あさ（朝）
＊ あさごはん（朝御飯）
＊ あさって
あさねぼう（朝寝坊）
＊ あし（足）
あじ（味）
＊ あした
あす（明日）
＊ あそこ
あそび（遊び）
＊ あそぶ（遊ぶ）
＊ あたたかい（暖かい）
＊ あたま（頭）
＊ あたらしい（新しい）
＊ あちら
＊ あつい（厚い）
＊ あつい（暑い）
＊ あつい（熱い）
＊ あっち
あつまる（集まる）
あつめる（集める）
＊ あと（後）
＊ あなた
＊ あに（兄）
＊ あね（姉）
＊ あの［感動詞］
＊ あの［指示詞］
＊ アパート
＊ あびる「水をあびる」
＊ あぶない（危ない）
＊ あまい（甘い）
＊ あまり［副詞］
＊ あめ（雨）
＊ あめ（飴）
＊ あやまる（謝る）
＊ あらう（洗う）
＊ ありがとう
＊ ある［所有］
＊ ある［存在］
あるく（歩く）
アルコール
アルバイト
＊ あれ［指示詞］
あんしん（安心）・する
あんぜん（安全）
あんな
あんない（案内）・する

【い】

＊ いい／よい
＊ いいえ
＊ いう（言う）
＊ いえ（家）
いか（以下）
いがい（以外）
＊ いかが
いがく（医学）
いきる（生きる）
＊ いく／ゆく（行く）
＊ いくつ
＊ いくら
いくら～ても
＊ いけ（池）
いけん（意見）
いし（石）
いじめる
＊ いしゃ（医者）
いじょう（以上）
＊ いす
＊ いそがしい（忙しい）
いそぐ（急ぐ）
＊ いたい（痛い）
いたす（致す）
いただきます
いただく
＊ いち（一）
いちいち
いちど（一度）
＊ いちにち（一日）
＊ いちばん
＊ いつ
＊ いつか（五日）
＊ いっしょ（一緒）
いっしょうけんめい（一生懸命）
＊ いったい
いつつ（五つ）
いってきます
いってらっしゃい
＊ いっぱい［副詞］
いつも
いと（糸）
いない（以内）
いなか（田舎）
＊ いぬ（犬）
いのる（祈る）
＊ いま（今）
＊ いみ（意味）
＊ いもうと（妹）・さん
＊ いや（嫌）
いらっしゃる
＊ いりぐち（入り口）
＊ いる（居る）
＊ いる（要る）
＊ いれる（入れる）
＊ いろ（色）
＊ いろいろ
いわ（岩）

【う】

＊ うえ（上）
うえる（植える）
うかがう「お宅に伺う」
うかがう「先生に伺う」
うけつけ（受付）
うける（受ける）
うごく（動く）
＊ うしろ（後ろ）
＊ うすい（薄い）
うそ
＊ うた（歌）
＊ うたう（歌う）
うち
＊ うち（わたしのうち）
うつ（打つ）
うつくしい（美しい）
うつす（写す）
＊ うつる（移る）
うで（腕）
うまい
＊ うまれる（生まれる）
＊ うみ（海）

うら（裏）
うりば（売り場）
＊ うる（売る）
＊ うるさい
うれしい
＊ うわぎ（上着）
うん［応答］
うんてん（運転）・する
うんてんしゅ（運転手）
うんどう（運動）・する

【え】

＊ え（絵）
＊ えいが（映画）
＊ えいがかん（映画館）
＊ えいご（英語）
＊ ええ
＊ えき（駅）
エスカレーター
えだ（枝）
えらぶ（選ぶ）
＊ エレベーター
＊ えん（円）
＊ えんぴつ（鉛筆）
えんりょ（遠慮）・する

【お】

お～［接頭辞］
＊ おいしい
＊ おいでになる
おいわい（お祝い）
おおい（多い）
おおきい（大きい）
＊ おおきな（大きな）
＊ おおぜい（大勢）
＊ オートバイ
オーバー
おかあさん（お母さん）
＊ おかえりなさい
おかげ
おかげさまで
おかし（お菓子）
＊ おかしい
おかね（お金）
＊ おき「10分おきに」
おきる（起きる）
＊ おく（億）
おく（置く）
＊ おくさん（奥さん）
＊ おくじょう（屋上）
おくりもの（贈り物）
おくる（送る）
おくれる（遅れる）
おげんきで
＊ おこさん（お子さん）
おこす（起こす）
おこなう（行う）
おこる（怒る）
おさけ（お酒）
＊ おさら（お皿）
＊ おじ（伯父／叔父）さん
＊ おじいさん
＊ おしいれ（押し入れ）
おしえる（教える）
＊ おじょうさん（お嬢さん）
おす（押す）
＊ おそい（遅い）
＊ おだいじに
おたく（お宅）
おちゃ（お茶）
＊ おちる（落ちる）
おっしゃる
おっと
おつり
おてあらい（お手洗い）
＊ おと（音）
おとうさん（お父さん）
＊ おとうと（弟）・さん
＊ おとこ（男）
＊ おとこのこ（男の子）
＊ おとす（落とす）
おととい
＊ おととし
＊ おとな（大人）
＊ おどり（踊り）
おどる（踊る）
おどろく（驚く）
おなか
＊ おなじ（同じ）
＊ おにいさん（お兄さん）
＊ おねえさん（お姉さん）
＊ おねがいします
＊ おば（伯母／叔母）さん
＊ おばあさん
＊ おはようございます
＊ おふろ（お風呂）
＊ おべんとう（お弁当）
＊ おぼえる（覚える）
＊ おまたせいたしました
＊ おまつり（お祭り）
おまわりさん
＊ おみまい（お見舞い）
おみやげ（お土産）
おめでとうございます
おもい（重い）
＊ おもいだす（思い出す）
おもう（思う）
おもしろい
＊ おもちゃ
おもて（表）
おや［感動詞］
おやすみなさい
＊ およぐ（泳ぐ）
おりる（下りる）
おりる（降りる）
＊ おる［「いる」の謙譲語］
おれい（お礼）
おれる（折れる）
おわり（終わり）
おわる（終わる）
＊ おんがく（音楽）
＊ おんな（女）
＊ おんなのこ（女の子）

【か】

か（家）「作家」
カーテン
かい（会）
＊ かい（回）
＊ かい（階）
かいがん（海岸）
かいぎ（会議）
＊ がいこく（外国）
＊ がいこくじん（外国人）
＊ かいしゃ（会社）
かいじょう（会場）
＊ かいだん（階段）
＊ かいもの（買い物）
かいわ（会話）
＊ かう（買う）
＊ かえす（返す）
かえり（帰り）
＊ かえる（帰る）
かえる（変える）
＊ かお（顔）
かがく（科学）
かがみ（鏡）
＊ かかる「時間がかかる」
＊ かぎ
＊ かく（書く）
＊ がくせい（学生）
＊ かげつ（か月）
かける「腰をかける」
＊ かける「メガネをかける」
かける「心配をかける」
＊ かける「電話をかける」
かける「かべにかける」
＊ かさ（傘）
かざる（飾る）
かじ（火事）
＊ かす（貸す）
＊ かぜ（風）
＊ かぜ（風邪）
＊ かぞく（家族）
ガソリン
ガソリンスタンド
＊ かた「この方」
かた「読み方」
かたい
＊ かたかな（片仮名）
かたち（形）
かたづける（片付ける）
＊ がつ（月）
かつ（勝つ）
かっこう
＊ がっこう（学校）
＊ カップ
＊ かてい（家庭）
＊ かど（角）
＊ かない（家内）
かなしい（悲しい）
かならず（必ず）
かねもち／おかねもち（お・金持ち）
かのじょ（彼女）
＊ かばん
＊ かびん（花瓶）

＊ かぶる
かべ（壁）
かまう「かまいません」
＊ かみ（紙）
かみ（髪）
かむ
＊ カメラ
かよう（通う）
＊ かようび（火曜日）
＊ からい（辛い）
ガラス
＊ からだ（体）
＊ かりる（借りる）
＊ がる「ほしがる」
＊ かるい（軽い）
かれ（彼）
＊ カレー
かれら（彼ら）
＊ カレンダー
＊ かわ（川／河）
＊ がわ（側）
＊ かわいい
かわく（乾く）
かわり（代わり）・に
かわる（変わる）
かんがえる（考える）
かんけい（関係）
かんごし（看護師）
＊ かんじ（漢字）
かんたん（簡単）
がんばる

【き】
き（気）
＊ き（木）
＊ きいろ（黄色）
＊ きいろい（黄色い）
＊ きえる（消える）
きかい（機会）
きかい（機械）
＊ きく（聞く）
きけん（危険）
きこえる（聞こえる）
きしゃ（汽車）
ぎじゅつ（技術）
きせつ（季節）
きそく（規則）
＊ きた（北）
＊ ギター
＊ きたない（汚い）
＊ きっさてん（喫茶店）
＊ きって（切手）
きっと
＊ きっぷ（切符）
きぬ（絹）
＊ きのう（昨日）
きびしい（厳しい）
きぶん（気分）
きまる（決まる）
きみ（君）
きめる（決める）
きもち（気持ち）
きもの（着物）
きゃく（客）
きゅう（急）・に
＊ きゅう（九）
きゅうこう（急行）
＊ ぎゅうにく（牛肉）
＊ ぎゅうにゅう（牛乳）
＊ きょう（今日）
きょういく（教育）
きょうかい（教会）
＊ きょうしつ（教室）
きょうそう（競争）・する
＊ きょうだい
きょうみ（興味）
＊ きょねん（去年）
＊ きらい（嫌い）
＊ きる（切る）
＊ きる（着る）
＊ きれい
＊ キロ「キログラム」
＊ キロ「キロメートル」
＊ ぎんこう（銀行）
きんじょ（近所）
＊ きんようび（金曜日）

【く】
＊ く（九）
ぐあい（具合）
くうき（空気）
くうこう（空港）
くさ（草）
＊ くすり（薬）
＊ ください
くださる
＊ くだもの（果物）
＊ くち（口）
＊ くつ（靴）
＊ くつした（靴下）
＊ くに（国）
くび（首）
くも（雲）
＊ くもり（曇）
＊ くもる（曇る）
＊ くらい（暗い）
＊ くらい／ぐらい
＊ クラス
くらべる（比べる）
グラム
＊ くる（来る）
＊ くるま（車）
くれる
くれる（暮れる）
＊ くろ（黒）
＊ くろい（黒い）
くん（君）

【け】
け「髪の毛」
け「毛のセーター」
けいかく（計画）・する
＊ けいかん（警官）
けいけん（経験）・する
けいざい（経済）
けいさつ（警察）
ケーキ
けが・する
＊ けさ（今朝）
けしき（景色）
けしゴム
げしゅく（下宿）・する
＊ けす（消す）
＊ けっこう（結構）
＊ けっこん（結婚）・する
けっして（決して）
＊ げつようび（月曜日）
けれど／けれども
げんいん（原因）
けんか・する
＊ げんかん（玄関）
＊ げんき（元気）
けんきゅう（研究）・する
けんきゅうしつ（研究室）
けんぶつ（見物）・する

【こ】
＊ こ（個）
＊ ご（五）
＊ ご（語）
ご～（御～）
こう［指示語］
＊ こうえん（公園）
こうがい（郊外）
こうぎ（講義）
こうぎょう（工業）
こうこう（高校）/こうとうがっこう（高等学校）
こうこうせい（高校生）
＊ こうさてん（交差点）
こうじょう（工場）
こうちゃ（紅茶）
こうちょう（校長）
こうつう（交通）
こうどう（講堂）
＊ こうばん（交番）
こうむいん（公務員）
＊ こえ（声）
＊ コート
コーヒー
こくさい（国際）
＊ ここ［指示語］
＊ ごご（午後）
＊ ここのか（九日）
＊ ここのつ（九つ）
こころ（心）
ごしゅじん（ご主人）
こしょう（故障）・する
＊ ごぜん（午前）
ごぞんじ（ご存じ）
こたえ（答え）
＊ こたえる（答える）
ごちそうさま
＊ こちら
＊ こちらこそ
こっち
＊ コップ
こと

＊ ことし（今年）
＊ ことば（言葉）
＊ こども（子ども）
ことり（小鳥）
＊ この
このあいだ
このごろ
＊ ごはん（御飯）
＊ コピーする
こまかい（細かい）
＊ こまる（困る）
ごみ
こむ（込む）
こめ（米）
＊ ごめんください
＊ ごめんなさい
＊ これ
これから
＊ ころ／ごろ
こわい（怖い）
こわす（壊す）
こわれる（壊れる）
＊ こんげつ（今月）
コンサート
＊ こんしゅう（今週）
こんど（今度）
＊ こんな
＊ こんばん（今晩）
＊ こんばんは
こんや（今夜）

【さ】

＊ さあ［感動詞］
＊ さい（～歳）
さいきん（最近）
さいご（最後）
さいしょ（最初）
＊ さいふ（財布）
さか（坂）
さがす（探す）
＊ さかな（魚）
さがる（下がる）
さかん（盛ん）
＊ さき（先）
＊ さく（咲く）
＊ さくぶん（作文）
さげる（下げる）
さしあげる（差し上げる）
＊ さす「カサをさす」
＊ さつ（～冊）
さっき
＊ ざっし（雑誌）
＊ さとう（砂糖）
さびしい（寂しい）
さま（様）
＊ さむい（寒い）
＊ さよなら／さようなら
さらいげつ（さ来月）
さらいしゅう（さ来週）
＊ さらいねん（さ来年）
サラダ
さわぐ（騒ぐ）
＊ さわる（触る）
＊ さん「～さん」
さん（三）
サンダル
サンドイッチ
ざんねん（残念）
＊ さんぽ（散歩）・する

【し】

＊ し（四）
し（市）
じ（字）
＊ じ（時）
しあい（試合）
＊ しお（塩）
＊ しかし
しかた（仕方）
しかる
＊ じかん（時間）
＊ じかん（～時間）
しけん（試験）
じこ（事故）
＊ しごと（仕事）
＊ じしょ（辞書）
じしん（地震）
＊ しずか（静か）
＊ した（下）
じだい（時代）
したぎ（下着）
したく（支度）・する
＊ しち（七）
しっかり
しっぱい（失敗）・する
＊ しつもん（質問）・する
しつれい（失礼）・する
しつれいしました
しつれいします
じてん（辞典）
＊ じてんしゃ（自転車）
＊ じどうしゃ（自動車）
しなもの（品物）
＊ しぬ（死ぬ）
しばらく
＊ じびき（字引）
＊ じぶん（自分）
しま（島）
＊ しまる（閉まる）
じむしょ（事務所）
＊ しめる（締める）
＊ しめる（閉める）
＊ じゃ／じゃあ［感動詞］
しゃかい（社会）
＊ しゃしん（写真）
しゃちょう（社長）
＊ シャツ
じゃま
ジャム
＊ シャワー
じゆう（自由）
＊ じゅう（十）
＊ しゅうかん（～週間）
しゅうかん（習慣）
じゅうしょ（住所）
じゅうどう（柔道）
じゅうぶん（十分）
＊ じゅぎょう（授業）
＊ しゅくだい（宿題）
＊ しゅじん（御・主人）
しゅっせき（出席）・する
しゅっぱつ（出発）・する
しゅみ（趣味）
じゅんび（準備）・する
しょうかい（紹介）・する
しょうがつ（正月）
しょうがっこう（小学校）
＊ じょうず（上手）
しょうせつ（小説）
しょうたい（招待）・する
しょうち（承知）・する
＊ じょうぶ（丈夫）
＊ しょうゆ
しょうらい（将来）
しょくじ（食事）・する
＊ しょくどう（食堂）
しょくりょうひん（食料品）
じょせい（女性）
しらせる（知らせる）
しらべる（調べる）
＊ しる（知る）
＊ しろい（白い）
＊ じん（人）
じんこう（人口）
じんじゃ（神社）
しんせつ（親切）
しんぱい（心配）・する
＊ しんぶん（新聞）
しんぶんしゃ（新聞社）

【す】

すいえい（水泳）
すいどう（水道）
ずいぶん
＊ すいようび（水曜日）
＊ すう（吸う）
すうがく（数学）
スーツケース
＊ スカート
＊ すぎ
＊ すき（好き）
すぎる
すぎる（過ぎる）
すく「おなかがすく」
すく「すいた電車」
＊ すぐ･に
すくない
すごい
＊ すこし（少し）
＊ すずしい（涼しい）
＊ ずつ
すっかり
ずっと
すてる（捨てる）
ステレオ
＊ ストーブ
すな（砂）

すばらしい
＊ スプーン
すべる
＊ スポーツ
＊ ズボン
すみ（隅）
＊ すみません
すむ（済む）
＊ すむ（住む）
＊ スリッパ
＊ する「～をする」
＊ すわる（座る）

【せ】

せい（製）
＊ せい（背）
せいかつ（生活）・する
せいじ（政治）
＊ せいと（生徒）
せいよう（西洋）
＊ セーター
せかい（世界）
せき（席）
＊ せっけん
せつめい（説明）
せなか（背中）
ぜひ
＊ せびろ（背広）
＊ せまい（狭い）
＊ ゼロ
せわ（世話）・する
＊ せん（千）
せん（線）
＊ せんげつ（先月）
＊ せんしゅう（先週）
＊ せんせい（先生）
ぜんぜん
せんそう（戦争）・する
＊ せんたく（洗濯）・する
せんぱい（先輩）
＊ ぜんぶ（全部）
せんもん（専門）

【そ】

＊ そう
そう［指示詞］
＊ そうじ（掃除）・する
＊ そうして/そして
そうだん（相談）・する
＊ そうです
＊ そこ［指示詞］
そだてる（育てる）
＊ そちら
そつぎょう（卒業）・する
＊ そっち
＊ そと（外）
＊ その［連体詞］
そば「窓のそば」
そふ（祖父）
＊ そぼ（祖母）
＊ そら（空）
＊ それ［指示詞］
それから
＊ それで
それでは
それに
そろそろ
そんな・に

【た】

＊ だい（～台）
たいいん（退院）・する
＊ だいがく（大学）
だいがくせい（大学生）
だいじ（大事）
＊ たいしかん（大使館）
＊ だいじょうぶ（大丈夫）
＊ だいすき（大好き）
＊ たいせつ（大切）
だいたい
たいてい
＊ だいどころ（台所）
タイプ
だいぶ［副詞］
たいふう（台風）
＊ たいへん
たおれる（倒れる）
＊ たかい
＊ たかい「背が高い」
だから［接続詞］
＊ たくさん
＊ タクシー
＊ だけ
たしか（確か）
＊ だす（出す）
たす（足す）
たずねる（尋ねる）
たずねる（訪ねる）
ただしい（正しい）
たたみ（畳）
＊ たち（～たち）
＊ たつ（立つ）
＊ たてもの（建物）
たてる（建てる）
たてる（立てる）
たとえば（例えば）
たな（棚）
＊ たのしい（楽しい）
たのしみ（楽しみ）
＊ たのむ（頼む）
＊ たばこ
＊ たぶん
＊ たべもの（食べ物）
＊ たべる（食べる）
＊ たまご（卵）
たまに
ため
だめ
たりる（足りる）
＊ だれ
＊ たんじょうび（誕生日）
だんせい（男性）
＊ だんだん
だんぼう（暖房）

【ち】

ち（血）
＊ ちいさい（小さい）
ちいさな（小さな）
＊ ちかい（近い）
＊ ちがう（違う）
＊ ちかく（近く）
チェックする
＊ ちかてつ（地下鉄）
ちから（力）
＊ ちず（地図）
＊ ちち（父）
＊ ちゃいろ（茶色）
＊ ちゃわん
ちゃん「～ちゃん」
＊ ちゅう（中）
ちゅうい（注意）・する
ちゅうがっこう（中学校）
ちゅうしゃ（注射）・する
ちゅうしゃじょう（駐車場）
＊ ちょうど
＊ ちょっと
ちり（地理）

【つ】

＊ ついたち（一日）
＊ つかう（使う）
つかまえる（捕まえる）
＊ つかれる（疲れる）
つき（月）「ひと月」
つき「月と太陽」
＊ つぎ（次）
＊ つく（着く）
つく「電灯がつく」
＊ つくえ（机）
＊ つくる（作る）
＊ つける
つける「気をつける」
つごう（都合）
つたえる（伝える）
つづく（続く）
つづける（続ける）
つつむ（包む）
＊ つとめる（勤める）
つま（妻）
＊ つまらない
＊ つめたい（冷たい）
つもり
＊ つよい（強い）
つる（釣る）
つれる（連れる）

【て】

＊ て（手）
ていねい（丁寧）
＊ テープ
＊ テーブル
＊ テープレコーダー
＊ でかける（出かける）
＊ てがみ（手紙）
テキスト
てきとう（適当）
できる
＊ できる（英語が）
できるだけ

＊ でぐち（出口）
＊ テスト
てつだう（手伝う）
では［感動詞］
＊ デパート
てぶくろ（手袋）
＊ でも
てら（寺）
＊ でる（出る）
＊ テレビ
てん（点）
てんいん（店員）
＊ てんき（天気）
＊ でんき（電気）
てんきよほう（天気予報）
＊ でんしゃ（電車）
でんとう（電灯）
でんぽう（電報）
てんらんかい（展覧会）
＊ でんわ（電話）

【と】

＊ ～と～
＊ と（戸）
＊ ど（度）
＊ ドア
＊ トイレ
＊ どう［副詞］
どういたしまして
どうぐ（道具）
＊ どうして
＊ どうぞ
とうとう
＊ どうぶつ（動物）
どうぶつえん（動物園）
＊ どうも
＊ とお（十）
＊ とおい（遠い）
＊ とおか（十日）
とおる（通る）
＊ とき
＊ ときどき（時々）
とくに（特に）
とくべつ（特別）
＊ とけい（時計）
＊ どこ
とこや
＊ ところ（所）
＊ とし（年）
＊ としょかん（図書館）
とちゅう（途中）
＊ どちら
とっきゅう（特急）
＊ どっち
＊ とても
とどける（届ける）
＊ どなた
＊ となり（隣）
＊ どの「どの人」
＊ とぶ（飛ぶ）
＊ とまる（止まる）
とまる（泊まる）
とめる（止める）
＊ ともだち（友達）
＊ どようび（土曜日）
＊ とり（鳥）
とりかえる（取り替える）
＊ とりにく
＊ とる（撮る）
＊ とる（取る）
＊ どれ
どろぼう
＊ どんな

【な】

＊ ない
＊ ナイフ
なおす（直す）
なおる（治る）
なおる（直る）
＊ なか（中）
＊ ながい（長い）
なかなか
ながら
なく（泣く）
なく（鳴く）
なくす（無くす）
なくなる（亡くなる）
なくなる（無くなる）
なげる（投げる）
なぜ
＊ なつ（夏）
＊ なつやすみ（夏休み）
＊ など
＊ ななつ（七つ）
＊ なに/なん（何）
＊ なのか（七日）
＊ なまえ（名前）
＊ ならう（習う）
＊ ならぶ（並ぶ）
＊ ならべる（並べる）
なる（鳴る）
＊ なる「～になる」
なるべく
なるほど
なれる（慣れる）
＊ なん（何～）

【に】

＊ に（ニ）
におい
にがい（苦い）
＊ にぎやか
＊ にく（肉）
にげる（逃げる）
＊ にし（西）
＊ にち（日）
＊ にちようび（日曜日）
にっき（日記）
＊ にもつ（荷物）
にゅういん（入院）・する
にゅうがく（入学）・する
＊ ニュース
にる（似る）
＊ にわ（庭）
＊ にん（人）
にんぎょう（人形）

【ぬ】

＊ ぬぐ（脱ぐ）
ぬすむ（盗む）
ぬる（塗る）
＊ ぬるい（温い）
ぬれる

【ね】

＊ ネクタイ
＊ ねこ
ねだん
ねつ（熱）
ねっしん（熱心）
ねむい（眠い）
ねむる（眠る）
＊ ねる（寝る）
＊ ねん（年）

【の】

＊ ノート
のこる（残る）
のど
＊ のぼる（登る）
＊ のみもの（飲み物）
＊ のむ（飲む）
のりかえる（乗り換える）
のりもの（乗り物）
＊ のる（乗る）

【は】

＊ は（歯）
は（葉）
ばあい（場合）
＊ パーティー
＊ はい（杯）
ばい（倍）
＊ はい［感動詞］
はいけん（拝見）・する
＊ はいざら（灰皿）
はいしゃ（歯医者）
＊ はいる（入る）
＊ はがき
＊ はく「ズボンをはく」
＊ はこ（箱）
はこぶ（運ぶ）
＊ はし（橋）
＊ はし「はしで食べる」
＊ はじまる（始まる）
＊ はじめ（初め）・に
＊ はじめて（初めて）
＊ はじめまして
はじめる（始める）
ばしょ（場所）
＊ はしる（走る）
はず
＊ バス
はずかしい（恥ずかしい）
パソコン
＊ バター
＊ はたち（二十歳）
＊ はたらく（働く）
＊ はち（八）
はつおん（発音）

＊ はつか（二十日）
はっきり
＊ はな（花）
＊ はな（鼻）
＊ はなし（話）
＊ はなす（話す）
はなみ（花見）
＊ はは（母）
＊ はやい（早い）
＊ はやい（速い）
はらう（払う）
＊ はる（春）
＊ はる「切手をはる」
＊ はれ（晴れ）
＊ はれる（晴れる）
＊ パン
＊ はん（半）
＊ ばん（晩）
＊ ばん（～番）
ハンカチ
ばんぐみ（番組）
＊ ばんごう（番号）
＊ ばんごはん（晩御飯）
はんたい（反対）・する
＊ はんぶん（半分）

【ひ】

ひ（火）
ひ（日）
ひえる（冷える）
ひがし（東）
＊ ひかり（光）
ひかる（光る）
＊ ひき（匹）
ひきだし「机の引き出し」
＊ ひく（引く）
＊ ひく（弾く）
＊ ひくい（低い）
ひげ
＊ ひこうき（飛行機）
ひこうじょう（飛行場）
ひさしぶり（久しぶり）
びじゅつかん（美術館）
ひじょうに（非常に）
＊ ひだり（左）
びっくりする
ひっこす（引っ越す）
ひつよう（必要）
＊ ひと（人）
ひどい
＊ ひとつ（一つ）
＊ ひとつき（一月）
＊ ひとり（一人）
＊ ひま（暇）
＊ ひゃく（百）
＊ びょういん（病院）
＊ びょうき（病気）
＊ ひらがな（平仮名）
ひらく（開く）
ビル
＊ ひる（昼）
＊ ひるごはん（昼御飯）
ひるま（昼間）
ひるやすみ（昼休み）
＊ ひろい（広い）
ひろう（拾う）

【ふ】

ファックス
＊ フィルム
＊ ふうとう（封筒）
＊ プール
ふえる（増える）
＊ フォーク
ふかい（深い）
＊ ふく（吹く）
＊ ふく（服）
ふくざつ（複雑）
ふくしゅう（復習）
＊ ふたつ（二つ）
＊ ぶたにく（豚肉）
＊ ふたり（二人）
ふつう（普通）
＊ ふつか（二日）
＊ ふとい（太い）
ぶどう
ふとる（太る）
ふとん（布団）
ふね（舟／船）
ふべん（不便）
ふむ（踏む）
＊ ふゆ（冬）
＊ ふる（降る）
＊ ふるい（古い）
プレゼント
＊ ふろ
＊ ふん（～分）
ぶんか（文化）
ぶんしょう（文章）
ぶんぽう（文法）

【へ】

＊ ページ
＊ へた（下手）
＊ ベッド
べつ（別）
ペット
＊ へや（部屋）
ベル
＊ ペン
へん（変）
＊ へん（辺）
＊ べんきょう（勉強）・する
へんじ（返事）・する
＊ べんり（便利）

【ほ】

＊ ほう
ぼうえき（貿易）
＊ ぼうし（帽子）
ほうそう（放送）・する
ほうりつ（法律）
＊ ボールペン
＊ ほか（外）
ぼく（僕）
＊ ポケット
ほし（星）
＊ ほしい（欲しい）
＊ ポスト
＊ ほそい（細い）
＊ ボタン
＊ ホテル
ほとんど
ほめる
＊ ほん（本）
＊ ほん（～本）
＊ ほんだな（本棚）
＊ ほんとうに
ほんやく（翻訳）・する

【ま】

＊ まい（枚）
＊ まいあさ（毎朝）
＊ まい／まいつき（毎月）
＊ まいしゅう（毎週）
＊ まいにち（毎日）
＊ まいねん/まいとし（毎年）
＊ まいばん（毎晩）
まいる（参る）
＊ まえ（前）
＊ まえ（～前）
＊ まがる（曲がる）
まける
まじめ
まず
＊ まずい
＊ また
＊ まだ
または
＊ まち（町）
まちがえる（間違える）
＊ まつ（待つ）
＊ まっすぐ・に
＊ マッチ
＊ まど（窓）
まにあう（間に合う）
＊ まるい（丸い／円い）
まわり（周り）
まわる（回る）
＊ まん（万）
まんが（漫画）
まんなか（真ん中）
＊ まんねんひつ（万年筆）

【み】

みえる（見える）
＊ みがく（磨く）
＊ みぎ（右）
＊ みじかい（短い）
＊ みず（水）
みずうみ（湖）
＊ みせ（店）
＊ みせる（見せる）
みそ「みそ汁」
＊ みち（道）
＊ みっか（三日）
みつかる（見つかる）
みつける（見つける）
＊ みっつ（三つ）
みどり（緑）

みな（皆）
＊ みなさん（皆さん）
みなと（港）
＊ みなみ（南）
＊ みみ（耳）
＊ みる（見る）
＊ みんな
【む】
＊ むいか（六日）
むかえる
むかし
＊ むこう（向こう）
むし（虫）
＊ むずかしい（難しい）
むすこ（息子）
むすめ（娘）
＊ むっつ（六つ）
むら（村）
むり（無理）
【め】
＊ め（目）
＊ メートル
＊ めがね（眼鏡）
めしあがる（召し上がる）
めずらしい（珍しい）
【も】
＊ もう「もう一つ」
＊ もう「もう終わった」
もうしあげる（申し上げる）
もうす（申す）
もうすぐ
＊ もくようび（木曜日）
もし
＊ もしもし
もちろん
＊ もつ（持つ）
＊ もっと
もどる（戻る）
＊ もの（物）
もめん（木綿）
もらう
＊ もん（門）
＊ もんだい（問題）
【や】
＊ や（屋）
＊ やおや（八百屋）

やく（焼く）
やくそく（約束）・する
やくにたつ（役に立つ）
やける（焼ける）
＊ やさい（野菜）
＊ やさしい（易しい）
やさしい（優しい）
やすい「見やすい」
＊ やすい（安い）
＊ やすみ（休み）
＊ やすむ（休む）
やせる
＊ やっつ（八つ）
やっと
やはり／やっぱり
＊ やま（山）
やむ「雨／風がやむ」
やめる
やめる
やる［「あげる」の意味］
＊ やる［「する」の意味］
やわらかい（柔らかい）
【ゆ】
ゆ（湯）
＊ ゆうがた（夕方）
ゆうはん（夕飯）
＊ ゆうびんきょく（郵便局）
＊ ゆうべ［「昨夜」の意味］
＊ ゆうめい（有名）
＊ ゆき（雪）
ゆしゅつ（輸出）・する
ゆにゅう（輸入）
＊ ゆっくり・と
ゆび（指）
ゆびわ（指輪）
ゆめ（夢）
ゆれる（揺れる）
【よ】
よう（～用）
よういー（用意）・する
＊ ようか（八日）
ようじ（用事）
＊ ようふく（洋服）
＊ よく「よく行く」
＊ よく「よくできる」
＊ よこ（横）

よごれる（汚れる）
よしゅう（予習）
＊ よっか（四日）
＊ よっつ（四つ）
よてい（予定）
＊ よぶ（呼ぶ）
＊ よむ（読む）
よやく（予約）
より「～より～」
よる（寄る）
＊ よる（夜）
よろこぶ（喜ぶ）
よろしい
＊ よろしく
よわい（弱い）
【ら】
＊ らいげつ（来月）
＊ らいしゅう（来週）
＊ らいねん（来年）
＊ ラジオ
＊ ラジカセ
【り】
＊ りっぱ
りゆう（理由）
＊ りゅうがくせい（留学生）
りよう（利用）・する
＊ りょうしん（両親）
りょうほう（両方）
＊ りょうり（料理）
りょかん（旅館）
＊ りょこう（旅行）・する
【る】
るす（留守）
【れ】
＊ れい（零）
＊ れいぞうこ（冷蔵庫）
れいぼう（冷房）
れきし（歴史）
＊ レコード
＊ レストラン
＊ れんしゅう（練習）・する
れんらく（連絡）・する
【ろ】
＊ ろく（六）
＊ ろうか（廊下）
【わ】

＊ ワイシャツ
＊ わかい（若い）
わかす（沸かす）
＊ わかる（分かる）
わかれる（別れる）
わく（沸く）
わけ（訳）
わすれもの（忘れ物）
＊ わすれる（忘れる）
＊ わたくし（私）
＊ わたし
＊ わたす（渡す）
＊ わたる（渡る）
わらう（笑う）
わりあい（割合）
＊ わるい（悪い）
われる（割れる）

あとがき

●社会福祉法人 大阪ボランティア協会「多文化子育て支援ガイドブック」企画委員会について

本ガイドブックの企画者であり、編著者です。★印はワーキングメンバーを兼ねています。

役割		氏名	所属
委員		埋橋 淑子	大阪大学国際教育交流センター 非常勤講師、みのお外国人医療サポートネット
委員	★	斎藤 裕子	「にほんごサポートひまわり会」（地域日本語教室）主宰
委員	★	藤原 麻佐代	社会福祉法人 大阪ボランティア協会 多文化子育て支援事業 子育てサロン コーディネーター、大阪府立高校非常勤講師（日本語担当）
委員	★	丸山 敏夫	浅香識字・日本語教室 学習支援ボランティア
委員		柳瀬 真佐子	特定非営利活動法人 関西こども文化協会 理事
委員		吉井 賢子	浅香識字・日本語教室 学習支援ボランティア
委員	★	瀧本 宏子	大阪市福島区役所 保健福祉課 子育て支援室
事務局	★	永井 美佳	社会福祉法人 大阪ボランティア協会 事務局次長・ボランティアコーディネーター

●企画委員会、ワーキングのあしどりについて

ワーキングでは、各章の原稿の執筆および意見交換ワークショップを実施しました。

企画委員会では、ワーキングで作成した原稿をもとに、さらに広い視点から各章の内容を検討しました。

	会議名	開催日時	開催場所
1	第1回企画委員会	2012年11月26日（月）15時～16時45分	大阪ＮＰＯプラザ
2	第1回ワーキング	2012年12月３日（月）15時～16時45分	大阪ＮＰＯプラザ
3	第2回ワーキング	2013年１月18日（金）10時～12時	大阪ＮＰＯプラザ
4	第3回ワーキング	2013年２月15日（金）10時～12時	大阪ＮＰＯプラザ
5	第4回ワーキング	2013年４月23日（火）13時～15時30分	福島区民センター
6	第5回ワーキング	2013年５月20日（月）10時～12時30分	ＣＡＮＶＡＳ谷町
7	第2回企画委員会	2013年５月20日（月）13時～15時	ＣＡＮＶＡＳ谷町
8	第6回ワーキング	2013年６月10日（月）15時～17時	えび庵
9	第7回ワーキング	2013年７月８日（月）15時30分～17時30分	えび庵
10	第8回ワーキング	2013年９月３日（火）9時30分～12時	福島区民センター
11	第3回企画委員会	2013年９月16日（月祝）14時～17時	ＣＡＮＶＡＳ谷町
12	第4回企画委員会	2013年９月23日（月祝）13時～17時	ＣＡＮＶＡＳ谷町
13	第9回ワーキング	2013年９月30日（月）10時～12時	ＣＡＮＶＡＳ谷町
14	第5回企画委員会	2013年９月30日（月）13時～17時	ＣＡＮＶＡＳ谷町

●「意見交換ワークショップ」の開催について

多文化な子育てを支援する専門職等のみなさまに、企画委員会で検討した原稿を事前にご覧いただいたうえで、「意見交換ワークショップ」にご参加いただき、気づきや意見を出していただくとともに、ご自身の体験談やエピソードを紹介いただきました。ワークショップの進行は企画委員が行い、そこで出た意見をガイドブックの随所に盛り込んで、完成に至りました。下記にご紹介します。

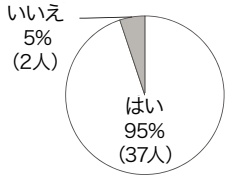
	開催協力者	開催日時	開催場所	参加人数
1	大阪市・子育て支援室こども相談担当係長北ブロック会議のみなさん	2013年６月19日（水）15時～15時50分	大阪市北区役所	参加者5人 企画委員2人
2	堺市保育部および堺市立保育所の保育士のみなさん	2013年７月２日（火）13時30分～14時20分	堺市堺区役所	参加者5人 企画委員2人
3	社会福祉法人みおつくし福祉会 東喜連保育所の保育士のみなさん	2013年７月10日（水）13時30分～14時20分	東喜連保育所	参加者4人 企画委員2人
4	特定非営利活動法人樹・大阪市つどいの広場「みつるポケット」のスタッフのみなさん	2013年７月17日（水）15時30分～16時20分	みつるポケット	参加者8人 企画委員3人

5	吹田市立「のびのび子育てプラザ」の職員のみなさん	2013年 7 月19日（金） 10時30分～11時20分	のびのび子育てプラザ	参加者4人 企画委員3人
6	大阪市立加島第1保育所の保育士のみなさん	2013年 7 月31日（水） 16時00分～16時50分	加島第１保育所	参加者4人 企画委員2人
7	大阪市福島区保健福祉センター 保健担当の保健師のみなさん	2013年 8 月19日（月） 14時00分～14時50分	大阪市福島区役所	参加者5人 企画委員4人
8	大阪市中央区保健福祉センターの保健師のみなさん	2013年 9 月24日（火） 11時00分～11時50分	大阪市中央区役所	参加者6人 企画委員2人

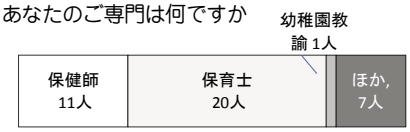
●「意見交換ワークショップ」に寄せられた多文化な子育てを支援する専門職等のみなさんの声

「意見交換ワークショップ」参加者でアンケートにご協力いただいた 39 人の声を紹介します。

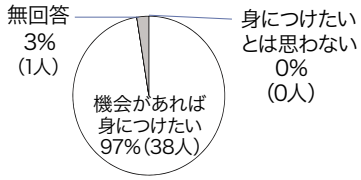
グラフ1
外国人の保護者と接したことはありますか



グラフ２
あなたのご専門は何ですか



グラフ３
「つたわる日本語」によるコミュニケーション力を、もっと身につけたいですか



Ｑ１「多文化子育て支援ガイドブック」の内容は、多文化な子育ての現場で使えると思いますか？　その理由は？

【とても使えると思う】…28 人

・外国人の人と初めて接する時、前もって読んでおくと気をつけることなどが良く分かり、トラブルが少しでも削減できる。（保育士）

Ｑ２「つたわる日本語」によるコミュニケーション力を、もっと身につけたいですか？　その理由は？

【機会があれば身につけたい】…38 人

・伝え方が分かれば、相手に分かってもらえることも多くなるため。（保健師）

・わかりやすい言葉で伝えているが理解してもらえない事も多いので、つたわる日本語は学びたいと思う。（保育士）

・外国人だけでなく、日本人どうしでのコミュニケーション力の向上にもつながりそうだから。（子育て広場）

Ｑ３ご意見、ご感想など、ぜひ一言どうぞ。

・なにげなく使用している言葉が伝わりにくかったり、ていねいでやさしいと思っていた言葉づかいが、伝わりにくい表現であることがよくわかりました。（保健師）

・初めて外国人に接する時は、何に気をつけるべきなのか、どのように関わったら良いのか不安だが、ガイドブックがあると少しでも安心できると思います。（保育士）

・ガイドブックには、様々な事例、関係者の意見が書かれていて、非常に分かりやすい、同じ状況に遭遇した時に、どう対応すればよいか、具体的手立てが分かりやすかったです。（心理相談員）

・相手がどのように捉えているかを知ることができ、伝え方を改めて考えることができた。（保健師）

●ガイドブック作成にご協力いただいたみなさま

今村 澄子さん（社会福祉法人 大阪ボランティア協会 多文化共生事業委員）
嶋田 和子さん（アクラス日本語教育研究所）
奈良 雅美さん（東京外国語大学多言語・多文化教育センター 多文化社会コーディネーター研究会研究員、他）
橋本 義範さん（ＮＰＯ法人おおさかこども多文化センター）
村上 自子さん（ＮＰＯ法人おおさかこども多文化センター）

●編集・印刷

・絵・デザイン・編集　「障害者とともに」を考える企画グループ　ちまちま工房（Tel　072-735-7901）
・編集・印刷　「共に働く」社会をめざす　ねっこ共働作業所　（Tel　077-546-2420）

●助成団体

公益財団法人 三菱財団
第４３回（平成２４年度）三菱財団社会福祉事業・研究助成
「多文化な子育てを支援する専門職等に『やさしい日本語』を広げるためのツール開発ならびに普及」事業

多文化子育て支援ガイドブック

日本語で　つたえる　コツ

～外国人保護者と子育て支援に関わる人とのより良いコミュニケーションのために～

２０１３年９月３０日　発行

編著　社会福祉法人 大阪ボランティア協会「多文化子育て支援ガイドブック」企画委員会

発行　社会福祉法人 大阪ボランティア協会

〒540-0012　大阪市中央区谷町２丁目2-20 2F 市民活動スクエア「ＣＡＮＶＡＳ（キャンバス）谷町」

電話　06-6809-4901（代）　　ファックス　06-6809-4902

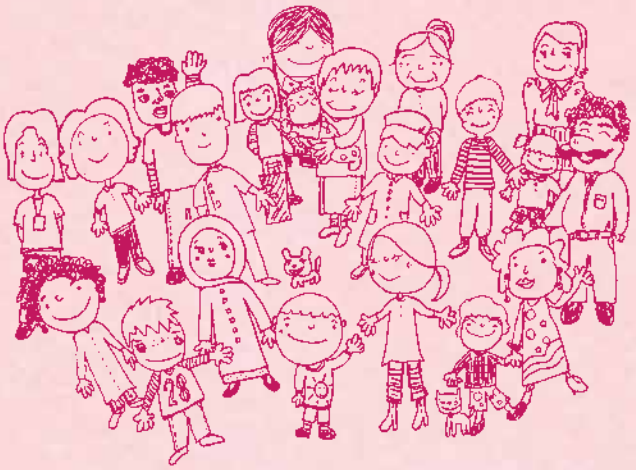
Email　office@osakavol.org

URL　http://www.osakavol.org/

＊外国人、視覚障害者、その他活字のままではこの本を利用できない人のために、発行者及び編著者に届け出ることを条件に、多言語翻訳、音声訳（録音図書）及び拡大写本などの製作を認めます。但し、営利を目的とする場合を除きます。

Let's

多文化子育て支援ガイドブック

日本語でつたえるコツ

外国人保護者と
子育て支援に関わる人との
より良いコミュニケーションのために